

2019 ANNUAL REPORT

SAGA
REHABILITATION
HOSPITAL



病院年報
年間行事写真
統括ご挨拶
診療活動報告

<http://www.sagareha.or.jp>



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT

佐賀リハビリテーション病院年報目次

病院活動に関する統括

医事統計

看護部活動報告

リハビリテーション部活動報告

薬剤課・栄養課・放射線課・医療相談課活動報告

居宅サービス・みずがえ活動報告

訪問看護、訪問リハビリ、通所リハビリ活動報告

吉原デイサービス活動報告

夢館活動報告（DH 吉原・HP 吉原・GH 吉原）

福寿荘活動報告



榮の国祭り応援 ぶんぶんテレビ

❀❀ゆめっこ保育園❀❀







❀ 2019 ❀





榮の国祭り



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT

防災訓練



病院大運動会



SAGA
REHABILITATION
HOSPITAL
ANNUAL REPORT



敬老会



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT



夢館 クリスマス会



SAGA REHABILITATION HOSPITAL ANNUAL REPORT



～2019 年 主な出来事～

5 月 「平成」から「令和」へ改元

平成の天皇陛下が4月30日に退位され、皇太子徳仁親王殿下が1日午前0時、第126代天皇に即位された。皇位継承に伴い、元号が「令和」に改まった。



7 月 京都アニメーション放火、36人死亡

アニメ制作会社「京都アニメーション」で、男がガソリンをまいて火をつけ、3階建てがほぼ全焼した。死者は36人、負傷者は33人に上り、平成以降の火災では死傷者が最多の惨事になった。

8 月 九州豪雨

佐賀県内でも記録的な大雨が襲い、6000棟を超える住宅が浸水、土砂崩れの被害を受けた。



サガン鳥栖 トーレス引退

サッカー・J1サガン鳥栖所属、元スペイン代表のフェルナンド・トーレスが、ヴィッセル神戸戦を最後に現役を引退した。

9 月 東日本で台風大雨被害

東日本では、9月から10月にかけて台風大雨被害が相次いだ。

ラグビーW杯日本大会開幕

アジア初開催となるラグビー・ワールドカップ(W杯)日本大会が開幕した。

日本代表は予選リーグ4戦全勝で初の8強入りを果たす快挙を成し遂げたが、準々決勝で南アフリカ代表に敗れた。



10 月 消費税率引き上げ

消費税率が10月1日、8%から10%に引き上げられた。

首里城消失

10月31日未明、那覇市の首里城から出火し、中心的建造物である正殿など計8棟が焼損した。



11 月 ローマ教皇来日

ローマ・カトリック教会のフランシスコ教皇が来日した。

20日 佐賀中部病院地域連携会議18時～現地 終了後肉上手明月館で懇親会
21日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
22日 佐賀ガス産業医13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後ゆうきで食事会
23日 Dr山内歓迎会、Dr富安&麻里合格祝い19時～じゅせん
24日 佐賀大学形成外科上村教授らと食事会18時30分～鳥菊
27日 つばみ会理事会19時～オータニ佐賀
28日 サガハイマツト理事会16時～現地
29日 原爆健診11時～当院
智博会18時30分～ゆうき
30日 佐賀県医師会定例代議員会19時～MC
31日 光岡副会長らと食事会18時30分～大成

6月 1日 佐賀西高年次総会10時～メートプラザ
佐賀県病院協会総会15時～MC 17時～1階ラサンテで懇親会
ベッドブラッツ、Dr諸隈と食事会18時30分～じゅせん
2日 故 枝國幸恵氏1周忌12時～オータニ佐賀
3日 佐賀県救急医療協議会18時30分～佐賀県庁旧館4階
メディカルコントロール協議会19時15分～佐賀県庁新館4階特別会議室
4日 クレブスサポート19時～オータニ佐賀
6日 佐賀市医師会事務局員と食事会18時30分～さいくう
8日 大隈院長と食事会18時30分～牛庵
9日 故横須賀麗子先生七七忌法要11時～正教寺 会食は13時～マリトピア
11日 久友会19時～右近
12日 佐賀女子短大産業医12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後鉄板焼きくに
13日 Dr崔、山本と食事会19時～じゅせん
14日 講師会議18時30分～グランデはがくれ
16日 在宅医(9時～11時勤務)
17日 佐賀ノルウェー友好協会懇親会18時40分～オータニ佐賀
18日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
19日 こども診療所ミーティング19時～現地
20日 佐賀県医師会理事会15時～MC
佐賀県健康づくり財団定時評議員会18時～MC
栄仁会定時評議員会18時30分～オータニ佐賀
21日 佐賀市医師会定例総会19時～創世
22日 中島商事と食事会18時30分～ゆうき
24日 経営協理事会18時～オータニ佐賀
つばみ会評議委員会19時～オータニ佐賀
25日 地域医療支援病院委員会19時～好生館
26日 原爆健診11時～当院
佐賀ガス産業医13時～現地
個別指導立ち会い14時～メートプラザ
佐賀市医師会理事会19時～看護学校 終了後さいくうで食事会
27日 佐賀大学勤務医師と開業医の交流会19時～オータニ佐賀

- 10月 1日 17時～みのり歯科受診
2日 佐賀大学医学部解剖慰霊式14時～北佐賀草苑
介護保険運営協議会15時～佐嘉神社記念館
5日 九州首市医師会連絡協議会14時～海峡メッセ下関
6日 同上
7日 佐賀健康維新県民会議15時～創世
9日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
10日 院内お月見会18時～通所リハ室
11日 久友会19時～シャトー文雅
12日 鳥栖医師会立看護学校創立50周年記念式典15時～現地
招福会18時30分～千寿
15日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
16日 こども診療所ミーティング19時～看護学校
17日 地産保運営協議会14時～看護学校
佐賀県医師会理事会15時～MC
18日 PET総合健診9時～福岡病院
19日 看護師卒後研修会13時50分～看護学校講堂
20日 諸井会計主催ソフトボール、ミニバレーボール大会8時15分～大和中央公園自由広場
21日 智博会18時30分～酒の蔵えん
23日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
24日 運営会議19時～看護学校
26日 佐賀大学脳神経外科開講記念会18時～創世
27日 平原祐美(OT)結婚披露宴14時30分～ゼニス
29日 みのもり歯科受診17時～
30日 原爆健康管理手当等認定委員会11時～当院
31日 地域医療構想分科会18時30分～佐賀中部保健福祉事務所
- 11月 1日 就学時健診14時～赤松小学校
6日 佐賀中部保健福祉事務所書面審査14時～当院
9日 戴帽式13時～看護学校講堂
11日 郡市医師会介護保険対策委員会19時～オータニ
13日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
14日 地産保健診9時～当院
15日 九州医師会懇親会18時～オータニ
16日 九州医師会総会13時～オータニ
久留米大学医学部同窓会大懇親会18時～オータニ
17日 在宅医
18日 智博会18時30分～縁
19日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
20日 養護老人ホーム入所判定会議13時30分～ほほえみ館4階
個別指導立ち合い14時～九州厚生局
こども診療所ミーティング19時～現地

- 21日 佐賀県医師会理事会15時～MC
運営会議19時～看護学校
- 23日 久留米大学全国支部長会議16時～筑水会館
- 24日 正紀お宮参り及び七五三12時～与賀神社
- 25日 佐賀中部病院勤務医師と開業医の交流会19時～オータニ
- 26日 城東班忘年会19時30分～きぶん
- 27日 原爆健診11時～当院
佐賀ガス産業医13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 28日 各種担当理事連絡協議会18時45分～唐津シーサイドホテル
- 30日 佐賀医学会15時～オータニ
-
- 12月 2日 介護保険正副委員長会議19時～オータニ
- 3日 走ろう会歩こう会打ち合わせ会14時～看護学校
三師会役員会19時～オータニ
- 4日 佐賀中部病院連携室会議～18時～現地
- 5日 運営会議19時～看護学校
- 6日 ゆめっこ保育園内科健診11時～現場
- 9日 むつごろう班忘年会19時15分～くらおか亭
- 10日 佐賀市医師会職員賞与渡し11時～看護学校
- 11日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会&忘年会18時30分～楊柳亭
- 12日 南部水ヶ班忘年会19時～牛庵
- 14日 小野原信吾先生3回忌18時～楊柳亭
久留米大学医学部同窓会佐賀県連合支部総会18時～オータニ
- 17日 佐賀県病院協会理事会&忘年会18時45分～県庁志乃
- 18日 こども診療所ミーティング&忘年会19時～シャトー文雅
- 19日 佐賀県医師会理事会15時～MC
鍋島班忘年会19時30分～くらおか亭
- 20日 佐賀リハ病院&つばみ荘合同忘年会19時～オータニ
- 23日 智博会忘年会18時30分～鳥菊
- 25日 佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 26日 佐賀県MC検証作業部会18時30分～中部広域消防局
- 30日 仕事納め

令和2年

- 1月 1日 走ろう会、歩こう会5社参り7時～佐賀県庁
- 2日 在宅医(午前中のみ診療)
吉原会17時～オータニ
- 4日 仕事始め
- 6日 辻発彦後援会新春パーティー19時～龍登園
- 8日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 9日 選挙管理委員会19時～筑水会館

- 10日 専門2年Aクラス講義14時30分～看護学校
久友会19時～楊柳亭
- 11日 佐賀市医師会新年会18時～オータニ
- 14日 MC協議会19時～佐賀県庁
- 15日 こども診療所ミーティング19時～現地
- 16日 佐賀県医師会理事会15時～MC
佐賀ライオンズクラブ例会18時～オータニ
- 17日 岩田和親新春賀詞交歓会18時～マリトピア
招福会18時30分～ゆうき
- 20日 佐賀中部災害医療対策会議18時30分～佐賀中部保健福祉事務所
地域医療構想分科会19時30分～佐賀中部保健福祉事務所
- 21日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 22日 佐賀ガス産業医13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 24日 佐賀県経営協議会理事会18時～オータニ
- 25日 佐賀大学循環器内科同門会17時50分～オータニ
- 28日 専門2年Bクラス講義14時30分～看護学校
地域医療支援病院委員会19時～好生館
- 29日 智博会18時30分～大成
- 30日 運営委員会19時～看護学校
- 31日 商工会食事会18時30分～おはな

- 2月 1日 ふくの会18時～楊柳亭
- 5日 佐賀県地域医療構想調整会議18時30分～佐賀県庁新館11階大会議室
- 6日 ぶんぶんテレビパートナーズコンベンション17時～オータニ
- 7日 好生館シンポジウム19時～MC
- 8日 山田家来佐宿泊19時～志乃で食事会
- 9日 納骨11時～真教寺 12時～楊柳亭で供養
- 10日 招福会18時30分～ゆうき
- 11日 ライオンズクラブ旗ミニバスケットボール大会閉会式13時45分～諸富文化体育館
- 12日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 13日 腎臓検診委員会19時～末広
- 14日 佐賀市地域包括支援センター運営委員会14時～佐賀市立図書館2階大会議室
商工会食事会18時30分～さいくう
- 15日 佐賀大学附属中学校同窓会打ち合わせ会16時～志田内科3階集会室
栄城医会18時～オータニ
- 16日 在宅医
- 17日 MC検証作業部会18時30分～広域消防局4階
- 18日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 19日 原爆患者健診11時～当院
こども診療所ミーティング19時～現地
原爆患者健診11時～当院
- 20日 地産保健診(5人)9時～当院
走ろう会、歩こう会会議14時～看護学校

- 佐賀県医師会理事会15時～MC
- 21日 新型コロナウイルス感染症に関する専門家会議19時～佐賀県庁旧館4階正庁
- 22日 高等課程入学説明会13時30分～看護学校講堂
中尾匡孝先生結婚披露宴16時30分～ホテルオークラ福岡
- 25日 小城市民病院統括部長&事務長13時30分～来院
- 26日 佐賀ガス産業医活動13時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 27日 智博会18時30分～ユニオン
- 28日 西武ライオンズ辻監督らと食事会19時～ゆうき
- 29日 佐賀医学会15時～MC
-
- 3月 2日 佐賀市医師会立看護学校卒業式13時～看護学校講堂
謝恩会18時45分～オータニ
- 5日 三越植田さんらが11時～来院
- 6日 神代社長らと食事会18時30分～おはな
- 10日 久友会19時～オータニ
- 11日 佐賀女子短大産業医活動12時30分～現地
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 12日 運営会議19時～看護学校
- 13日 阿部教授と食事会18時30分～ゆうき
- 14日 境野先生と食事会18時30分～大成
- 17日 佐賀県病院協会理事会19時～MC
- 18日 こども診療所ミーティング19時～現地
- 19日 商工会との食事会18時30分～さいくう
- 25日 原爆患者健診11時～当院
佐賀市医師会理事会19時～看護学校
- 26日 佐賀県医師会臨時代議員会19時～MC
- 27日 神代社長らと食事会18時30分～酒の蔵えん
- 28日 とんかつきのや娘結婚披露宴16時30分～オータニ
- 30日 招福会18時30分～ゆうき

「病院のあり方」

紫藤 泰二

リハビリテーション病院の年報の発刊時期になったのかと一年間の光陰の早さに驚かされます。同時に一年の過ぎる早さを痛感しているところで、それだけ智仁会の活動が活性化している証しにもなります。

「病院のあり方」という命題は医療に携わる者にとっては永遠のテーマである。そして時代と共に刻々と変化する。時代と共に専門性の高い高度最新医療が追求された。しかし近年の超高齢化社会、人口減少問題に直面して医療環境は大きく変化し、医療技術の進歩と同時に、さらにそれ以上に安心信頼される地域社会のワンストップ・ニーズへの対応が求められる傾向にある。「病気を治す医療」そのものの質の向上は当然のこと、さらに「支える医療」の重視と体制作りが求められ始めている。

本年報においても、リハビリ、回復期病棟や在宅医療の取り組みなど他職種のチーム医療の実績が散見されるようになった。医療のみの視点から介護福祉、生活支援につながるニーズへの対応へのチャレンジが芽生え始めている。そしてスタッフ自身の自己研鑽・キャリアアップ、多職種協働が更に充実したものとなる事を願っています。

病院は持続可能な地域社会を支える大きな社会資源である。医療介護福祉に関わる患者さんのみならず、地域社会や病院スタッフそのものがステークホルダーとして前進するものである。実績等を誇りとし、さらに新しい1年へ取組んでいきたいものです。



患者さんが、リハビリテーションに対して高い意欲を持っていただける場合、治療への導入は容易であり、あとは、定められたプログラムを着実に実行していくという流れになります。ところが、当院にご紹介いただく患者さんは、ご高齢の方が多く、治療への導入自体に困難が伴うことがあります。今回は、失語症のため意思疎通困難な患者さんに対する「笑顔の効用」について考えました。

患者さん：山村貞吉さん（仮名）

85 才、男性

主訴：失語症

山村貞吉さんは、2、3 年前から物忘れがありましたが、最近まで簡単な農作業に従事していました。今回、脳梗塞、右不全片麻痺、失語症を発症し、急性期治療を受けたのち、当院の回復期病棟に入院しました。右片麻痺は軽く、少し介助すれば起立歩行が可能でした。しかし、失語症は重度で、言葉を聞いて理解することは困難で、かつ、みずから言葉を発することもできなくなっていました。視野の右半分はうまく認識できません。全般的な判断力も低下し、ここがどこなのか、何のために自分はここにいるのかわからないようです。

山村貞吉さんの日中の行動

リハビリ療法士が山村さんを病棟からリハビリ訓練室に連れて行こうと試みますが、全く従ってくれません。背中に手を触れて車椅子への移動を促すと、怒って療法士に暴力を振ります。

山村貞吉さんの夜間の行動

深夜 1 時、病棟の廊下をふらふらしながら歩いているところを夜勤職員が発見。ズボンと下着は尿で濡れていました。夜勤職員は二人がかりで山村さんを病室に連れ戻して着替えさせようと試みますが、「うおーっ」と大声を上げ、激しく抵抗し二人の夜勤職員に暴力を振りました。

山村貞吉さんが感じる世界(1から3)

- 1) 午後 1 時。食事を済ませたので眠くなった。しばらく昼寝でもしよう。すると、制服を着た人が、唐突に私を起こしに来た。頼むから眠らせてくれ。年寄りをいじめないでくれ。
- 2) 午前 1 時。尿意を催したのでトイレに行きたい。ベッドから起き上がり部屋を出たところで制服を着た人たちに取り押さえられた。奴らは大きな白いマスクで顔を隠している。自分に何をするというのだ。誰か助けてくれ。
- 3) ここはどこだろう。制服を着た奴らはみんな敵だ。私が何かしようとする、と、しかめっ面をして、やってきて、腕をつかんで私をいじめる。ここは怖いところだ。なんとかしてここから外に出たい。早く家に帰りたい。

笑顔の効用

「しかめっ面をした敵」に囲まれて当惑している山村さんを救う基本的手段として、「笑顔の効用」を考えました。笑顔は、本来、楽しいときに自然に出るものです。しかし、笑顔は、こころの平和や友好の気持ちを表しており、対人関係を円滑にするという積極的な機能があります。従って、サービス業において、顧客に笑顔で接するのは基本中の基本です。我々医療従事者においても、患者さんに笑顔で接することが求められます。しかし、山村さんのような患者さんを受け持ったときに、気が重く感じられ、当惑してしまい、笑顔を失ってしまうことがあるのも事実です。

山村さんに接する時の基本として、「遠くから、笑顔を浮かべながら、山村さんの視野の左側に姿を現し、少しずつ近づき、山村さんの視線の高さに体を落として穏やかに話しかけること」を徹底しました。

「しかめっ面をした敵が突然現れる」と、「笑みを浮かべたやさしい人が手を差し伸べてくれる」のでは、心理的な違いは明らかです。

その後、山村さんは徐々に精神的に落ち着き、病棟生活に慣れていきました。

令和元年度をふりかえって

夢館 館長 吉原 眞紀子

元号が令和に変わっても「皆様に愛される夢館作りを」とみんなで心ひとつに頑張って参りましたが、この新型コロナウイルスの蔓延により日本中、いや世界中が厳しい時代に突入し、夢館として例外ではなくなっています。自由さが売りだった夢館ですが、現在は感染防止のために面会禁止、外出も制限され、皆様にご不自由を強いる日々になっております。



とは言えコロナ以前の夢館の挑戦を振り返ることにします。何と言っても絶大な人気は秋の敬老会、そして12月のクリスマス会です。敬老作品展も定着してきました。年々、その出来栄も進化を遂げています。皆様に自分の作ったものを見ていただくことはもちろん、それが入賞して表彰されるなんて夢のような話ですよ。皆様のはにかみ方、喜び方がとっても微笑ましいです。これこそ

夢館ならではのと思っています。作品展出展をひとつの目標としてせっせと頑張ってくださっているのが嬉しいです。

オープンから6年半。始めはお元気だった方も次第に弱られてついには還らぬ人となられる悲しいお別れも続きました。その中で、あるご遺族から「父の遺志だったので是非とも受け取ってください。」と分厚い金封が送られて来ました。夢館の皆様に喜んでいただける使い方をしたくて、いろいろ考えた末に思いついたのが「夢館シアター」でした。食堂のカーテンを遮光に変え精度の高いプロジェクターと天井からするすると降るスクリーン、スピーカーの設置により、かなり本格的な「夢館シアター」が出来上がりました。映画世代の方が多く「これは何度も観たよ。懐かしい。」等と喜んでいただきました。今は三密を避けるということで上映会どころではなくなりましたが。



またオープン以来の夢がひとつかきました。初めて早朝のバルーン見学にお連れすることができたのです。まだ暗いうちに夢館を出発。



明けぞめていく大空に次々と離陸していくバルーンを堪能していただくことができました。子どものようにはしゃぐ皆様が、とってもかわいらしかったです。

今は迫りくる新型コロナウイルスの足音におびえる日々ですが、こうなってみて改めて普段の生活がどれほど有難いかを噛みしめています。一日も早く終息して皆様に夢館ライフを楽しんでいただける日が帰ってきますように。

令和元年 医事課活動報告

令和元年 診療活動(実績)報告書

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	訪問診療													0
	訪問診療(施設)	132	137	125	139	113	133	140	118	130	130	116	133	1546
検 査	胃カメラ	9	9	12	7	4	19	10	13	13	7	5	8	116
	ボタン交換	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	ホルターECG	2	0	2	1	1	2	4	1	1	0	0	1	15
	ECG	63	84	101	47	76	88	123	34	32	23	62	1	734
	腹部エコー	3	17	16	7	2	31	17	11	6	8	8	4	130
	心エコー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CBC	59	53	35	42	37	32	38	39	33	31	57	29	485
画 像	単純撮影	324	268	246	251	234	243	319	172	206	188	215	192	2858
	VF	2	1	4	0	2	4	3	4	5	5	1	6	37
	他造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CT	87	108	102	101	87	91	97	96	123	115	112	84	1203
														0
保険予防	健康診断	118	86	96	47	56	59	140	7	6	4	37	35	691
	人間ドック		12	4	2	1	17	11	4	3	0	0	3	57
	特定検診	1	13	7	9	8	5	7	6	6	5	14	3	84
	佐賀市国保ドック	3	1	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	8
														0
														0
	救急来院	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2

令和元年度紹介来院統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介来院(2F入院)	20	17	18	15	15	13	18	15	17	15	16	16	195
紹介来院(3F入院)	17	18	14	19	13	14	12	15	19	14	20	17	192
紹介来院(外来)	8	10	12	13	5	5	8	7	10	6	2	10	96
合 計	45	45	44	47	33	32	38	37	46	35	38	43	483

令和元年度逆紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
逆紹介病院(2F退院)	7	1	4	4	3	1	1	1	1	2	1	2	28
逆紹介病院(3F退院)	2	4	3	6	4	2	4	2	5	6	10	3	51
逆紹介病院(外来)	33	29	29	27	24	28	27	24	20	28	27	17	313
逆 紹 介 合 計	42	34	36	37	31	31	32	27	26	36	38	22	392

令和元年度施設紹介統計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
紹介施設へ(2F退院)	3	5	7	5	4	8	3	6	4	4	3	5	57
紹介施設へ(3F退院)	7	3	4	7	4	4	2	6	6	4	1	8	56
紹介施設へ(外来)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
施 設 紹 介 合 計	10	8	12	12	8	12	5	12	10	8	4	13	114

令和元年度紹介来院一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	3	5	7	4	6	2	2	4	3	5	5	6	52
佐賀県医療センター好生館	19	18	13	15	9	12	15	10	19	9	11	14	164
NHO佐賀病院	4	5	2	5	5	2	3	7	5	4	5	4	51
副島病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
福田脳神経外科	4	0	7	3	3	2	4	1	7	5	6	4	46
正島脳神経外科	1	0	0	1	0	0	0	1	1	1	0	0	5
百武整形外科	2	2	0	0	2	1	0	1	1	1	1	2	13
遠藤内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西有田共立病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院	3	0	1	5	2	3	2	3	2	3	4	2	30
ひらまつ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清友病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀記念病院	0	1	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	7
													0
													0
													0
													0
													0
													0
県内他の病院	5	10	11	10	3	5	10	5	4	4	3	6	76
県外の病院	4	4	2	2	2	5	2	3	4	1	3	5	37
合 計	45	45	44	47	33	32	38	36	46	35	38	43	482

令和元年逆紹介病院別(施設)一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
佐賀大学医学部附属病院	0	4	3	6	4	3	3	3	1	3	2	3	35
佐賀県医療センター好生館	9	12	9	14	12	11	15	6	7	12	16	5	128
NHO佐賀病院	1	0	0	3	0	2	1	3	0	2	2	1	15
副島病院	0	2	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	6
福田脳神経外科	3	2	0	1	2	1	2	2	0	2	2	0	17
佐賀中部病院	1	1	1	1	1	1	1	3	1	3	1	2	17
百武整形外科	7	2	0	2	0	0	1	0	2	0	1	0	15
令和2年1月逆紹介	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
正島脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
佐賀記念病院	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3
小田クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いちはら耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中原眼科	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
横尾クリニック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
療養病床の病院	3	0	0	0	1	2	0	0	0	2	2	1	11
回復期リハ病院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の病院	17	11	20	10	11	9	8	10	14	9	10	10	139
特老	1	1	0	1	1	2	0	2	4	4	1	0	17
ヘルスケア水ヶ江	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
佐賀中部病院附属 介護老人保健施設	0	0	0	1	1	2	1	0	1	1	0	1	8
エバーグリーン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
レストピア	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3
白寿園	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	4
徐福の里	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
自宅扱いの施設	7	7	10	10	4	6	4	10	3	2	2	8	73
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の施設	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	3	7
	52	42	47	49	39	43	37	39	40	42	42	35	507

令和元年度外来患者集計

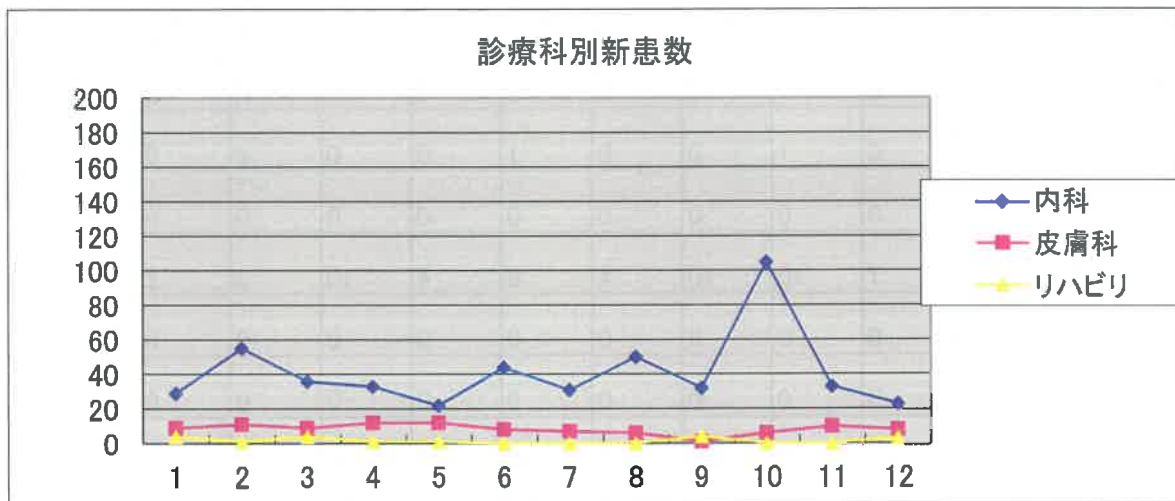
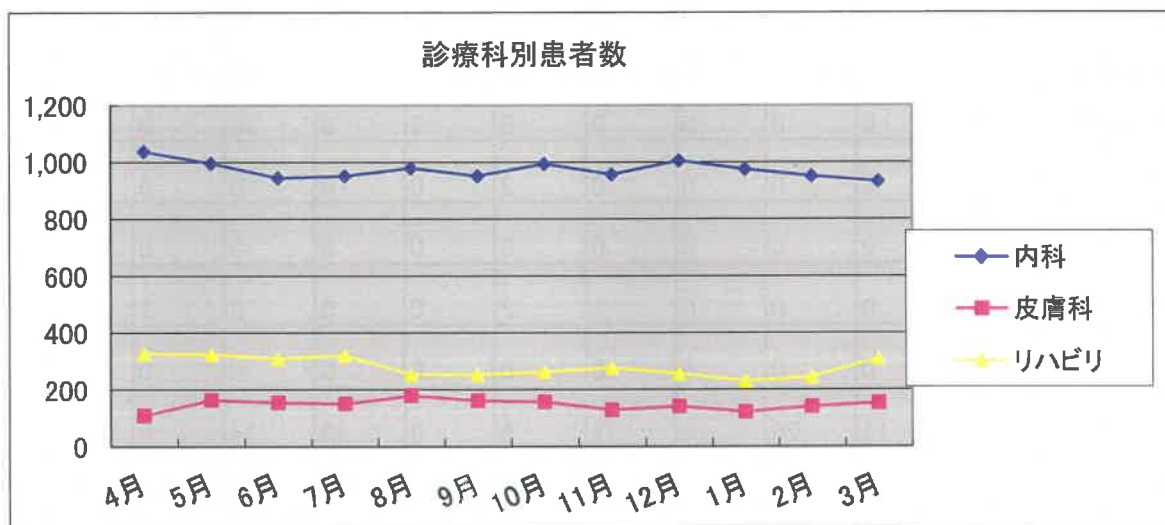
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
患者数	内科	1,038	997	945	951	979	951	994	957	1,006	975	951	933	11,677	973.1
	皮膚科	110	165	155	151	180	162	158	130	142	123	142	154	1,772	147.7
	リハビリ	328	325	310	321	254	254	263	278	257	230	246	310	3,376	281.3
新患者数	内科	29	55	36	33	22	44	31	50	32	105	33	23	493	41.1
	皮膚科	9	11	9	12	12	8	7	6	1	6	10	8	99	8.3
	リハビリ	4	1	4	1	1	0	0	0	4	0	0	3	18	1.5
紹介来院数	内科	1	6	8	7	3	1	4	4	6	2	1	5	48	4.0
	皮膚科	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	3	0.3
	リハビリ	7	3	4	5	2	4	4	3	3	4	1	6	46	3.8
算定状況	時間外	0	1	0	1	1	3	1	0	1	1	1	2	12	1.0
	深夜	0	1	0	0	0	1	0	1	2	0	1	0	6	0.5
	休日	2	1	5	0	0	12	0	17	0	53	10	0	100	8.3
1日平均外来患者数		59.04	61.96	54.27	54.73	56.52	56.96	56.60	54.60	56.20	55.33	55.79	55.88	678	56.5
新患者率		2.85%	4.51%	3.47%	3.23%	2.48%	3.80%	2.69%	4.18%	2.63%	8.36%	3.21%	2.43%		
入院対外来比		0.53	0.51	0.49	0.48	0.47	0.47	0.49	0.49	0.48	0.44	0.48	0.47		
1日平均入院患者数		89.77	94.65	92.16	95.39	96.16	92.94	92.45	89.65	95.39	96.42	90.55	95.87		
外来診療実日数		25	24	26	26	25	24	25	25.00	25.00	24.00	24.00	25.00	298	

在宅医 在宅医

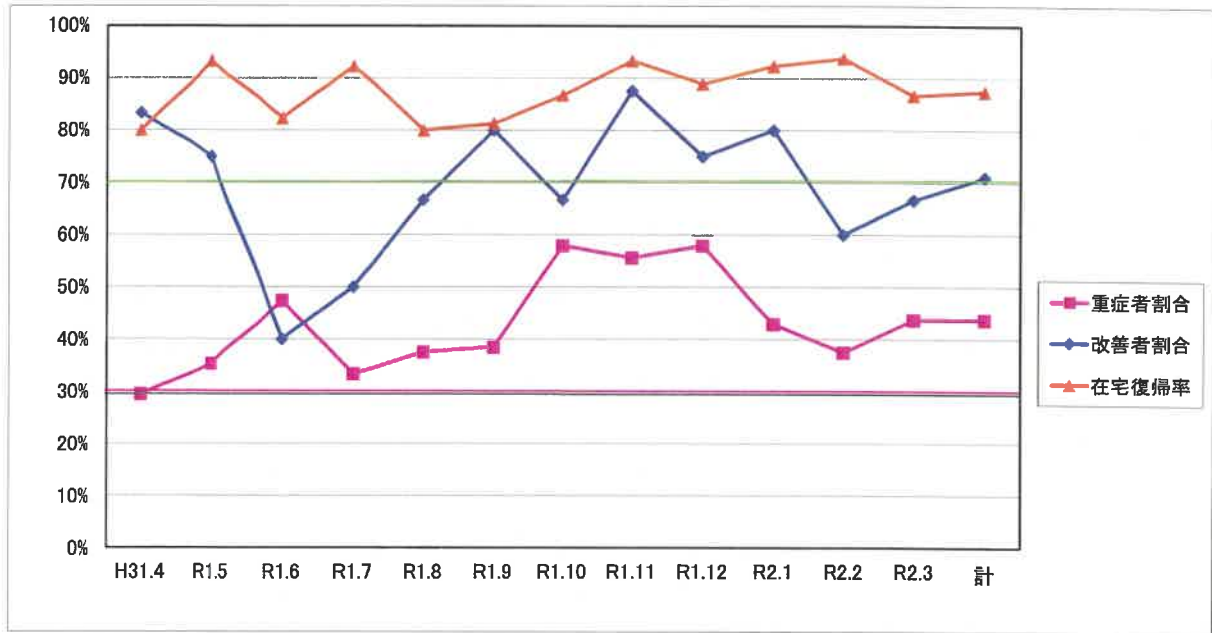
在宅医

在宅医

在宅医 在宅医



2019年度 回復期リハビリテーション入院料1(2階病棟)に係る施設基準推移表



入院	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	計
① 入院患者数	20	19	20	19	16	13	21	17	18	15	16	16	210
② (1) ①のうち回復期算定外	3	3	3	4	1	1	4	1	0	1	0	0	21
療養⇒回復へ	0	1	2	0	1	1	2	2	1	0	0	0	10
③ ①のうち日常生活機能指標が10点以上だった患者数 (②(1)除く)	5	6	9	5	6	5	11	10	11	6	6	7	87
④ 重症者割合 (③/(①-②(1)))	29%	35%	47%	33%	38%	38%	58%	56%	58%	43%	38%	44%	43.7%
A項目有りの患者数	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	5
A項目割合	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	17%	5%	0%	6%	0%	2.5%

退院	H31.4	R1.5	R1.6	R1.7	R1.8	R1.9	R1.10	R1.11	R1.12	R2.1	R2.2	R2.3	計
⑤ 退院者数	20	18	19	20	16	17	18	16	18	15	16	17	210
(1) ⑤のうち療養型入院等の算定外	0	2	1	4	0	1	1	1	0	0	0	0	10
(2) ⑤のうち死亡、急変による退院患者	5	2	3	3	2	0	3	1	1	2	0	2	24
(3) 算定期限切れによる退院追加対象者	0	1	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0	7
⑥ 対象退院患者数 (⑤(1)(2)除く)	15	15	17	13	15	16	15	15	18	13	16	15	183
⑦ (1) ⑥のうち在宅等へ	12	14	14	12	12	13	13	14	16	12	15	13	160
(2) ⑥のうち介護老人保健施設へ	1	0	1	1	1	2	1	0	1	1	0	2	11
(3) ⑥のうち他の回復期リハ病棟へ	0	1	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	5
(4) ⑥のうち(3)を除く病院、有床診療所へ	2	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	0	7
⑧ 在宅復帰率 (⑦(1)/⑥)	80%	93%	82%	92%	80%	81%	87%	93%	89%	92%	94%	87%	87.4%
⑨ ⑥のうち入院時の日常生活機能指標が10点以上であった患者	6	4	5	6	3	10	3	8	8	5	5	6	69
⑩ ⑨のうち退院時、日常生活機能指標4点以上改善した者	5	3	2	3	2	8	2	7	6	4	3	4	49
⑪ 改善者割合 (⑩/⑨)	83%	75%	40%	50%	67%	80%	67%	88%	75%	80%	60%	67%	71.0%

令和元年度 看護部 院外研修参加者一覧

看護部

月 日	研修名「テーマ」	参加者	場所
4/22	新人看護職員多施設合同研修会	本村早希・山下唯華・小濱綾	佐賀
4/22	「看護研究について」	佐藤桃子	佐賀
4/24	第1回大隈骨近位部地域医療連携バス合同カンファレンス	小副川義也・村岡知里・村岡みゆき・生田恵美	佐賀
5/11.12	「看護に活かせるフィジカルアセスメント」基礎編	佐藤こすえ	佐賀
5/11.12	日本褥瘡学会・九州地方会	内田礼子・寺尾夏奈・中島美和・松本綾乃	北九州
5/14	「がん患者の疼痛コントロール」	佐藤こすえ	佐賀
5/18	BLSプロバイダーコース	副島麻	佐賀
5/21	業務中のリスク回避のためのリスクマネジメント研修	古賀直哉・下村奈保美	佐賀
5/22	組織・チーム力を高めるリーダーシップ	大野裕里・北川直基	佐賀
5/23	メンタルヘルス研修	鬼石理華	福岡
6/1	BLS	田中佳奈	佐賀
6/6	現場で活かす看護管理PART1	大野裕里	佐賀
6/10~21	脳卒中急性期看護研修(実習)	大野裕里	佐賀
6/11	看護研究指導者サポート研修～看護研究指導に強くなろう～	樋口千枝子	佐賀
6/15.16	回復期リハ協会 他職種研修会「ICFについて」	樋口千枝子・吉永貴子・北村美紀子	大阪
6/19	介護者の力	井上りさ	佐賀
6/22	佐賀県看護協会通常総会	坂本宏子・小副川義也・樋口千枝子・北川直基・北島泉水・村岡みゆき	佐賀
6/26.27	現場で活かすスタッフの成長を支援するコーチング	大園直子・飯盛真也・佐伯綾美・井上桃花・東美里	佐賀
6/27	ハート先生の高齢者の循環器看護セミナー	内田礼子・北村恵・川崎里香	佐賀
6/30	医療・看護必要度研修	副島麻	福岡
6/30	NSTリハ栄養フォーラム	大園直子・吉永貴子・樋口千枝子	佐賀
7/5	回復期リハ協会第5回看護リーダー・主任研修会	平河亜衣・北村美紀子・松林卓弥	福岡
7/8	せん妄のある患者の看護	小副川義也	東京
7/11	医療介護連携会議講演「外国人労働者の必要性」	寺崎紗也香	佐賀
7/14	看護過程実践セミナー(エキスパートナース研修)	小副川義也・北村美紀子・北川直基	佐賀
7/19	特定行為研修に関する講演会	北川直基・佐山清子・今町真由美・北村恵	福岡
7/17	好生館リエゾンの取り組みについて	小副川義也・樋口千枝子・大野裕里・北川直基・佐山清子・大園直子・北村美紀子・内田礼子・坂本宏子	佐賀
7/20	施設教育者・臨地実習指導者合同研修会	田中志野・村岡知里・大野裕里・佐藤こすえ	佐賀
7/23	摂食嚥下障害のある患者の看護	坂本宏子・吉永貴子・北村美紀子・今町真由美・鬼石理華	佐賀
7/24	脳卒中連携バス合同カンファレンス	井上桃花・寺崎紗也香・東美里	佐賀
7/27.28	日本コンチネンズ協会主催排泄講習初級前半セミナー	樋口千枝子	福岡
7/30.31	災害支援ナースの第一歩	大野裕里	福岡
8/7	看護に活かせるフィジカルアセスメント	副島麻	佐賀
8/21	地域連携診療計画に関わる合同カンファレンス	久田真奈美	佐賀
8/22	実習指導者講習会・フォローアップ研修	生田恵美・金子健三	佐賀
8/28	コーチング技法を活用した「人材育成指導力」向上研修	今町真由美	佐賀
8/29	回復期リハ協会主催 看護介護研修会	大園剛史	佐賀
9/5	佐賀県医師会医療安全・院内感染防止対策医療従事者研修会	小副川義也・北川直基	福岡
9/7	日本コンチネンズ協会初級フォローアップ	坂本宏子・大園直子・小副川義也・樋口千枝子・川崎里香・吉村千鶴・岩松瑞己・田中志野	佐賀
9/12	基礎から学べる感染対策	大野裕里	福岡
9/13	第86回佐賀県糖尿病病院内分泌懇話会	岩松瑞己・吉武はすみ・佐伯綾美・佐藤桃子	佐賀
9/14	高齢者ケア・転倒予防	今町真由美・田中佳奈・生田恵美	佐賀
9/14・15	回復期リハ協会 多職種研修会「ICFについて」	富崎奈津子・寺崎紗也香・佐藤桃子	佐賀
9/19	看護研究発表のための効果的なプレゼンテーション	大野裕里・生田恵美	広島
9/22	回復期リハ協会主催回復期リハ認定看護師フォローアップ研修会	生田恵美・寺崎紗也香	佐賀
9/25	指導力職員研修	樋口千枝子	東京
9/28・29	日本コンチネンズ協会中級セミナー	山口優明	佐賀
10/9.18	看護研究に使える統計学	大野裕里	福岡
10/11	入退院支援	生田恵美・飯盛真也	佐賀
10/18	介護現場の記録	佐藤こすえ	佐賀
10/19	第36回佐賀地区看護師卒後研修会	下村奈保美	佐賀
10/19・20	日本コンチネンズ協会中級セミナー	樋口千枝子・内田礼子・吉原佳寿美	佐賀
10/24.25	災害支援ナースの育成	大野裕里	福岡
10/24	介護の対応で困っているの？パート1	内田礼子	佐賀
10/25	排便サポートセミナー	井上りさ	佐賀
10/27	救急看護セミナー	大野裕里	佐賀
11/9.10	日本リハビリテーション看護学会学術大会	副島麻	福岡
11/12	論理的思考と小論文の書き方	坂本宏子・大野裕里・藤野美咲・松本綾乃・内田礼子・金子健三・田中佳奈	東京
11/16	救急蘇生学会	大野裕里・生田恵美	佐賀
11/13.15.27.28	新人看護職員教育担当者研修	副島麻	長崎
11/26	令和元年度佐賀県回復期リハ病院連協協議会研修会	樋口千枝子・内田礼子	佐賀
11/27	佐賀県中部地区脳卒中地域連携バス合同カンファレンス	樋口千枝子・北川直基・小副川義也	佐賀
11/30	2019年度看護師職能Ⅰ集会研修・講演会	樋口千枝子	佐賀
11/30	災害救急医療講演会	井上りさ	佐賀
12/4	心霊幽霊不整脈～	小濱綾	佐賀
12/5	自立支援	井上りさ・高尾佳那子	佐賀
12/8	第15回看護師・コメディカルのためのFIM講習会(応用編)	大園直子	東京
12/11	認知症の看護	川崎里香・田中志野・磯田知里・辻田美幸・飯盛真也・佐藤こすえ	佐賀
12/11	認知症の看護	村岡みゆき・佐藤桃子	佐賀
12/12	高次脳障害について	下村奈保美	佐賀
12/20	急変予測のフィジカルアセスメント	井上桃花・佐伯綾美・久田真奈美	佐賀
12/21.22	日本コンチネンズ協会認定者講習会	大野裕里	福岡
1/22	大人の発達障害	寺崎紗也香	佐賀
1/23	指導的職員スキルアップ研修	金子梓・藤井泰子	佐賀
2/15	2020年度看護師職能Ⅱ集会研修・講演会	樋口千枝子	佐賀
2/26	感染予防	松岡舞	佐賀

《2階病棟》

藤野美咲、松本綾乃、古賀勤、大野裕里、坂本宏子

演題：中途覚醒する認知症患者への関わり

【目的】夜間の中途覚醒は認知症患者にとって、昼夜逆転やせん妄を招き本来の目的であるリハビリテーションの進行に影響を与える。中途覚醒の場合は薬剤投与も日中への影響を考慮し使用が難しい。今回、中途覚醒する認知症患者への関わり方を一考察した

【方法】前調査で認知症の診断がある患者11名に夜間1時間毎の訪室による睡眠状態の確認を約1ヶ月間行う。閉眼し臥床した状態を入眠中と定義。覚醒後1時間以内に再入眠した場合は覚醒者から除外。結果、早期覚醒者3名、中途覚醒者5名、熟眠障害者3名となった。睡眠パターンの評価は当院独自で作成した表を基に、覚醒の回数・時間、睡眠時間の長さで判断した。今回は中途覚醒の対応が困難な患者3名に対し睡眠パターン、覚醒時間、昼夜の訴えから患者のニーズを考察し統一した夜間の関わりを行った。

【結果】A氏は「起きる」としかいわれず、離床しても興奮あり再入眠が難しかったが、夜間覚醒時に排尿を促すと排尿され再入眠された。B氏は夜間覚醒時排泄の訴えが多く、臥床してもすぐに排泄の訴えで起き上がられたが、間食をするとその後再入眠された。C氏は夜になると病室へ行かれるも、ベッド周囲で枕元灯の点灯・消灯を繰り返し、その後徘徊され入眠されなかった。しかし、病室に行くタイミングでベッド臥床を介助にて行い臥床すると入眠された。3名とも高齢であり、アルツハイマー型認知症を患っていることから、自己の欲求を適切にスタッフに伝えることが出来ていないと判断した。A氏の訴えは「起きる」のみであったが、実際は排泄の訴えだった。B氏は空腹で覚醒されたが、誤認や言語能力の低下で自己の状態を正しく訴えることができなかった。C氏は注意障害や短期記憶障害により、目的の行動を起こしても目的が達成されないまま忘れてしまい、同じ行動を繰り返していた。患者の本来のニーズを推察し対応する事で再入眠へとつながったと考える。

【結論】中途覚醒する認知症患者の再入眠を促す関わりは、中核症状の全体を捉え患者本来のニーズを推察して対応する事が重要である。

《3階病棟》

田中佳奈、金子健三、内田礼子、大園直子、坂本宏子

演題：FIM分析から見た外泊訓練の時期

【目的】早期在宅復帰を目指すうえで、外泊訓練は在宅での生活を知り家族の介護負担量や介護方法、家屋状態から訓練内容の調節や改修などを行っていくことができ大変重要である。しかし現在外泊訓練の開始時期として明確な指標になるものはない。現在病棟では機能的自立度評価法(以下:FIM)を入院時から毎月看護師により評価しているが、FIMは自立度のほか介護量も表している。FIM情報が外泊訓練開始の指標となるのではないかと考え研究を行った。

【研究方法】H29年4月～H30年3月研究期間中に自宅退院された患者93名(3)対象を、A群(脳血管系高次脳あり)、B群(脳血管系高次脳なし)、C群(骨・筋系)に分け、FIMの点数と外泊訓練の関連性を分布図を作成し分析する。

【結果】93名中、外泊者は57名(A群31名、B群9名、C群17名)、外泊なし者は36名(A群9名、B群10名、C群17名)となった。外泊訓練開始時のFIM運動機能の点数71点以上が41名で外泊者の72%を占める。認知項目は20点以上で外泊した患者は51名(A群26名、B群9名、C群16名)と全体の90%で、残り6名は10～16点だった。運動項目71点以上かつ認知項目20点以上は40名で外泊者の70%を占める。外泊なし者は運動項目71点以上が25名(A群8名、B群8名、C群9名)。認知項目では20点以上は33名(A群8名、B群9名、C群16名)であった。FIMの点数が50点以下で外泊訓練が実施できた方が5名で家族介護者が複数おられた。逆に家族介護者がなく点数が81点以上で外泊訓練が実施出来ない方は20名おり、理由として独居、認知項目20点以下、家族の協力が無い等だった。

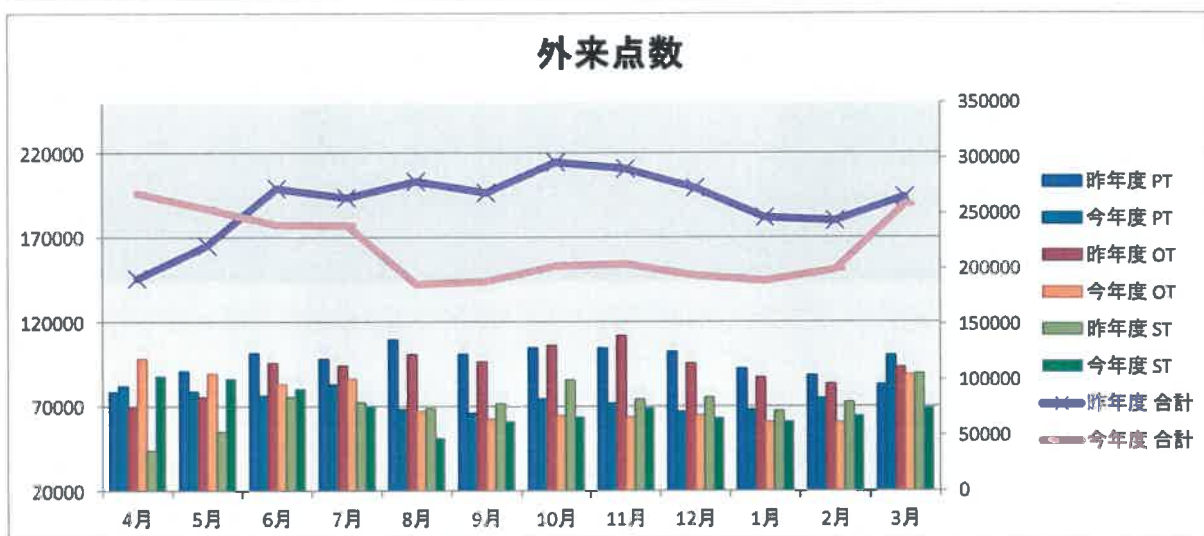
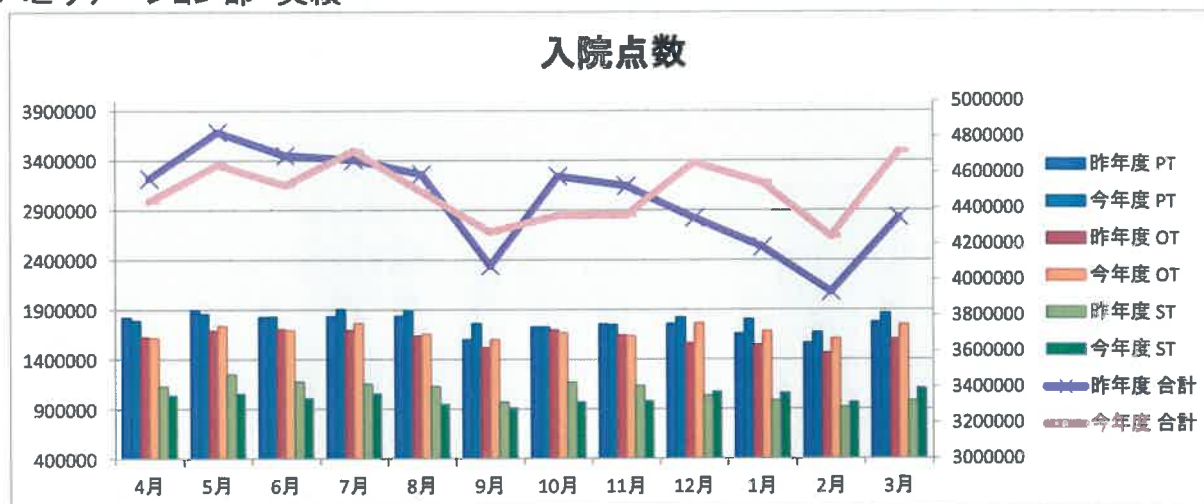
【考察】FIM運動項目の点数が上がることはADL自立度が高くなることであり、71点以上から外泊者が大きく増加し外泊者全体の72%を占めていることから、家族の受け入れがしやすい介助レベルであると考えられる。点数が低い程家族への介護負担は大きくなる。その為外泊を促す前に患者・家族への指導や環境調整を行っていく必要がある。在宅復帰者の90%が認知項目20点以上であることから認知機能面が外泊訓練開始に影響していると考えられる。

【結論】外泊訓練開始の時期として運動項目70点以上、認知項目20点以上が指標となりうる。

令和元年 リハビリ部活動報告

リハビリテーション部活動報告

1. リハビリテーション部 実績



スタッフ状況

	備考	スタッフ人数		
4月	PT上原・PT大坪・OT園田・OT福永入職、OT畑瀬・OT飯田・復帰	PT28	OT26	ST17
5月		PT28	OT26	ST17
6月	房本病休、OT吉田華病休	PT28	OT25	ST16
7月	PT猪口復帰、ST房本・OT吉田華病休	PT29	OT25	ST16
8月	PT藤崎産休、ST房本病休	PT28	OT26	ST16
9月	ST房本病休	PT28	OT26	ST16
10月	ST房本病休	PT28	OT25	ST16
11月	ST房本病休	PT28	OT26	ST16
12月	ST藤木復帰PT今里あ病休・	PT27	OT26	ST18
1月	OT吉田華産休・PT今里あ病休・ST佐野復帰	PT27	OT25	ST19
2月	PT今里あ	PT27	OT25	ST19
3月	PT中溝・PT石田・OT井手・ST松石退職	PT27	OT25	ST20

2. 概況・所見

前年度と比較し実績は入院が増、外来が減となっている。アウトカム実績指数は、前期は40を超していたものの、後期は37前後を推移している。今年度はアウトカム実績指数が37であり実績クリアできているが、後期は入院予約減の時期もあり在院日数が伸びる傾向もあった。実績指数37前後を推移している事を考えると、今後より一層の実績指数を意識した取り組みが必要になってくると思われる。外来リハビリは、算定期限の重視や介護保険の利用への移行を行い、前期は減少であったが、後半は、早期退院の方で介護サービス移行までや、介護保険を利用されない方の利用が増えている。スタッフは産休・育休よりの復帰者や、土日祭日の出勤者数の配慮にてやや増収となったと考えられる。

3. 活動報告

1) 院外

脳卒中連携バス会議

日時	場所	発表者	参加者
7月24日	好生館		坂井・松石OT・など
11月27日	佐賀大学		坂井・
コロナウィルス影響で3月中止			

大腿骨折連携バス会議

4月24日	好生館	運営報告・ディスカッション	坂井・泉などPT3・OT3
8月21日	好生館	運営報告・ディスカッション	坂井・吉竹などPT2・OT1
12月18日	好生館	運営報告・ディスカッション	坂井・吉竹などPT2・OT3

回復期リハ病棟会議

9月14日	佐賀記念病院	各施設の運営状況	坂井・竹下など
11月26日	ひらまつ病院	研究発表会	坂井・竹下など多数参加
2月15日	ひらまつ病院	各施設の運営状況	竹下・坂井・高原など

就職説明会

参加なし

介護認定審査会

平成31年

令和1年

令和2年

4月11日	中部広域連合	坂井沙織	
4月25日	中部広域連合	坂井沙織	
5月9日	中部広域連合	坂井沙織	
6月6日	中部広域連合	坂井沙織	
6月20日	中部広域連合	坂井沙織	
7月18日	中部広域連合	坂井沙織	
8月2日	中部広域連合	坂井沙織	
9月12日	中部広域連合	坂井沙織	
10月10日	中部広域連合	坂井沙織	
10月24日	中部広域連合	坂井沙織	
11月21日	中部広域連合	坂井沙織	
12月5日	中部広域連合	坂井沙織	
1月16日	中部広域連合	坂井沙織	
1月30日	中部広域連合	坂井沙織	
2月27日	中部広域連合	坂井沙織	
3月12日	中部広域連合	坂井沙織	
3月26日	中部広域連合	坂井沙織	計17回

中部広域リハセンター連絡協議会	8月29日	佐賀市医師会看護学校 中止	坂井・吉竹・高原
-----------------	-------	------------------	----------

勉強会	8月22日	夢館通所リハビリ室	シーティング	山田麻和
	2月13日	夢館通所リハビリ室	佐賀市の介護予防事業の取り組み	川崎浩

<発表>

1) 院外

PT・OT・ST参照

2) 院内

目標管理発表会	5月22日	食堂	各担当者
---------	-------	----	------

リハ部学会	10月3日	食堂	PT	吉竹陽介
			PT	光野敬彦
			OT	西村 剛
			OT	吉田幸平

院内研修発表会	2月13日	通所リハビリ	PT	横尾 匠
---------	-------	--------	----	------

佐賀リハ体験2019	5月19日	リハ室
------------	-------	-----

勉強会

外部講師勉強会	日時	内容	講師名
	9月14日	口腔機能障害に対する装置について	山口能正(佐賀大学医学部)
	1月24日	シーティングの実践(応用編)	山田麻和(長崎北病院)

おしゃべりステーション	日時	場所	内容	スタッフ	患者+入院・(家族)
	5月16日	旧食堂	今後の会について	2名	2名
	7月18日	旧食堂	フリートーク	1名	3名
	9月19日	旧食堂	フリートーク	2名	3名
	11月21日	旧食堂	来年度の取り組みについて	2名	3名
	1月16日	1階エントランス	来年度の取り組みについて	2名	1名

伝友会	6月27日	旧食堂	語想起・座談会	19名(患者14名・家族5名)
	9月20日	集団言語訓練室	創作活動 座談会	12名(患者7名・家族7名)
	12月11日	旧食堂	集団言語訓練・失語症について	16名(患者10名・家族6名)
	3月		新型コロナウイルスの影響で中止	

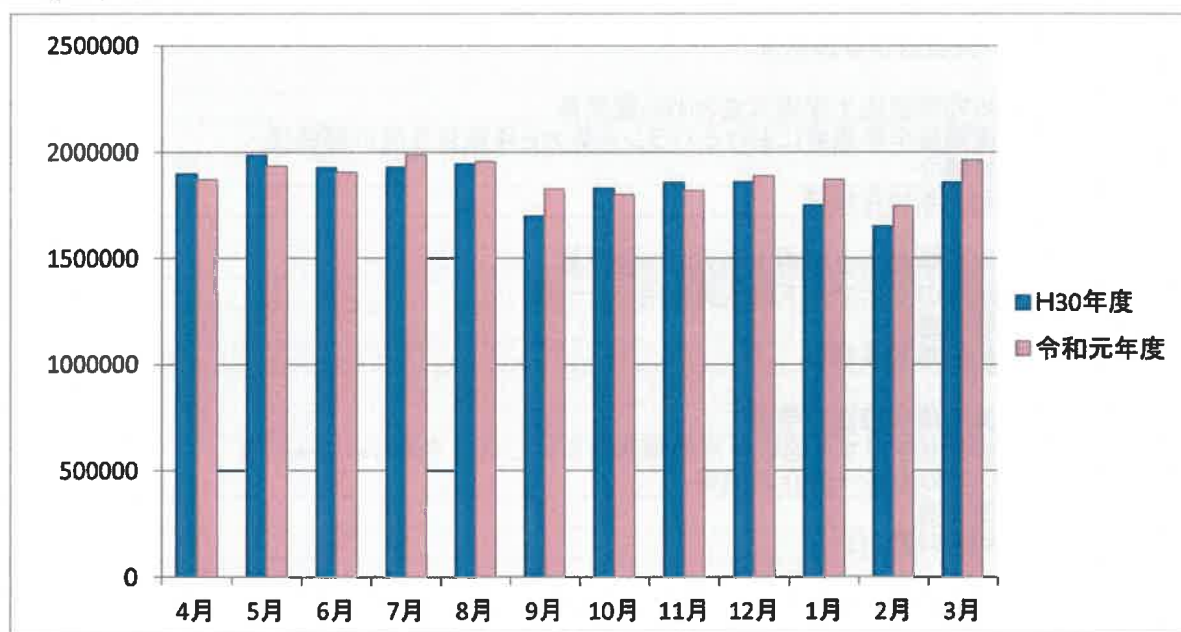
職場体験・見学	日時	学校名
	2019/6/10-6/12	佐賀学園高等学校
	2019/7/22-7/25	佐賀県立牛津高等学校
	2019/8/20-8/22	清和中学校
	2019/10/17-10/18	佐賀県立致園館中学校
	10月24日	佐賀県立佐賀商業高等学校

令和元年度 理学療法課年報

1.令和元年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1,788,182	82,000	1,870,182
5月	1,853,945	78,649	1,932,594
6月	1,827,986	76,290	1,904,276
7月	1,904,547	82,870	1,987,417
8月	1,888,344	67,977	1,956,321
9月	1,759,204	65,809	1,825,013
10月	1,724,881	74,390	1,799,271
11月	1,746,326	71,579	1,817,905
12月	1,820,466	66,596	1,887,062
1月	1,801,408	67,855	1,869,263
2月	1,669,371	76,472	1,745,843
3月	1,862,338	100,063	1,962,401
総計	21,646,998	910,550	22,557,548

2.理学療法実績比較



3.平成29年度 活動報告

1)年間行事

平成31年 (令和元年)	4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式 一部人事異動等) 大坪由美子(新人入職) 光野敬彦;(第3係→第1係) 野中勇希(第1係→第3係)
	前年度3月27日～	江口茉莉子(産休・育休)
	7月1日～	猪口由季(育休復帰)
	8月14日～	藤崎圭織(産休・育休)
令和2年	3月31日	中溝健太郎 石田雅大(退職)

2)勤務配置

2階病棟専従	前田浩彰	西紘希	石田雅大	笠原悠亮
2階病棟専属	坂井沙織 中溝健太郎(病棟責任者・訪問兼務) 熊倉飛鳥	江頭修司 高島美春	大坪由美子	池末明裕
2階病棟 外来兼務	池田典子	今里あゆみ	光野敬彦	坂本一生
3階病棟専従	横尾匠	枝吉直喜	西沙都美	園田貴嘉
3階病棟専属	吉竹陽介 島内一磨 藤崎圭織(7月～産休)	貝通丸淳 江口茉莉子(4月～産休)	藤木良平(病棟責任者) 野中勇希	上原世那
3階病棟 外来兼務	江頭ひろみ 猪口由季(～8月産休)	大田尾修造		
理学療法 助手	竹嶋喜代香			

3)学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

<学会発表>

学会名	九州理学療法士学術大会2019in鹿児島
演題名	回復期脳卒中患者におけるバランス能力と移乗自立度の関係性
発表者	吉竹陽介
期日	令和元年10月12日

学会名	九州理学療法士学術大会2019in鹿児島
演題名	退院後の生活で長下肢装具を用いた一例
発表者	光野敬彦
期日	令和元年10月13日

学会名	佐賀県理学療法士学会
演題名	失調症状を呈する脳卒中片麻痺患者に対し Gait Solution Designを用いての歩行への介入効果
発表者	笠原悠亮
期日	令和2年2月2日

発表会名	佐賀県理学療法士会中部広域部 症例検討会
演題名	急性大動脈解離術後に脳梗塞を発症した症例 ～下肢装具トリミングが及ぼす歩行能力への影響～
発表者	園田貴嘉
期日	令和元年7月4日

<研修会>

研修名	促通反復療法 入門講座
研修地	東京都渋谷区 促通反復療法研究所 川平先端ラボ
期間	令和2年1月20日～1月24日
参加者	前田浩彰

<課内勉強会>
理学療法課 症例検討会
4回/年

理学療法課 文献抄読会
2回/月

5)実習生受け入れ

実習期間	学校名	受け入れ人数	指導者名
5月7日 ~ 7月12日	緑生館	臨床実習1名	西紘希
5月7日 ~ 6月29日	熊本総合リハ学院	臨床実習1名	枝吉直喜
6月8日 ~ 7月25日	西九州大学	臨床実習1名	熊倉飛鳥
7月15日 ~ 9月15日	久留米リハ学院	臨床実習1名	大田尾修造
7月1日 ~ 9月14日	麻生リハ学院	臨床実習1名	石田雅大
7月22日 ~ 9月21日	柳川リハ学院	臨床実習1名	光野敬彦
3月2日 ~ 3月6日	緑生館	評価学演習2名	藤木良平・前田浩明
1月6日 ~ 2月1日	西九州大学	評価実習1名	高島美春
1月27日 ~ 2月19日	柳川リハ学院	評価実習1名	西沙都美
2月10日 ~ 2月15日	麻生リハ学院	評価実習1名	横尾匠
2月3日 ~ 2月15日	西九州大学	検査測定実習1名	園田貴嘉
2月3日 ~ 2月8日	西九州大学	見学実習1名	江頭修司
3月9日 ~ 3月27日	緑生館	評価実習1名	坂本一生

6)コメント

2019年度理学療法課は、各個人の専門分野を持つ、生活におけるPTの専門性を発揮していく、PTの専門性を他業種に発信していくことを指標として取り組んできた。しかし専門性を持ち発揮していくことに意識を持って取り組んだ者もいたが、課全体としての意識は不十分であったと思われる。今後各理学療法士が外部から選ばれるようになることが病院としての発展にも繋がるため、来年度はより具体的な取り組みと促しを行なっていくことが必要であると考え。

今年度の学会発表は新型コロナウイルスの影響で学会中止となったこともあり2演題と少なかった。研究や学会発表への意識が向上していないため、来年度以降の取り組みを役職者で検討し5演題程度の発表ができるようにしていく。

今年度理学療法課の実績は対前年比で1.7%上回ることができた。要因としてはスタッフが前年より増えたこと、12月から3月にかけて外来の実績が伸びたことによると思われる。来年度からはアウトカムの実績指数は40以上の達成が必要なため、早期の身体機能面、基本動作能力の向上に努めると共に、早期退院に繋がるよう他職種との連携を強くしていくことが今まで以上に求められる。そのため来年度は従来以上に病棟とも連携が取れるようにするためカンファレンスなどの方法を変更し取り組んでいく予定である。

また理学療法課の各々が得意な分野を持ち、専門性を発揮していける組織となるように努めていく。

理学療法課長 江頭修司

令和元年度 作業療法部門年報

1. 令和元年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1613663	98213	1711876
5月	1734539	89425	1823964
6月	1693735	83117	1776852
7月	1763796	86853	1850649
8月	1655039	67117	1722156
9月	1596681	62250	1658931
10月	1667235	64524	1731759
11月	1634718	63738	1698456
12月	1762387	64581	1826968
1月	1681578	60738	1742316
2月	1607551	60505	1668056
3月	1750387	88589	1838976
総計	20161309	889650	21050959

2. 作業療法実績比較



3.令和元年度 活動報告

1)年間行事 平成31年

令和元年	4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式
	4月5日	新人歓迎会(リハビリ部)
	4月20日	創立60周年記念式典
	4月24日	大腿骨近位部骨折合同カンファレンス
	5月11日	佐賀リハ体験2019
	5月16日	目標管理発表会
	5月30日	人事評価 評価者研修会
	6月1日	第72回佐賀リハビリテーション研究会 井手OT発表
	6月6日	互助会総会
	6月13日	車椅子調整の研修会 (松永より)
	6月16日	現職者共通研修 満吉OT、武藤OT、川口OT MTDLP事例発表
	7月24日	脳卒中連携パス合同カンファレンス
	8月4日	榮の国祭り
	8月7日	九州厚生局適時調査
	8月21日	大腿骨近位部骨折合同カンファレンス
	8月22日	広域支援センター研修会
	9月6日～8日	第53回日本作業療法学会 佐古OT、松石OT発表
	9月16日～18日	タナベセラピー認定合宿 佐古OT、崎野OT参加
	9月25日～27日	第46回国際福祉機器展H.C.R.2019 川口OT参加
	10月3日	リハ部学会 西村OT、吉田幸OT発表
	10月6日	作業療法フェスタ2019 金子、竹下、佐古、泉、吉村、福永、園田参加
	10月17日	院内研究発表会
	10月20日	さがサポセンターいきいき館祭&介護ロボット佐賀フォーラム 川口OT参加
	10月20日	諸井会計主催ソフトボール・ミニバレー大会
	10月26日	佐賀リハ大運動会
	11月9日	第73回佐賀リハビリテーション研究会
	11月9日	第2回佐賀県作業療法士会地区対抗大運動会 竹下、佐古、高田恵、崎野、富安参加
	11月10日	第20回佐賀県作業療法学会 西村OT、吉田幸OT発表
	11月23、24日	第15回日本シーティング・シンポジウム 猪口OT参加
	11月27日	脳卒中連携パス合同カンファレンス
	11月30日	西九州大学臨床実習指導者会議 伊東OT参加
	12月10日	医療介護連携推進事業研修会(抱え上げない介護について) 川口OT参加
	12月13日	リハ部忘年会
	12月18日	大腿骨近位部骨折連携パス合同カンファレンス
	12月20日	病院忘年会
	12月30日	仕事納め
令和2年	1月4日	仕事始め
	1月4日	吉田華菜梨OT産休へ
	1月12、13日	臨床実習指導者研修会 猪口OT、伊東OT、武藤OT参加
	1月17日	医療介護連携推進事業研修会(シーティングについて) シーティング班参加
	1月18日	久留米リハビリテーション学院臨床教育者会議および講演会 吉田修OT参加
	1月18、19日	全職種研修会 高田聡OT参加
	1月24日	外部講師勉強会(長崎北病院 山田先生、フィッティングについて)
	2月22日	国際医療福祉大学バイザー会議 崎野OT参加

2)勤務配置

2階病棟専属	佐古英樹 伊東晋	西村剛 那須由布子	山中勇人 吉田華菜梨(1月4日～産休へ)	井手弥里	福永陽太郎	泉拓也	高田恵理香
2階病棟外来兼務	飯田桂子	畑瀬弥生	猪口達也				
3階病棟専属	竹下宏史 吉田幸平	崎野真文 武藤廣徳	川口大貴 富安純華	高田聡美	園田愛	松石健一郎	吉村愛美
3階病棟外来兼務	満吉裕子	吉田修	内田めぐみ				
OT助手	津村みゆき						

3) 実習生受け入れ

5月6日	～	7月12日	緑生館	臨床実習1名	SV: 松石 CE: 武藤
6月10日	～	7月27日	西九州大学	臨床実習1名	SV: 泉 CE: 猪口
7月15日	～	9月14日	久留米リハ	臨床実習1名	SV: 満吉 CE: 吉田修
8月12日	～	10月4日	国際医療福祉大学	臨床実習2名	SV: 西村 CE: 山中
1月6日	～	2月1日	西九州大学	評価実習1名	CE: 井手
2月3日	～	2月8日	西九州大学	見学実習1名	CE: 那須
2月3日	～	2月15日	西九州大学	見学実習1名	CE: 富安
2月17日	～	3月14日	西九州大学	評価実習1名	CE: 高田聡
3月9日	～	3月27日	緑生館	評価実習1名	CE: 川口

4) 学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

令和1年6月1日	第72回佐賀リハビリテーション研究会	井手弥里発表
令和元年9月6～8日	第53回日本作業療法学会	佐古英樹発表
令和元年9月6～8日	第53回日本作業療法学会	松石健一郎発表
令和元年11月10日	第20回佐賀県作業療法学会	西村剛発表
令和元年11月10日	第20回佐賀県作業療法学会	吉田幸平発表

学会発表

学会名	第72回佐賀リハビリテーション研究会
演題名	当院におけるICFを用いた排泄評価ツールの導入について-第1報-
発表者	井手弥里
期日	令和1年6月1日

学会名	第53回日本作業療法学会
演題名	記憶補助アプリ「あらた」を用いた作業療法介入により病棟生活・作業技能の改善が図れた事例
発表者	佐古英樹
期日	令和元年9月7日

学会名	第53回日本作業療法学会
演題名	当院におけるICFを用いた排泄評価ツールの導入について-第2報-
発表者	松石健一郎
期日	令和元年9月7日

学会名	第20回佐賀県作業療法学会
演題名	当院の退院後家屋調査からみえる現状と課題
発表者	西村剛
期日	令和元年11月10日

学会名	第20回佐賀県作業療法学会
演題名	意味のある作業を見据えた実動作訓練を行い退院後趣味活動が再開できた事
発表者	吉田幸平
期日	令和元年11月10日

院内勉強会

OT内文献抄読会	1回/月
在宅ディスカッション	1回/月
シーティング研修会(外部講師含む)	3回/年

5) 院外活動

佐賀県作業療法学会運営委員

6)コメント

今年度のリハビリ部の目標が「その先の暮らしを見据えた協働」ということで、作業療法課としては昨年と同様に目標を「在宅へのソフトランディング～3年目～」として昨年度の反省を踏まえて下位目標を設定した。新たに変更した項目として、1つ目はシーティング班を立ち上げ、タイヘイレントルの車いすやクッションの管理と研修会の企画・実施を行った。作業療法課ではここ数年、福祉用具の研修会に取り組んでおり福祉用具に対する興味・関心は高まってきている。また、今年度よりタイヘイレントルにて対象者に合わせた車いすやクッションの選定が可能となった。そこで「アセスメントに基づいたシーティングの実施、福祉用具の選定ができる」ということを目的に、シーティングにおける身体評価やフィッティングの研修会を実施した。2つ目に昨年度から取り組んでいるADL(排泄の分析)では、「入院から退院までの排泄動作についての分析ができる」ということを目的に、共通ツールの作成に取り組んだ。排泄をICFに沿って分類分けし、1年間を通して様々な文献から適応する内容をピックアップして一つの冊子にまとめた。来年度より活用予定としている。その他、在宅ディスカッション・退院後のフォローアップは引き続き行い、文献抄読会はテーマを「排泄、シーティング・福祉用具、上肢・手指機能、認知症」に限定し継続して取り組んだ。

研究では全国レベルの学会に2題、県内レベルの学会に3題発表した。内容としては事例検討を2題、院内の取り組みを3題発表し、発表を通して各個人のスキルアップにつながった。来年度は全国レベルの学会に3題発表を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で中止の可能性が高い。今後の学会発表に向けて準備は進めていく。

実績に関しては、昨年度から外来の点数の減少はみられているものの、入院の点数は向上しており総計では昨年度から点数の向上みられた。来年度から実績指数が40に引き上げとなり、これまで以上にFIMの向上や早期退院に向けてチームで取り組んでいく必要がある。その中で効果的な作業療法が提供できるように取り組んでいきたい。

今後の課題としては、作業療法の定義改訂であった「人々の健康と幸福を促進するために、作業に焦点を当てた治療、指導、援助」をどのように実践していくかである。回復期病院においてアウトカムの達成に向けてFIMの向上や早期退院に向けて取り組むことは前提だが、退院後の生活に向けて目的や価値を持つ生活行為に関わっていくことも重要である。そこで、来年度の作業療法課では「共通の目標設定に向けた作業療法の展開、退院後支援」を目標に、研修会や事例検討会、各係の話し合いなど取り組んでいく予定としている。

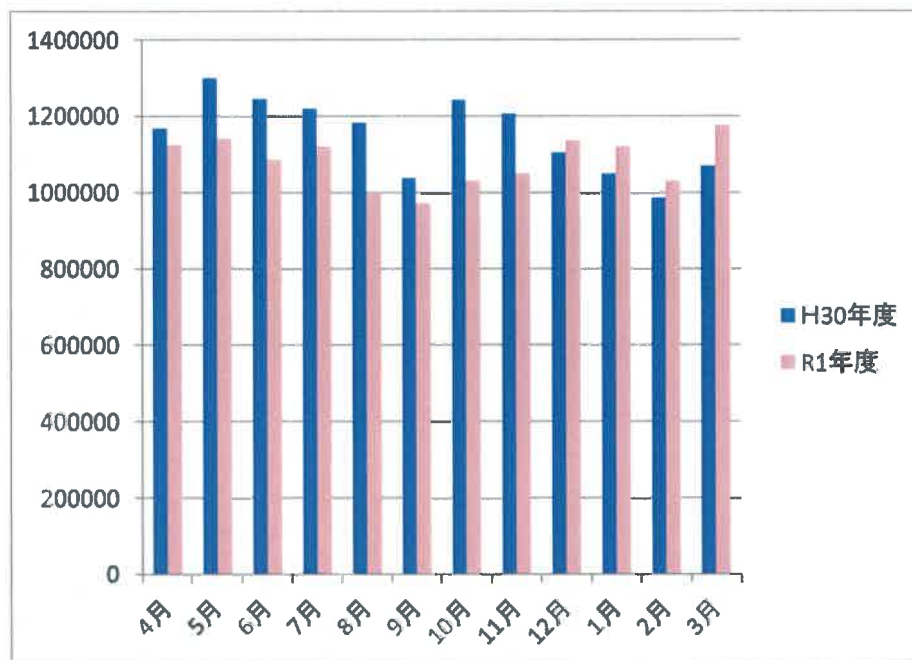
作業療法課長 佐古英樹

令和元年度 リハビリ部 言語聴覚療法課 年報

1.令和元年度総実績

	入院 点数	外来 点数	総計 点数
4月	1037851	87813	1125664
5月	1055145	86242	1141387
6月	1006739	80150	1086889
7月	1051607	70182	1121789
8月	949022	51086	1000108
9月	911159	60790	971949
10月	968060	63625	1031685
11月	981531	68967	1050498
12月	1073379	62938	1136317
1月	1060882	60901	1121783
2月	966105	64283	1030388
3月	1106957	68938	1175895
総計	12168437	825915	12994352

2.言語聴覚療法実績比較



3.2019年度 活動報告

1) 年間行事

2019年	4月1日	入社式 部署移動 辞令交付式(一部人事異動)
		山根美和子 第2係から通所リハビリへ
		富田邦香 通所リハビリから第2係へ
		松石亜季子 第1係へ異動 第1係長
	9月18日	第1回 摂食嚥下委員会 勉強会
	12月24日	藤木朋香 産前後休暇から復帰(第1係)
	12月5日	佐野宏奈 産前後休暇から復帰(第1係)
	1月22日	第2回 摂食嚥下委員会 勉強会
	3月9日	野中里奈 産前後休暇から復帰(第1係)
	3月31日	松石亜季子 退職
2020年		

2) 勤務配置

2階病棟	高原由紀子(外来)	野中里奈	松石亜季子(2階責任者)
	富永裕子(時短)	藤木朋香(時短)	加藤美穂(時短) 房本研二(パート)
	高嶋駿(外来)	西村杏子	佐野宏奈 森園麻美(パート)
3階病棟	前田洋文(3F責任者)	高島雄平(外来・訪問)	無津呂香織(時短)(外来)
	小林友(時短)	原口福美(外来責任者)	福地詠子
	富田邦香(時短)	濱口晴香	庄野麻規子(時短)

3) 実習生受け入れ

7月8日	～	8月17日	柳川リハビリテーション学院	臨床実習1名	SV:原口
10月7日	～	11月2日	九州保健福祉大学	臨床実習1名	SV:加藤

4) 学会・研修会・勉強会・発表及び参加状況

6月28日～6月29日	第20回日本言語聴覚学会 inおおい	濱口杏子 福地詠子 参加
1/18～1/19	日本言語聴覚士協会九州地区学術集会長崎	前田洋文 参加

学会発表

学会名	佐賀県言語聴覚士会 学術集会
演題名	失語症者・家族・言語聴覚士が認識する障害及びリハビリテーション: Code-Muller Protocols日本語版導入の試み
発表者	松石亜季子
期日	令和1年12月15日

学会名	第9回 日本言語聴覚士協会九州地区学術集会長崎大会
演題名	在宅生活を見据えた意識強化への取り組み～暮らしのグループワークを通して～
発表者	高島雄平
期日	令和2年1月18日～19日

院外研修会・勉強会発表

学会名	佐賀県言語聴覚士会 佐賀中部地区勉強会
演題名	左被殻出血後に重度のコミュニケーション障害を呈した一症例
発表者	西村杏子
期日	令和1年7月19日

学会名	佐賀県言語聴覚士会 佐賀中部地区勉強会
演題名	右橋梗塞により構音・嚥下障害を呈した症例
発表者	濱口晴香
期日	令和1年11月29日

院内勉強会

ST勉強会	1回/月
ST各係文献抄読会	1回/月
ST症例検討会	1回/月
ICFでのグループワーク	1回/2月
ST各係でのディスカッション	1回以上/月

5) 院外活動

佐賀県言語聴覚士会事業に協力した。
佐賀県リハビリテーション3団体協議会の事業に参加・協力した。
地域ケア会議に参加・協力した。

6) VF/VE

4/5 前田盛夫	4/16 江頭緑	5/31 野方進	
6/24 大関榮	6/24 楠田巖	7/28 澤野シヅエ	8/3 初川雅子
8/13 畑瀬雪枝	9/3 高橋節子	9/4 定松松美	
9/4 松尾美智子	9/27 大島恒彦	10/9 小野一哉	10/11 岡本昭子
10/29 深川達夫①	11/6 定松松美	11/19 森永恒雄①	11/20 三池文子
11/29 深川達夫②	12/5 東島恭彦	12/10 吉田チエ子	12/11 小林廣治
12/13 深川達夫③	12/17 森寺邦章①	12/18 西村邦子	1/8 弘田幸子
1/15 森永恒雄②	1/17 森寺邦章②	1/22 山脇好博	1/28 高橋節子
2/12 石橋裕	3/16 西村直	3/17 北村悦子	
3/18 福田峯子	3/23 楠川美恵子	3/24 笠 満津子	

計36件

7) コメント

今年度は、引き続き「専門的知識・技術の習得をする」「暮らしを視る力をつけ、実践する」という目標掲げた。この目標に向けて、中目標として以下のことを決定した。

- ①”回復期病棟における非経口群から全経口摂取への移行率40%以上”
- ②”係ごとの文献抄読会及び症例検討会の実施(各係1回/月)”
- ③”係ごとに佐賀県中部地区勉強会で演題発表(各係1回/月)”
- ④”ICFでのグループワークを実施”

①嚥下データ担当者が毎月移行率を算出し、会議で報告したことにより、各係で「口から食べる」を意識したディスカッションが増え良かった。結果として、3月の時点では移行率40.48%であったが、3月に経管栄養者が多数入院されたことにより最終移行率は25%となった。入院患者の重症度に左右されるものだが、今後も「口から食べる」ことで、その方の生活を豊かなものにできるよう励んでいきたい。

③今後、学会にて症例報告ができることを目指し、まず中部地区勉強会での演題発表を行った。各係とも初めての作業にもかかわらず真剣に取り組め素晴らしい発表であったと思う。これからも、症例を詳細にまとめる作業を通して個々人の専門的なスキルの向上を目指したい。

④平成30年度は、「暮らしのグループワーク」を行い、自宅での生活を見る視点を養った。これにより方向性に対する意識は高まったと感じており、次のステップとして今年度はカンファレンスで用いているICFを理解を深めることとした。まず、症例を通して「心身機能」「活動」「参加」「個人因子」「環境因子」の理解、整理することで、専門的な機能評価の見直しにつながった。各STでICFへの落とし込み方に差がある状況なので、今後も機能面から活動・参加まで広い視点で個人を評価できるよう育成していきたい。

今年度末には、産休・育休から復帰し、全員がそろった。それにより若干実績向上につながった。1年間で業務変更が多々あったが、復帰者それぞれ業務を再理解し日々円滑に業務遂行できている。来年度は、土日祝日の勤務の調整を行い、実績の維持向上も念頭に置き業務計画をしていく予定である。

また、STの専門性の育成は引き続き行い、並行して回復期リハのスタッフとしての考え方・取り組み方を再認識し、回復期リハの一員としてより積極的に責任をもって動けるようST課一丸となって取り組んでいきたいと考える。

【はじめに】

回復期リハビリテーション病棟で長下肢装具（以下KAFO）を用いて歩行練習を行う事は多い。今回、重度の脳梗塞患者を担当し、本人、家族の歩行に対する要望が強かった為セミKAFOを用いての在宅復帰を行った。その過程で若干の知見を得たのでここに報告する。

【症例紹介】

年齢：69歳 性別：女性

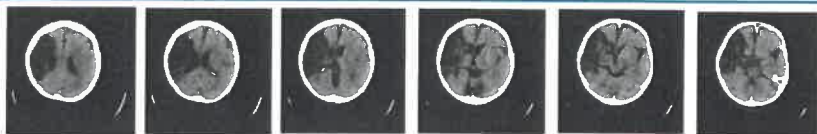
診断名：心原性脳塞栓症 左片麻痺

既往歴：僧帽弁狭窄症、弁膜症性心房細動

高次脳機能障害：注意障害、身体失認、左半側空間無視

【現病歴】

平成30年α日自宅にて発症、右中大脳動脈領域に広域の脳梗塞を認めた。α+51日リハビリ目的で当院へ転院



【家族構成】

KP:夫、長男家族との6人暮らし

夫の面会は毎日あったが、障害受容が出来ておらず、毎回妻の症状や状態について説明を求められた。自分が介助をするから歩いてほしい。

【デマンド】

歩いて家に帰りたい

【初期評価】α+51日

身体機能

Br.stage：左上Ⅱ 手指Ⅱ 下肢Ⅱ

関節可動域：制限なし

感覚：表在 深部共に重篤鈍麻

ADL

起居：全介助

端坐位：全介助

車椅子座位：全介助

移乗：全介助

移動：普通車椅子全介助

歩行：長下肢装具使用し後方介助

排泄：オムツ全介助

入院時にKAFOの
説明を行い、
すぐに製作を行った

足継手：シューホーンブレース
膝継手：リングロック

FACT：0点 BBS：0点 FIM:40/126点

【最終評価】α+205日

身体機能

Br.stage：左上肢Ⅲ 手指Ⅱ 下肢Ⅲ

関節可動域：制限なし

感覚：表在深部ともに中等度鈍麻

ADL

起居：見守り

端坐位：見守り

移乗：軽介助

歩行：4点杖 三角巾

セミKAFO着用 軽介助
(膝継手のロックを要する)

排泄：日中は歩行でのトイレ誘導

夜間はポータブルトイレ
にて一部介助



FACT：7点 BBS：25点 FIM:83/126点

【問題点とセミKAFOまでの流れ】

左下肢の支持性低下
感覚重度鈍麻
左側への注意力低下
注意の持続困難

短下肢装具では
膝折れが生じる

夫の介助では転倒の
危険性が高い

車椅子生活の提案
しかし、どうしても歩きたい

長下肢装具では
膝折れなく
軽介助にて歩ける

装着やトイレでの
下衣操作が難しい

セミKAFOの提案

【セミKAFOへの改良】



改良前15cm



改良後6cm

トイレでの下衣操作の簡略化

大腿カフをカットダウン
15cm → 6cm

大腿カフが短くなった為に強度が
保てなくなり、
装具に捻れが生じた

大腿カフに補強フレームを
追加して強度を保った

【改良のポイント】



補強フレーム

後方への
介助ベルト

介助ベルトを後方に
設置することで
上がり框や段差昇降時の
介助量が軽減した

・セミKAFOを用いた病棟生活を定着させる為に病棟でのデモンストレーションを行い、病棟職員への周知図ったしかし、病棟職員の装具に対する認識は低く、使用方法や必要性を繰り返し伝達した。

・外出訓練や家族指導を繰り返し行い、本人、家族の不安軽減や在宅生活のイメージが持てるように努めた。

【その後の経過およびまとめ】

◆退院後は訪問リハビリの介入を行い、セミKAFOを用いた歩行での在宅生活の定着を図った。

◆セミKAFOを導入するにあたり、歩行時の転倒リスクの軽減、トイレでの衣類着脱の介助量軽減が図れた。また、装具の利点、欠点を再認識すると共に病棟職員のリハビリや装具導入に対する考え方を知ることができた。

◆退院後の在宅生活は継続して行っており、膝継手のロックなど夫の介助は未だに必要とするが、2人で買い物に出かけたりする機会も増えた。

記憶補助アプリ「あらた」を用いた作業療法介入により 病棟生活・作業技能の改善が図れた事例

Occupational therapy intervention using memory assistant application "Arata"

○佐古 英樹(OT)¹⁾, 吉原 麻里(MD)²⁾

¹⁾医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法課

²⁾医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院

はじめに

今回、左尾状核出血にて記憶障害を呈した事例を担当した。時間を見て行動する事や他人の依頼が実行出来ずベッド上で過ごす事の多かった事例に対し、記憶補助アプリ「あらた」を用いた作業療法介入により病棟での生活リズム・作業技能の改善が図れたため報告する。尚、発表に際し事例の同意と当院の倫理委員会の承認を得ている。

事例紹介

60代女性。息子夫婦、孫と6人暮らし(KP息子)。
2階建ての一軒家で1階が本人の居住スペース
元々飲食店の自営業、最近ではスーパーの職員。
発症後、他院急性期病院での加療を経て45病日に当院
回復期リハビリテーション病棟入院。
早期にセルフケアは全て自立。
リハビリ以外では自ら行動する事はほとんどなく、ベッド
上で過ごす。服薬は病棟管理、リハビリや入浴時間を伝え
ても干渉刺激が入るとすぐに忘れていた。

作業療法評価

- ①面接(ADOC)
 - ・退院後家事全般を行うつもりだが、特に希望も不安もない。
 - ・テレビを見て過ごす事が多いが重要ではない。園芸が重要な作業。
- ②観察評価(AMPS) ※みそ汁(2人分)、焼飯(2人分)の調理を実施
 - 物品の探索、課題契約の記憶に問題あり
 - (運動技能2.2logits, プロセス技能0.9logits)
- ③情報収集・検査
 - 右BRSVI-VI-VI。握力右5.8kg, 左11.3kg。MMSE16/30点。TMT-A131秒, TMT-B不可。ROCF 模写35/36点, 即時16/36点, 3分後再生10/36点。S-PA 有関係2-3-2, 無関係0-0-0。RBMT (SS)0/12点, (SPS) 1/24点。

目標設定と介入計画

現状の課題

- ・プロセス技能の低下
- ・記憶障害
- ・自発的な行動・感情・関心の欠如、病識の欠如

対応策

- ・記憶障害に対する対処方法の検討
- ・チームで連携し生活リズムの調整
- ・家族への説明や指導

④ 外的補助使用し計画を実行出来る(4W)

→リハビリの時間にリハビリ室に来る。家事や園芸などを計画し実行する。

⑤ 外的補助使用し服薬が自己管理出来る(4W)

→病棟スタッフと確認し実際に実施

⑥ 家族への説明や指導、外出・外泊の実施(適時)



介入経過(83~124病日)

1~4W: 病棟生活への介入

- ・「あらた」を用いてOT訓練時間にリハビリ室に来るよう依頼
- ・「あらた」を用いて家事や園芸など作業活動の実施
- ・その後、PT・STの訓練時間もリハビリ室に来るよう依頼



時間を気にする機会が増大
自ら行動を計画する場面が増大

3~5W: 服薬管理への介入

- ・「あらた」を用いて服薬管理の実施
- ・病棟スタッフには服薬管理の状況と「あらた」の使用状況の確認を依頼



服薬時間の
入力

「あらた」を使用して服薬管理が可能に
その後、「あらた」使用しなくても
服薬管理可能となる

3~6W: 家族への説明や指導、 外出・外泊の実施

- ・家族に高次脳機能障害の説明や対応について指導
- ・外泊時にアンケートを作成し、家族に自宅での状況確認を依頼

外的補助なしで服薬の自己管理、
簡単な調理や洗濯、風呂掃除が行えた。

結果(124病日で自宅退院)

(変化点のみ)握力右8.0kg左19.7kg。MMSE24/30点。TMT-A117秒, TMT-B368秒。ROCF 模写36/36点, 即時14/36点, 3分後再生14/36点。S-PA 有関係3-4-4, 無関係0-0-0。RBMT (SS)3/12点, (SPS)8/24点。AMPSにて物品探索がスムーズになり、課題契約を忘れず器で出す事や材料を元の場所に片付ける事が出来た
(運動技能2.2 logits, プロセス技能1.6 logits)

考察

AMPSは介入前後の比較で運動技能0.5 logits以上の増加、もしくはプロセス技能0.4 logits以上の増加があれば治療学的・統計学的に介入効果があるとされている。今回の介入ではプロセス技能が0.7logits増加しており、有意な変化が生じた事を示唆する結果だった。事例の記憶障害に対する対処方法として、聴覚と視覚両面から記憶の補助が行える「あらた」を使用したことが、病棟生活・作業技能の改善に有効だったと思われる。

当院におけるICFを用いた排泄評価ツールの導入について-第2報-

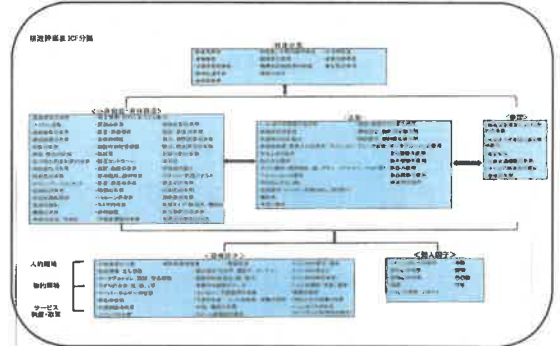
佐賀リハビリテーション病院 リハビリテーション部 作業療法課
松石健一郎 竹下宏史 泉拓哉 崎野真文 川口大貴

【取り組みの背景】当院における排泄状況の把握は担当NS・OT・CWが中心となり実践している。しかしOTによる排泄の介入は訓練場面での模擬動作や実際場面であることが多く個性を持った治療的介入は未だ不十分なことが多い。今回はその第2報として活動した内容に考察を添えて報告する。尚、発表に関連し開示すべきCOI関係にある企業などはない。

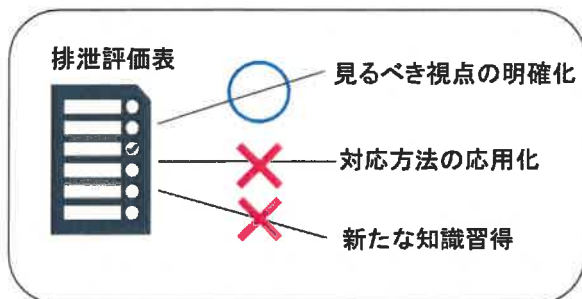
【第1報の振り返り】

期間	H30.4～H31.3
研究目的	排泄における知識・技術の向上 ICFの視点で評価・治療的介入の実践
内容	プロジェクトメンバーの結成 当院独自の排泄評価表の作成
メンバー	回復期病棟所属のOT6名 平均経験年数は8年(3～14)

【完成した排泄評価表】



【導入後の変化と課題】



【第2報の取り組み】

期間	H31.4～現在
研究目的	排泄評価表の使用率定着化 経験年数での知識・技術の標準化
内容	アンケート調査の実施 排泄評価マニュアルの作成
メンバー	回復期病棟所属のOT6名 (2名は日本コンチネンス協会所属)

【アンケート調査】

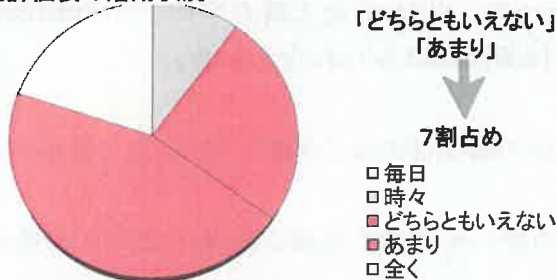
＜対象＞
回復期病棟所属OT20名 回収率100%
＜内容＞
ICF視点から立案した合計130個の評価項目に対し自身が意識して取り組めていない、または個性をもった対応が出来ていないと思う項目全てに○を付ける複数選択方式で実施

【排泄評価マニュアルの作成】

- 1.排泄評価表の見直し
(評価表項目やレイアウト及び運用方法見直し)
- 2.外部勉強会への参加と文献収集
(日本コンチネンス協会主催の勉強会への参加)
- 3.排泄評価表に対してのマニュアル作成
(ICF視点で列挙した130個に及ぶ排泄評価項目の充実化)

【結果】

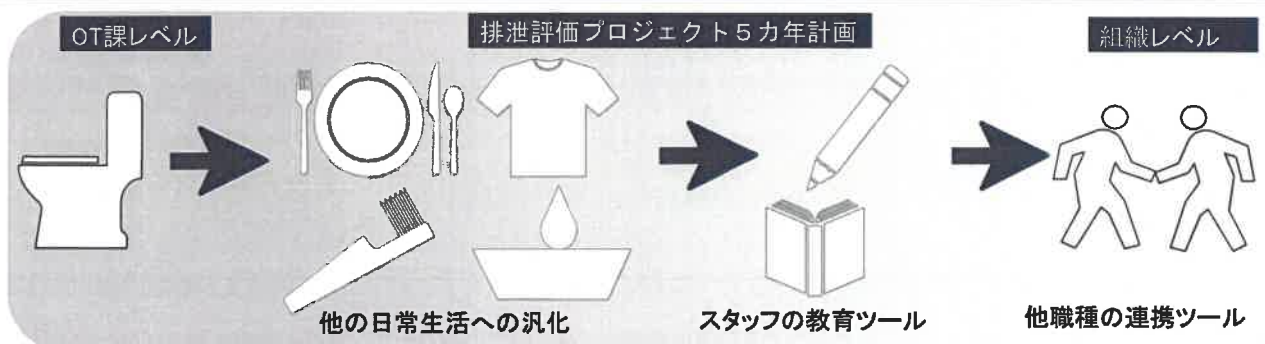
排泄評価表の活用状況



年代別にみたICF項目の認識度



【考察】熟練者はこれまで担当した患者とイメージを重ねて問題解決する傾向がある(中川2007)。今回の結果より、1～5年目未満である経験年数の低いOTは作業療法を展開する上での応用性や柔軟性が乏しく、日々の臨床場面においても目の前の障害像に着目することが多い傾向にあった。また15～20年目未満と20年目以上である経験年数の高いOTは今まで様々な患者や病期を経験し自宅内の環境や退院後の生活に対しても視点を持つことが出来る為今回のアンケート調査の結果になったと考える。



失語症者・家族・言語聴覚士が認識する障害及びリハビリテーション

: Code-Müller Protocols 日本語版導入の試み

演者氏名 松石亜季子

所属 佐賀リハビリテーション病院

【はじめに】海外では失語症者（以下 PWA (People with aphasia)）と家族（または身近な人物）、セラピスト間の相互理解について情報が得られるようデザインされた Code-Müller Protocols（以下 CMP）がある。CMP はカウンセリングの基礎として、PWA・家族・言語聴覚士（以下 ST）のそれぞれの視点から、失語や関連する障害への心理社会的適応の認識を比較することを目的として開発された。今回 CMP 日本語版（以下 CMP-J）を作成し、その心理測定学的信頼性および妥当性を検討したので報告する。

【方法】順翻訳、逆翻訳、および原著者のレビューの手続きを経て CMP-J を作成し、ST、PWA、家族の順に計 45 組に実施した。承諾が得られた参加者には初回 CMP-J を実施後、2 週間以内に再度検査を実施し級内相関係数（以下 ICC）を算出した。ICC および Cronbach の α 係数の算出から内的整合性、標準失語症検査（以下 SLTA）とうつ性自己評価尺度（以下 SDS）を用いて基準関連妥当性の検討を行った。

【結果】全参加者は、PWA45 名、家族 23 名、ST45 名であり、再検査に協力が得られたのは 56 名（PWA24 名、家族 8 名、ST24 名）であった。CMP-J 総得点の ICC は 0.876 であった。項目得点間の Cronbach の α 係数は 0.901 であった。SDS 総得点との Spearman の順位相関係数は、CMP-J 総得点との間で -0.648 ($p < .05$) であった。SLTA の全 Z 得点平均との Spearman の順位相関係数は、CMP-J 総得点との間で有意な相関関係はみられなかった。

【考察】信頼性・妥当性の分析から、CMP-J は一定の適切性のある指標であることが示された。

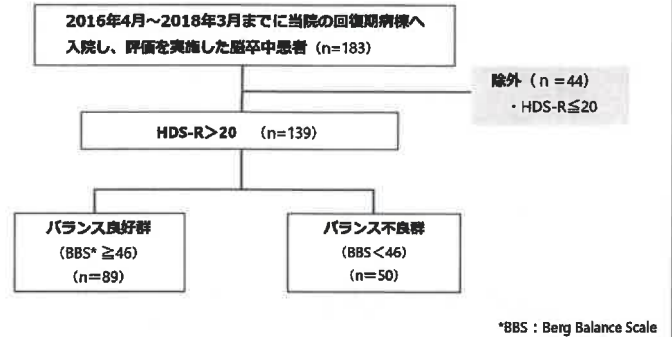
CMP-J は、PWA の心理社会的側面へ介入し本人の想いを聴取する事が出来るため、今後の目標設定にも活用できる可能性がある。

回復期脳卒中患者における バランス能力と移乗自立度の関係性

◎吉竹 陽介 (PT) 1)
横尾 匠 (PT) 1)
紫藤 泰二 (MD) 2)
吉原 正博 (MD) 2)

1) 佐賀リハビリテーション病院 リハビリ部 理学療法課
2) 医療法人智仁会 佐賀リハビリテーション病院

対象

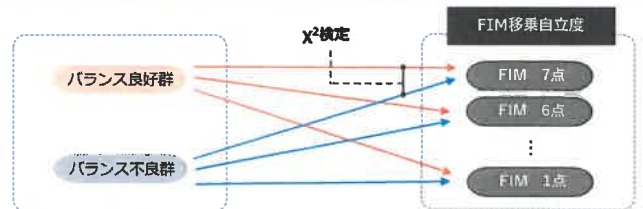


はじめに

2016年の診療報酬改定から、回復期リハビリテーション病棟での実績指数としてFIM*が用いられるようになり、近年さらに重要視されている。

*FIM : Functional Independence Measure

方法 1



バランス良好群89名とバランス不良群50名の2群間におけるFIM移乗自立度の差を明らかにするためにχ²検定を行った。

はじめに

FIMの評価項目

運動項目	1) セルフケア	①食事
		②整容
		③清拭 (入浴)
		④更衣 (上半身)
		⑤更衣 (下半身)
		⑥トイレ動作
	2) 排泄コントロール	⑦排尿管理
		⑧排便管理
	3) 移乗	⑨ベッド・椅子・車椅子
		⑩トイレ
	4) 移動	⑪浴槽・シャワー
		⑫歩行・車椅子
		⑬階段

●FIMには移乗動作の項目があり、13項目の運動項目中、実に3項目を移乗動作が占める。

●本研究の目的は、「ベッド・椅子・車椅子」「トイレ」「浴槽・シャワーチェア」の3つの移乗項目において回復期脳卒中患者が、どのような傾向と特徴があるのか検討することである。

方法 2

バランス良好群・不良群の2群とFIM移乗自立度とのクロス集計表から、どの組み合わせが期待値から大きく乖離しているか確認するためにHabermanの残差分析を行い、調整済み残差を算出した。

結果 (ベッド・椅子・車椅子移乗)

表 バランス機能とFIM (ベッド・椅子・車椅子) 移乗自立度のクロス集計表

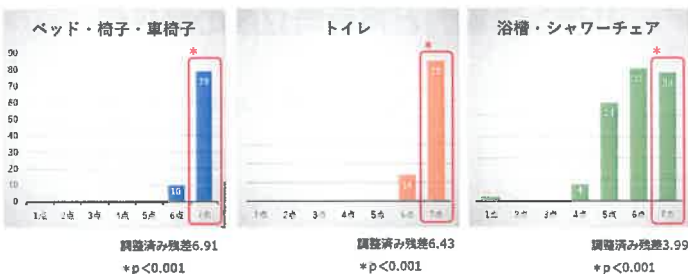
バランス機能	バランス良好群	度数	FIM移乗自立度							計
			1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
バランス機能	バランス良好群	度数	0	0	0	0	0	10	79	89
			0%	0%	0%	0%	0%	7.1%	56.8%	64.0%
		調整済み残差	-1.34	-2.34	-1.90	-0.85	-3.04	-3.62	6.91	
バランス機能	バランス不良群	度数	1	3	2	5	7	16	16	50
			0.7%	2.1%	1.4%	3.6%	5.0%	11.5%	11.5%	36.0%
		調整済み残差	1.34	2.34	1.90	0.85	3.04	3.62	-6.91	
		度数	1	3	2	5	7	26	95	139

$X^2=54.51$, $P<0.001$

X^2 検定の結果、ベッド・椅子・車椅子の移乗において、バランス能力と移乗自立度に強い関連性を認めた。

残差分析の結果 1

●バランス良好群では、3つの移乗項目全てにおいてFIM7点が有意に多かった。



結果 (トイレ移乗)

表 バランス機能とトイレ移乗自立度のクロス集計表

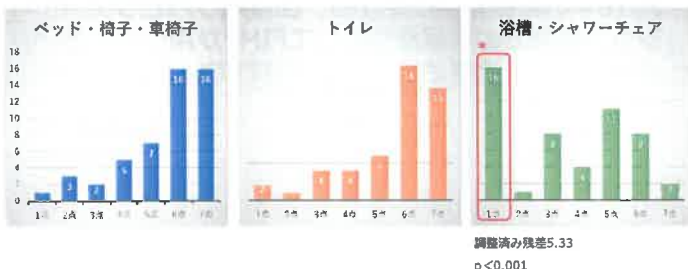
バランス機能	バランス良好群	度数	FIM移乗自立度							計
			1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
バランス機能	バランス良好群	度数	0	0	0	0	0	14	75	89
			0%	0%	0%	0%	0%	10.1%	54.0%	64.0%
		調整済み残差	-1.90	-1.34	-2.71	-2.71	-3.34	-2.72	6.43	
バランス機能	バランス不良群	度数	2	1	4	4	6	18	15	50
			1.4%	0.7%	2.9%	2.9%	4.3%	12.9%	10.8%	36.0%
		調整済み残差	1.90	1.34	2.71	2.71	3.34	2.72	-6.43	
		度数	2	1	4	4	6	32	90	139

$X^2=50.54$, $P<0.001$

X^2 検定の結果、トイレの移乗においても、バランス能力と移乗自立度に強い関連性を認めた。

残差分析の結果 2

●バランス不良群では、「浴槽・シャワーチェア」の移乗項目においてFIM1点が有意に多かった。



結果 (浴槽・シャワーチェア移乗)

表 バランス機能とFIM浴槽移乗自立度のクロス集計表

バランス機能	バランス良好群	度数	FIM移乗自立度							計
			1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
バランス機能	バランス良好群	度数	1	0	0	4	23	31	30	89
			0.7%	0%	0%	2.9%	16.5%	22.3%	21.6%	64.0%
		調整済み残差	-5.33	-1.33	-3.89	-0.85	0.51	2.37	3.99	
バランス機能	バランス不良群	度数	16	1	8	4	11	8	2	50
			11.5%	0.7%	5.8%	2.9%	7.9%	5.8%	1.4%	36.0%
		調整済み残差	5.33	1.33	3.89	0.85	-0.51	-2.37	-3.99	
		度数	17	1	8	8	34	39	32	139

$X^2=58.17$, $P<0.001$

X^2 検定の結果、浴槽の移乗においても、バランス能力と移乗自立度に強い関連性を認めた。

考察

●「浴槽・シャワーチェア」移乗のFIM1点が有意に多かった理由として機械浴の利用が考えられる。



機械浴を使用していれば

FIM浴槽移乗

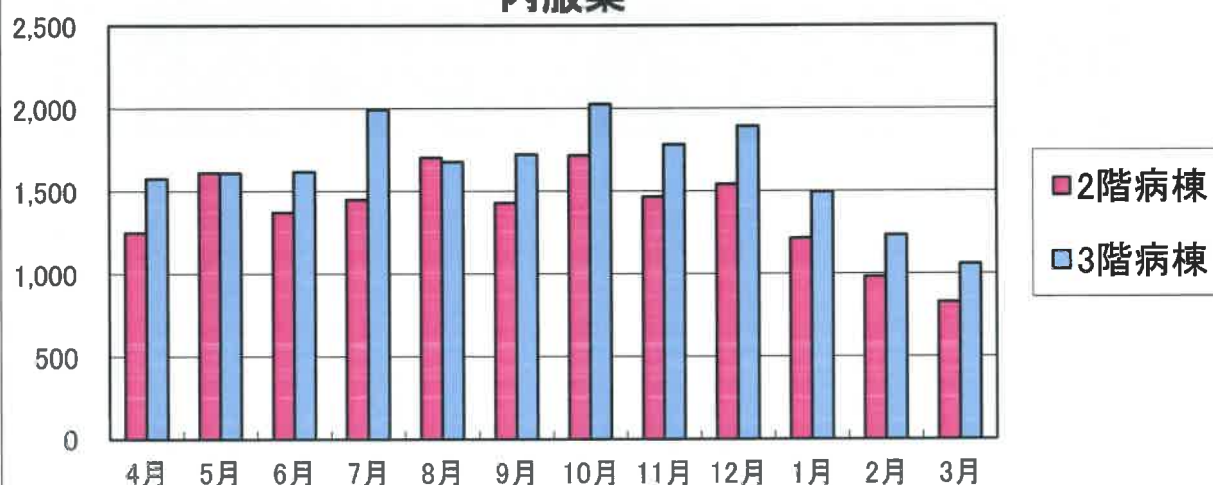
1点

令和元年 薬剤課活動報告

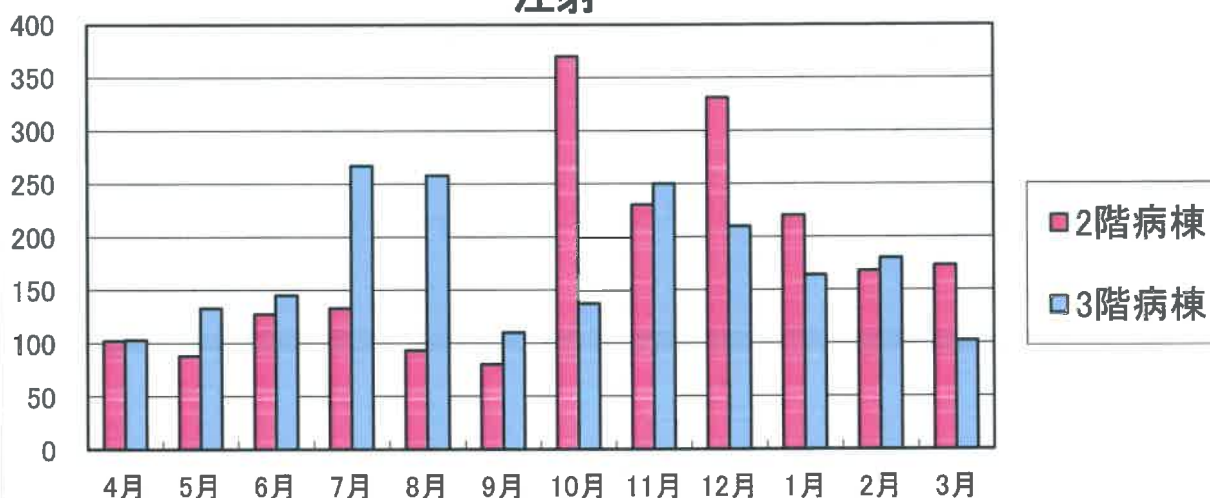
平成31(令和元)年度 調剤数

月	内服		内服薬合計	注射薬		注射剤合計	内服薬 外来
	2階病棟	3階病棟		2階病棟	3階病棟		
4月	1,249	1,575	2,824	102	103	205	69
5月	1,611	1,609	3,220	88	133	221	66
6月	1,370	1,617	2,987	127	145	272	57
7月	1,447	1,992	3,439	133	267	400	69
8月	1,702	1,676	3,378	93	258	351	67
9月	1,429	1,721	3,150	80	110	190	60
10月	1,715	2,025	3,740	370	137	507	41
11月	1,465	1,781	3,246	230	250	480	43
12月	1,540	1,891	3,431	331	210	541	19
1月	1,214	1,494	2,708	220	164	384	5
2月	981	1,233	2,214	168	180	348	7
3月	828	1,058	1,886	173	102	275	8
合計	16,551	19,672	36,223	2,115	2,059	4,174	511

内服薬

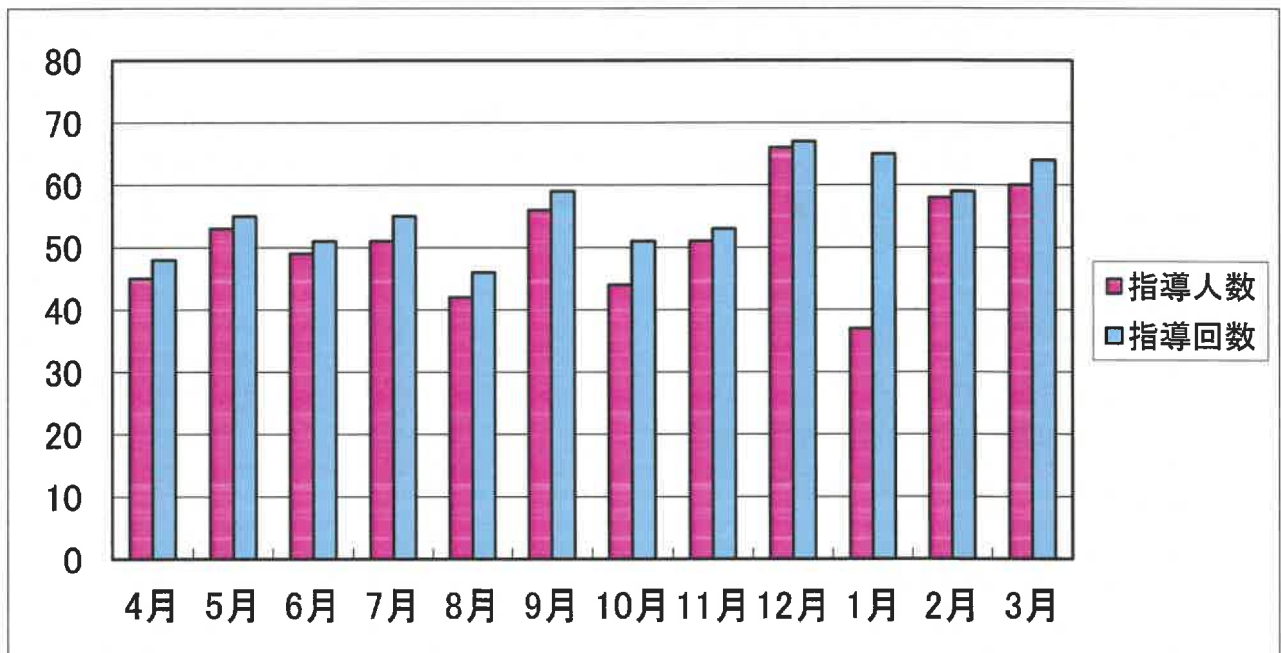


注射

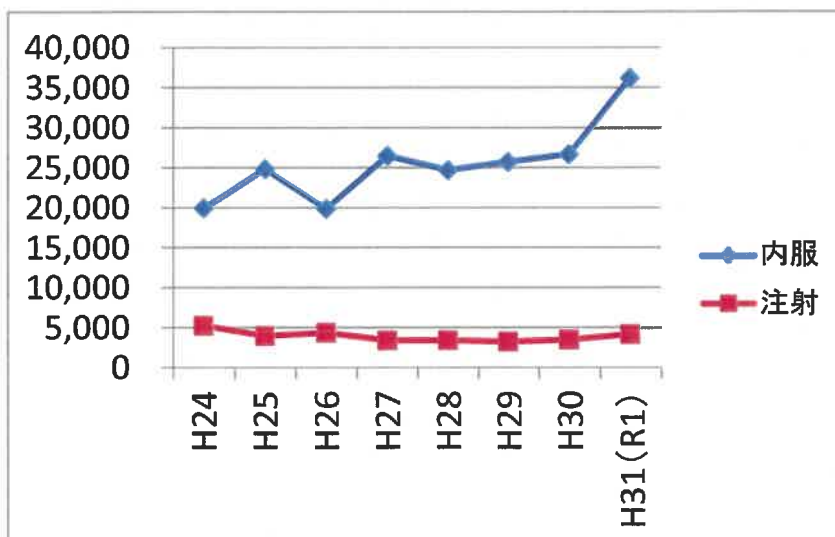


平成31(令和元)年度 服薬指導実施状況

月	指導人数	指導回数
4月	45	48
5月	53	55
6月	49	51
7月	51	55
8月	42	46
9月	56	59
10月	44	51
11月	51	53
12月	66	67
1月	37	65
2月	58	59
3月	60	64
合計	612	673



年度毎調剤数の推移



	内服	注射
H24	19,933	5,256
H25	24,838	3,975
H26	19,862	4,371
H27	26,481	3,404
H28	24,703	3,433
H29	25,723	3,251
H30	26,677	3,489
H31(R1)	36,223	4,174

★後発品へ採用変更

	薬剤名	薬価	薬効
2019	カンデサルタン錠8mg (先)プロプレス錠8mg	¥60.2/錠 ¥111.0/錠	降圧剤
	ピコスルファートナトリウム内用液0.75% (先)ラキソベロン内用液0.75%	¥91.0/本 ¥221.0/本	下剤
	シロドシン錠4mg (先)ユリーフ錠4mg	¥35.0/錠 ¥69.6/錠	前立腺肥大による排尿障害
	ドンペリドン錠10mg (先)ナウゼリンOD錠10mg	¥5.8/錠 ¥14.0/錠	制吐剤・消化管機能促進
	ボグリボースOD錠0.2mg・0.3mg (先)ベイスンOD錠0.2mg・0.3mg	¥12.3/錠・¥17.1/錠 ¥31.5/錠・¥42.7/錠	ドパミンD2受容体遮断薬 食後過血糖降下剤 (αグルコシダーゼ阻害剤)
	ヘパリン類似物質油性クリーム0.3% (先)ヒルドイドソフト軟膏0.3%	¥4.7/g ¥21.7/g	保湿外用剤
	アレロック錠5mg (先)オロパタジン塩酸塩錠5mg	¥45.6/錠 ¥14.5/錠	抗アレルギー剤
	ダルベポエチンアルファ注射液30μg・60μg (先)ネスプ注射液30μg・60μg	¥2,894/本・¥5,105/本 ¥3,801/本・¥6,706/本	腎性貧血治療剤
	カルフィーナ錠0.5μg ※(後)アルファカルシドールCap 0.5μg	¥5.9/錠 ¥5.9/錠	活性型ビタミンD3
	クエチアピン錠25mg (先)セロクエル錠25mg	¥10.6/錠 ¥32.5/錠	統合失調症
	テオフィリン徐放錠100mg (先)テオドール錠100mg	¥5.7/錠 ¥9.4/錠	気管支喘息治療薬

●後発品採用率 22.4% (R21.31現在)

★新規採用薬

	薬剤名	薬価	薬効
2019	4月1日 セレギリン塩酸塩錠2.5mg	173.5/錠	パーキンソン病治療薬
	4月3日 キシロカイン注射液「1%」エピレナミン含有	¥204.0/V	局所麻酔・浸潤麻酔・伝達麻酔
	4月8日 ボラミン錠2mg	¥5.6/錠	第一世代抗ヒスタミン剤
	4月15日 10%サリチル酸ワセリン軟膏東豊	¥2.52/g	角化症治療
	4月23日 レルベア100エリプタ30吸入用 ロナセン錠2mg	¥5,689.4/個 ¥73.7/錠	気管支喘息・COPD 統合失調症
	4月24日 タクロリムスCap 1mg	¥309.8/C	免疫抑制剤
	5月1日 (後)ラノコナゾール軟膏 1% (10g/本)	¥211.0/本	抗真菌剤
	5月8日 (後)オメプラゾール錠10mg	¥27.0/錠	PPI
	5月16日 タリージェ錠5mg	¥107.7/錠	末梢神経障害性疼痛
	6月7日 ツムラNo.114 柴苓湯 (3g/包)	¥138.6/包	むくみ・急性下痢・急性胃腸炎etc...
	6月27日 トリノシン顆粒10% (1g/包)	¥17.0/包	内耳障害に基づくめまい・耳鳴り
	7月1日 (後)塩酸テルビナフィンクリーム 1% (10g/本)	¥140.0/本	抗真菌剤
	7月29日 メブチンDS 0.005%	¥60.9/g	気管支拡張剤
	8月22日 ルコナック爪外用液5% (4mL/本)	¥3,729.2/本	表在性真菌薬
	8月30日 エフィエント錠3.75mg	¥276.1/錠	抗血小板薬
	9月2日 リンデロン注2mg	¥178.0/A	副腎皮質ホルモン
	9月5日 チガゾンCap 10mg	¥302.6/C	乾癬用薬
	9月6日 リンデロン-V軟膏0.12%	¥123.5/本	ステロイド外用剤
	9月18日 (後)トラビジル錠100mg	¥5.7/錠	冠拡張剤
	10月8日 フロリードゲル経口用2% (5g/本)	¥491.0/本	抗真菌剤
	10月17日 リーゼ錠5mg	¥6.3/錠	ベンゾジアゼピン系抗不安薬
	10月29日 カナマイシンCap 250mg	¥39.3/C	アミノグリコシド系抗菌剤
	11月11日 (後)サンテゾーン0.05%眼軟膏	¥215.3/本	副腎皮質ステロイド
	11月14日 フィコンパ錠2mg	¥193.2/錠	抗てんかん薬
	11月18日 (後)ブシラミン錠100mg	¥22.1/錠	低分子抗リウマチ薬
	11月27日 (後)カベルゴリン錠0.25mg	¥37.6/錠	ドパミン受容体刺激薬
	12月4日 ノベルジン錠25mg	¥274.5/錠	低亜鉛血症治療薬
	フルティフォーム125エアゾール120吸入	¥6,144.6/瓶	ステロイド+β刺激薬
	12月24日 リパクレオンCap 150mg	¥32.6/C	尿酸薬補充薬
2020	1月20日 ツムラNo.57 温清飲 (2.5g/包)	¥39.0/包	神経症・月経不順・月経困難・血の道症etc...
	1月21日 プロタノールS錠15mg	¥25.7/錠	心不全治療薬
	1月24日 (後)テルビナフィン錠125mg	¥54.0/錠	抗真菌剤
	1月30日 スピロペント錠10μg	¥12.8/錠	膀胱内圧低下
	2月5日 ペンレステープ 18mg	¥42.2/枚	局所麻酔薬
	2月13日 ノリトレン錠10mg	¥5.7/錠	三環系抗うつ剤
	3月26日 ニコチン酸アミド散 10%	¥10.7/g	ビタミンB群ニコチン酸系製剤

●新規採用37剤(うち後発品8剤)

※赤字:臨時採用

★新規購入物品

	商品名	価格	備考
2019	4月23日 トラキマスク(大人用) ×5個	¥4,000	看護課購入希望品
2020	1月24日 今日の治療薬 2020 (×10冊)	¥27,324	毎年購入

総括: 本年は後発医薬品の採用率を22.4%と前年度と比較して僅かに増えているが目標とする採用率50%まではまだほど遠い状況である。後発品は供給面で不安定な部分もあるため、薬事委員会にて今後も慎重な検討を進めていきます

令和元年度 栄養課活動報告

令和元年度 栄養課活動報告

本年度の活動内容

食事サービスの提供

2F・3F
回復期リハ病棟

個別対応の治療食提供

行事食21回

入院時食事療養費(Ⅰ)1食640円 特別食加算1食76円

○腎臓病食に準じて取り扱うことが出来る心臓疾患等の減塩食については

食塩相当量が1日6.0g未満

栄養管理加算→入院基本料として包括となった(入院基本料が11点引き上げられた)

デイサービス吉原
夢館

H22年6月7日より食事開始(おやつ付)

H25年10月1日よりオープンし、食事提供開始

* 食器、トレイ類も新規購入(強化磁器、ノンスリップトレイ)

ドリームハウス吉原
グループホーム吉原
通所リハ

誕生会食、行事食、イベントメニュー提供

◎毎月特産メニュー食品を使用

- ・ NST活動—NST回診(毎週PM2:00～)・NST・褥瘡合同委員会(年6回開催)
※2F:木曜日 3F:火曜日
- ・ 食中毒警報(ノロウイルス・O-157対策)
- ・ 梅雨時期の衛生管理強化
食中毒のポスターを掲示し、患者様方にも意識付けを行う
- ・ 嗜好調査 3月4日(水)(病棟)、3月5日(木)(夢館・デイサービス吉原)

※ 新規購入・・・

R1.6.21 特室用マグカップ(5ヶ)

R1.8.8 冷凍庫

R1.8.13 コンビオープン専用油污れ除去剤(コンビクリーナーα) 4L×2

R1.9.13 乳製品冷蔵庫

R2.3.11 電子レンジ

修理……………

R1.7.8 回転釜修理

R1.8.5 食器消毒保管庫パッキン交換

R1.8.21 調理室中央シンク水漏れ工事

R1.8.22 配膳車ステンレス柵交換

R2.2.25 ティルティングパン修理

R2.2.27 ガスコンロ修理

【夢館】 R2.1.30 配膳車ステンレス柵交換

実習生受け入れ

3/2～3/13	西九州大学	臨床栄養実習 (3名)	指導担当者: RD 久保
----------	-------	-------------	--------------

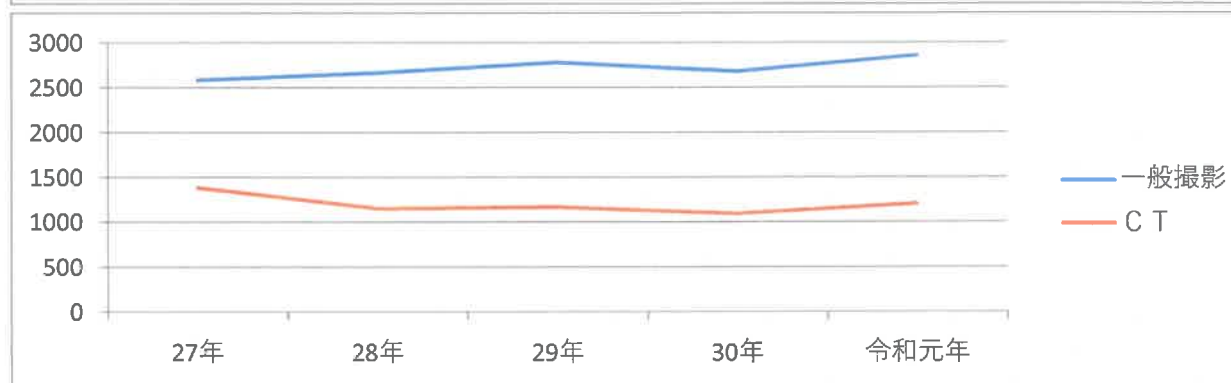
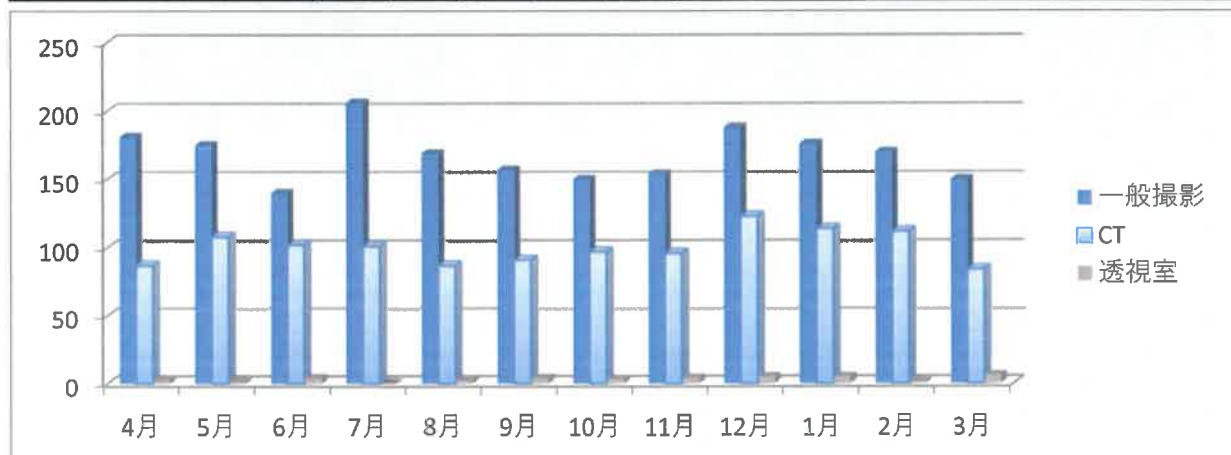
実績

H31. 4月～ R2. 3月まで	デイサービス吉原食数	3,645
	ドリームハウス吉原食数	20,706
	グループホーム吉原食数	9,384
	通所リハ食数	13,661
	栄養指導件数	316
	栄養管理情報提供書	58

令和元年度 放射線課活動報告

令和元年度 撮影件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来一般撮影	75	77	47	59	57	51	38	51	62	60	42	49	668
病棟一般撮影	106	98	93	147	112	106	112	103	126	116	128	101	1348
健診	143	93	106	45	65	86	169	18	18	11	45	42	841
外来CT	21	30	27	29	31	25	19	29	40	27	23	20	321
病棟CT	66	78	75	72	56	66	78	67	83	87	89	64	881
嚥下造影	2	1	4	0	2	4	3	4	5	5	1	6	37
透視	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
診療日数	23	23	25	23	26	24	26	23	24	24	24	24	24.1
一日平均(一般撮影)	9.7	11.6	12.5	10.9	9.0	10.1	12.3	7.5	8.6	7.8	9.0	8.0	9.7
一日平均(CT)	3.2	4.1	4.6	4.4	3.3	3.8	3.7	4.2	5.1	4.8	4.7	3.5	4.1



佐賀リハビリテーション病院が南佐賀に移転当時、撮影件数は、年間1500件程度でCTも700件程度だったが、現在いずれも倍に増加している。全国でも、検査の増加傾向を踏まえ厚労省から2020年4月より、医療被曝の線量管理を義務化が決定された。2019年は準備段階として各勉強会、研修が年間を通して実施された。

医療被曝の線量記録を2020年から義務化へ

厚労省は、CTエックス線装置や血管造影検査に用いる透視用エックス線装置、診療用放射性同位元素など、医療被曝の線量が特に高い放射線診療に対する線量の管理・記録を義務づける必要性を指摘。必要な放射線診療を妨げる誤った解釈をしないよう患者に適切な説明を行うことや、医療被曝の正当化・最適化に付随する業務の従事者（医師、放射線技師等）を対象とする研修の実施も求めた。

被曝管理体制

管理体制、指針の作成

被曝線量の記録

CT撮影時被曝量記録

保健所監査の際、各個人の被曝量を提出

研修会

CT依頼する医師、放射線技師、携わる看護師を対象
医療安全委員会の時に、伝達講習として行う。

説明と同意

電子カルテ上に説明と同意をしたという旨の内容を記載。

被ばく線量の適正化

保健所監査の際、チェックされる。

被曝量が平均値から外れていないかをみる。

患者への情報提供

他病院の様子を見ながら運用。

患者さんから代表的な質問の一つは、複数回のエックス線検査による被ばくで白血病またはがんになるのではないかとということです。この確率的影響にはしきい線量はなく、被ばく量の比例すると仮定されています。この仮定によると、被ばくがある限り、影響の確率は0にはなりません。ただし、日常的な通常の放射線検査での被ばく量は、これらの発生が問題となるような被ばくはありません。例えば、白血病では50～200mGy以下の被ばくでは発生率の増加は統計的に明かではありません。通常のエックス線検査では、赤色骨髄の線量は、例えば、胸部0.04mGy、腹部0.4mGy、腰椎1.4mGy、上部消化管8.2mGy程度であり、極端な回数の検査をしないかぎり、心配する必要はないといえます。白血病だけでなく、発がんや遺伝的影響についても同様に、これらの発生が問題となるような量の放射線を通常のエックス線検査では受けることはありませんが近年のCT等の検査増加に伴い被曝管理が義務化された。

令和元年 MSW活動報告

医療相談課年報 令和元年度

1.実績

相談内容別件数

	2階病棟	3階病棟	外来	計
インテーク	198	207	0	405
心理・社会的援助	1354	563	67	1984
退院援助	1122	1938		3060
社会復帰援助	2	8	7	17
受診援助	24	28	7	59
経済援助	1	9	5	15
計	2701	2753	86	5540

関係機関との連携

	訪問	事業所より来院	施設見学	外部での会議	退院前カンファレンス
件数	17	30	13	2	2階：28 3階：21

施設見学

施設名

有料老人ホーム：ウェリナ佐賀 かがやき巨勢 かがやき高木瀬 かがやき西与賀 家族 SINみらい ちとせ
 グループホーム：紀水苑さくら ニチイケアセンター鍋島 夢咲
 百武整形外科スポーツクリニック
 佐賀県看護協会訪問看護ステーション
 佐賀県高次脳障害者相談支援センターぶらむ

2.概況・所見

2019年度は部署目標を

- ①患者本人の意向を重視した支援の実践
- ②医療的ケアが必要な患者の在宅復帰支援の強化
- ③社会資源の引き出しを増やすとし取り組んだ。

①では患者も同席する主治医との面談機会を作る、担当スタッフと本人・家族とを交えた情報共有の場を作ることを意識した。②では経鼻経管栄養や喀痰吸引、インスリンといった医療行為が必要な方が少しでも不安が軽減できた状態で自宅退院できるよう、関係機関との相談や連携に力を入れ退院支援に取り組んだ。③は社会資源について知り得た情報は部署内で共有できるようにファイルを作成した。それぞれの達成度としてはまだ充実させる要素があるため、今後も継続的に取り組んでいきたい。

2019年8月には記録的大雨が佐賀を襲った。この大雨による住宅被害のため自宅への退院ができなかったという患者がいなかったことは幸いだったといえる。しかし予定していた退院ができなくなるという可能性も十分に考えられた。災害時の社会資源にはどのようなものがあるのかを学ぶ必要があること、MSWとしてできることは何なのかを考えさせられる出来事であった。業務を実践する上で広い視点をもつことの大切さを理解し今後も取り組んでいきたい。

3.連携実績

居宅介護支援事業所	あおぎり荘居宅介護サービス（大川市） 有島病院（白石町） ありんこ うえむら うぶすな 江口病院介護支援事業部 エバークグリーン おおかわ総合ケアセンター（大 川市） 小城市社会福祉協議会居宅介護支援事業所 お世話宅配便 おそえがわ かす み草 かほるケアサービス 川棚町社会福祉協議会（長崎県東彼杵郡） かんざき清流 苑 きはら きらめき新郷 きりん ケアサポートみずがえ ケアセンターきぼう ケ アパートナー佐賀 ケアビレッジ夢咲 ケアプランセンターさとう ケアプランセン ターしゃくなげ ケアポート晴寿 ケアマネジメントサービス桂寿苑 ケアマネジメン トサービス S o l a 蛍水荘 けやき荘 こすもす苑 佐賀県看護協会介護支援事業所 佐賀中部病院附属居宅介護支援センター さつき苑 さくら シオンの園 春庵 徐福 の里 すこやか セントケア佐賀 セントポーリア（鳥栖市） そいよかね白石（白石 町） 空 つばみ荘 時津中央クリニック（長崎） なごみ なゆたの森ケアマネジメン トサービス 南鷗荘 なんてん ニチイケアセンター佐賀 ニチイケアセンター佐賀 みなみ ニチイケアセンター鳥栖（鳥栖市） 花みずき 華みずき 百武整形外科病院 居宅介護支援事業所 ひらまつふれあいクリニック 福寿園 ほうむ ほっこり 南佐 賀 メイプルハウス ライフエイド リーガルケア リンクス レインボー川副 わか ば
地域包括支援センター	佐賀 城南 昭栄 城東 城西 城北 鍋島 諸富・蓮池 大和 川副 東与賀 久保 田 小城南 神埼 神埼南 嬉野市東部地域包括支援センター 相知町地域包括支援センター（唐津市） 大川市地 域包括支援センター東サブセンター 大木町地域包括支援センター（福岡県三潁郡） 白石町地域包括支援センター（杵島郡白石町） 日宇地域包括支援センター（佐世保 市） パール（東京都渋谷区）
施設	介護老人福祉施設：大川荘（大川市） きんりゅうケアセンター桂寿苑 ケアポート晴 寿 桂寿苑 けやき荘 こすもす苑 木もれ日苑（大川市） 扇寿荘 つばみ荘 福寿 園 鳳寿苑 ロザリオの園 介護老人保健施設：うぶすな エバークグリーン きりん 敬松苑（大町町） こが21 （久留米市） 佐賀中部病院附属介護老人保健施設 しょうぶ苑 徐福の里 シルバー ケア佐賀 シンフォニー佐賀 水郷苑（柳川市） 白寿園 みどりの園 メイプルハウ ス ユートピアしゃくなげ（江北町） 夢の里（みやき町） ライフエイド レストピ ア 有料老人ホーム：青空 いこいの里 家 お伊勢茶屋 オリーブの苑 かがやき西与賀 かわそえ ききょう 紀水苑 きらめき新郷 きらめきホーム 楠気 ケアビレッジ夢 咲 ケアホームロイヤル神埼 木の香 さつき苑 笑門 S I Nみらい シニアライフ 佐賀 シニアライフよろず シルバーホーム幸 たかハウス ちとせ てまり ながせ 光芦刈館 びゃくしん ほうむ大託間 ほうむ田代 まどい 円花 愛咲 弥生 優雅 縁 よからいふ リーガルケアサポートセンター りんごの樹 ルピナス南佐賀 グループホーム：あさひ うえむら かえで かんざき清流苑 きりん こでまり ど んぐり 福寿荘 サービス付高齢者向け住宅：杏の樹 きらめき新郷 聖英 吉原

病院	今村病院（鳥栖市） 伊万里有田共立病院（西松浦郡有田町） うえむら病院 嬉野医療センター（嬉野市） 嬉野温泉病院（嬉野市） 江頭クリニック NHO佐賀病院 カール先生の診療所 唐津赤十字病院（唐津市） 九州中央病院（福岡市） グリーンクリニック 久留米大学病院（久留米市） 神野病院 古賀病院（江北町） 小柳記念病院 コールメディカルクリニック佐賀 済生会唐津病院（唐津市） 済生会福岡総合病院（福岡市） 境野病院 佐賀記念病院 佐賀県医療センター 好生館 佐賀大学医学部附属病院 佐賀中部病院 志田内科 志田病院（鹿島市） 順天堂病院（大町町） 正島脳神経外科病院 白石共立病院（杵島郡白石町） 新古賀病院（久留米市） 新武雄病院（武雄市） 杉田玄白記念公立小浜病院（福井県小浜市） 聖マリア病院（久留米市） 副島整形外科病院（武雄市） 副島病院 高木病院（大川市） 長崎医療センター（長崎市） 長崎川棚医療センター（長崎県東彼杵郡川棚町） 長崎大学病院（長崎市） 長崎労災病院（佐世保市） なゆたの森病院 野口クリニック 橋本病院 早津江病院 東佐賀病院 肥前精神医療センター 百武整形外科スポーツクリニック 百武整形外科病院 ひらまつ病院 深川胃腸科外科 福岡病院 福岡青洲会病院（福岡県粕屋郡粕屋町） 福岡赤十字病院（福岡市） 福岡徳洲会病院（福岡県春日市） 福岡和白病院（福岡市） 福田脳神経外科病院 福田病院（大川市） ふじおか病院 ふじかわ病院 ぶどうの木クリニック みずま高邦会病院（福岡県三潞郡） 嶺井第一病院（沖縄県浦添市） 諸隈病院 諸隈病院（多久市）
行政	大川市福祉事務所 健康保険協会佐賀支部 佐賀市家計見直し相談室 佐賀市障がい福祉課 佐賀市生活自立支援センター 佐賀市生活福祉課 佐賀市福祉まると相談窓口 佐賀中部広域連合
その他	通所リハビリ：志田内科 なゆたの森病院 孟子会 吉原 デイサービス：しあわせ工房神園 ツクイ レインボー川副 訪問看護ステーション：クローバー 佐賀県看護協会 聖マリア なのはな 三日月 よろこび 訪問介護：春庵 セントケア 佐賀県運転免許センター 佐賀県障害者職業センター 佐賀県立地域生活リハビリテーションセンター ふらむ佐賀 ワーカーズ佐賀 帝人ファーマ

4.活動報告

研修参加状況一覧

地域連携パス合同カンファレンス

4月24日	第1回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・森田
7月24日	第33回 脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・前田・ 日高
8月21日	第2回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	山口・長岡・ 伊藤・前田
11月27日	第34回 脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス	佐賀大学医学部附属 病院	山口・日高
12月18日	第2回 大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス	佐賀県医療センター 好生館	森田・前田

公費

6/17～ 6/19	医療ソーシャルワーカーリーダーシップ研修	国立医療科学院	森田
---------------	----------------------	---------	----

公費外

5月14日	第4回障がいと自動車運転に関する医療研究会	佐賀大学医学部附属 病院	長岡・日高
5月18日	第8回シンポジウム高次脳機能障害	大牟田文化会館	日高
6/1～ 6/2	対人援助のための「面接を整える研修Ⅰ」	すみだ産業会館	日高
6/22～ 6/23	事例から考える 援助職の記録	国際ファッションセ ンター	日高
6月30日	2019年度佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修（1回 目）	NHO佐賀病院	長岡・日高
7月11日	第1回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 西部グルー プ	佐賀市医師会立看護 専門学校	山口・森田・ 長岡・
7/13～ 7/14	第26回ソーシャルワーカー研修会（基礎研修） 回復期リハビリテーション病棟ソーシャルワーカー研修	日本教育会館	日高
7月17日	佐賀県医療センター好生館 地域医療従事者研修	佐賀県医療センター 好生館	山口・伊藤・ 日高
7月28日	2019年度佐賀県医療ソーシャルワーカー協会 基礎研修（2回 目）	NHO佐賀病院	森田・前田・ 日高
8/8～ 8/12	2019年度医療ソーシャルワーカー基幹研修Ⅰ	国際ファッションセ ンター	日高
8月20日	第5回障がいと自動車運転に関する医療研究会	佐賀大学医学部附属 病院	森田
9月8日	第8回高次脳機能障害講演会	アバンセ	山口

9月9日	第2回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 東部グループ	佐賀市医師会立看護専門学校	山口
9月20日	第58回成章ネットワーク おたっしゃ本舗佐賀地域ケア会議	佐賀市役所	森田
9月25日	第116回肥前セミナー 認知症ケア最前線～認知症の人とともに創る暮らし～	肥前精神医療センター	長岡
10月6日	第10回九州在宅医療推進フォーラム in SAGA	佐賀県医師会佐賀メディカルセンター	伊藤
10月24日	第3回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 北部グループ	佐賀市医師会立看護専門学校	山口
10月31日	第21回勉強会 ザ・インフルエンザ2019	アバンセ	長岡・日高
11/17～ 11/18	2019年度ソーシャルワーク スキルアップ研修退院支援専門 ソーシャルワーク研修	T K P ガーデンシティ鹿児島中央	日高
11月22日	九州医療ソーシャルワーカー協議会中堅者研修会	桜の馬場城彩苑	長岡
11/23～ 11/24	九州医療ソーシャルワーカー研修会くまもと大会	くまもと森都心プラザ	森田・日高
11月26日	佐賀県回復期リハ病棟連絡協議会研修会	ひらまつ病院	森田・日高
12月7日	第21回佐賀県高次脳機能障害リハビリテーション講習会	佐賀市保健福祉会館	山口・長岡・ 日高
12月10日	佐賀市医療・介護連携西部グループ 令和元年度3分科会合同 研修会	当院	山口
12月15日	佐賀県医療ソーシャルワーカー災害対策研修会	N H O 佐賀病院	森田・長岡・ 前田
12月21日	高次脳機能障害者の理解と支援のためのサタデーミーティング	メートぷらざ	森田・日高
1月17日	自殺予防対策研修会	佐賀中部保健福祉事務所	前田・日高
1月17日	佐賀市医療・介護連携西部グループ 令和元年度3分科会合同 研修会	当院	山口
1月21日	第6回障がいと自動車運転に関する医療研究会	佐賀大学医学部附属病院	森田
1月30日	第4回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 南部グループ	佐賀市医師会立看護専門学校	山口
2月4日	地域共生拠点試行事業多職種事例検討会	アバンセ	長岡

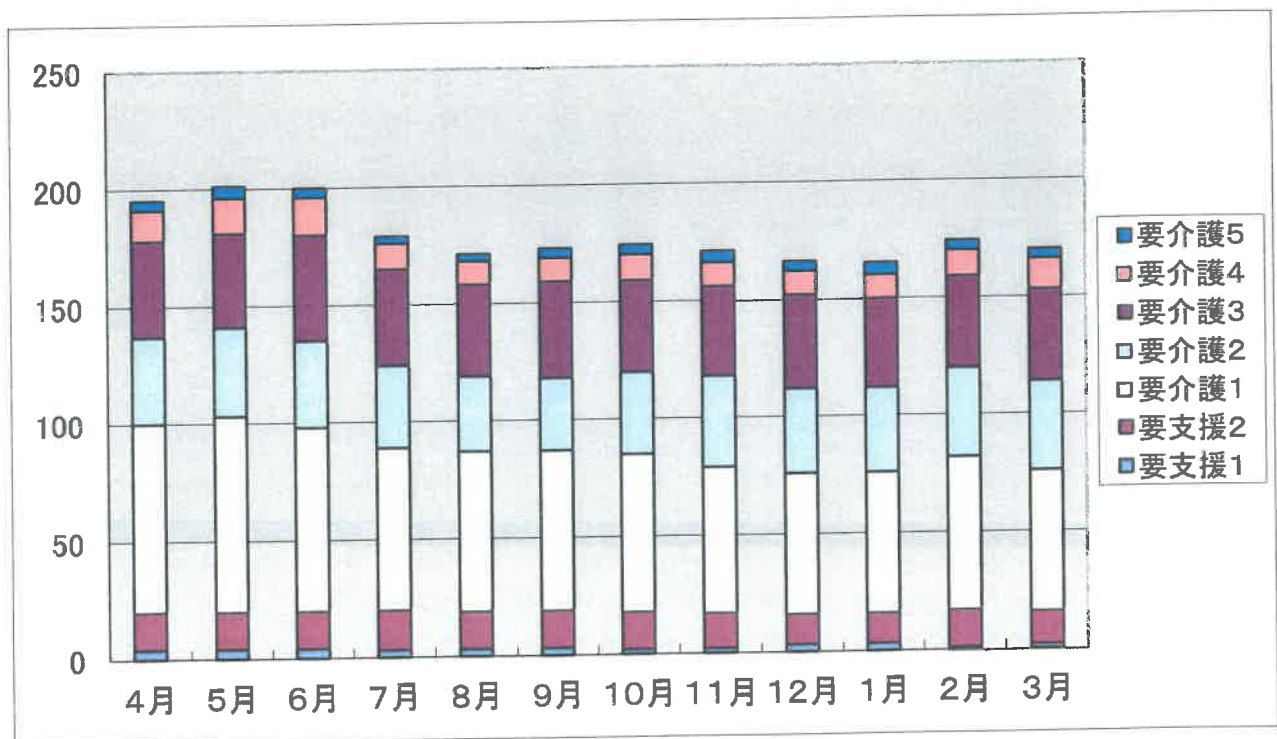
2019 Sagareha Hospital Annual Report

令和元年度 居宅介護支援事業所南佐賀活動報告

令和元年度 居宅介護支援事業所南佐賀 年間報告書 ①

I. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	4	4	4	3	3	3	2	2	3	3	1	2	34
要支援2	16	16	16	17	16	16	16	15	13	13	16	14	184
要介護1	80	83	78	69	68	68	67	62	60	60	65	60	820
要介護2	37	38	37	35	32	31	35	39	36	36	38	38	432
要介護3	41	40	45	41	39	41	39	38	40	38	39	39	480
要介護4	13	15	16	11	10	10	11	10	10	10	11	13	140
要介護5	4	5	4	3	3	4	4	5	4	5	4	4	49
合計	185	191	190	169	161.5	163.5	165	162.5	158	157	165.5	162	2139
居宅介護	I												
	II	175	181	180	159	152	154	156	154	150	149	157	1921
	III												
初回加算	3	2	0	0	1	0	1	0	0	1	4	0	12
退院加算	3	4	5	3	0	3	1	2	1	2	6	0	30
医療連携	I	3	10	4	6	3	1	3	1	1	5	1	44
	II	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	5
小規模多連携	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1



令和元年度 居宅介護支援事業所南佐賀 年間報告書 ②

日付	研修会名	開催場所	出席者
R1.5.21	佐賀市医療・介護連携グループ別 (城南地区)連携会議	川副支所	夏目
R1.5.22・24	地域包括支援センター職員スキルアップ研修	アバンセホール	古澤・松本・森・ 原・松隈・夏目
R1.6.17	地域まるごとケアマネジメントに関する研修会	ガーデンテラス佐賀	松本・松隈
R1.6.20	おたっしや本舗城南地域ケア会議	北川副公民館	松隈・夏目
R1.6.21	難病訪問従事者等研修会	佐賀中部保険事務所	古澤・松隈
R1.6.25	介護認定調査員新規研修	佐賀市役所大和支所	松本・松隈・夏目
R1.7.2	神崎ブロック研修会「虐待からみたケアマネー ジャーの役割」	神埼市中央公民館	森
R1.7.11	佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	佐賀市医師会立 看護専門学校	原・森
R1.7.13	佐賀県介護支援専門員協議会研究大会	小城市生涯学習センター 「ドゥイング三日月」	古澤・松隈
R1.9.9	佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会	佐賀市医師会立 看護専門学校	原
R1.9.11	佐賀市北部ブロック研修会「精神疾患について」	佐賀整肢学園 こども発達医療センター	松隈
R1.9.20・1.14	地域同行型研修 全体研修	マリトピア	原・森
R1.10.18	佐賀市主任介護支援専門員研修会	佐賀市役所大会議室	原
R1.10.29・30	地域包括支援センター職員スキルアップ研修	アバンセホール	原・松隈
R1.11.1	ケアマネジメント研修会「運営規定・解釈通知を 満たす介護記録の書き方」	ガーデンテラス佐賀	原・松隈
R1.11.15・20	介護認定調査員継続研修会	佐賀市川副支所	原・古澤・三戸谷・ 松隈・森
R1.11.19	自立支援に支店を置いたケアマネジメントについて 居宅編	佐賀市産業振興会館	原
R1.11.21	おたっしや本舗城南地域ケア会議 (城南)	北川副公民館	古澤・三戸谷・ 松隈・西村
R2.1.22	在宅における高齢者虐待防止と家族支援のための スキルアップ研修	佐賀市産業振興会館	西村
R2.2.4	地域共生拠点試行事業多職種事例検討会	アバンセホール	古澤・松隈
R2.2.21	佐賀県在宅医療・介護連携サポート体制強化事業 研修会	ガーデンテラス佐賀	松隈

2019 Sagareha Hospital Annual Report

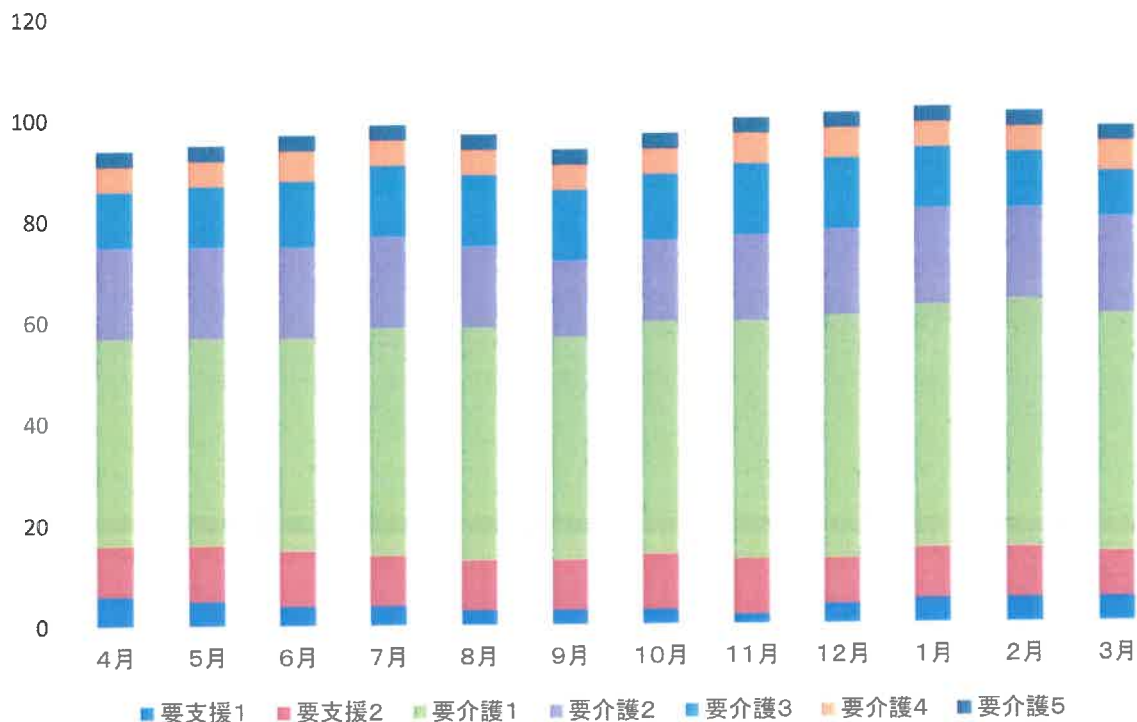
令和元年度 ケアサポートみずがえ活動報告

令和元年度 居宅介護支援事業所ケアサポートみずがえ 年間報告書 ①

I. 実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	6	5	4	4	3	3	3	2	4	5	5	5	49
要支援2	10	11	11	10	10	10	11	11	9	10	10	9	122
要介護1	41	41	42	45	46	44	46	47	48	48	49	47	544
要介護2	18	18	18	18	16	15	16	17	17	19	18	19	209
要介護3	11	12	13	14	14	14	13	14	14	12	11	9	151
要介護4	5	5	6	5	5	5	5	6	6	5	5	6	64
要介護5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
合計	94	95	97	99	97	94	97	100	101	102	101	98	1175
居宅介護	I												
	II	78	79	82	85	84	81	83	87	88	87	86	1004
	III												
初回加算	2	1	2	1	1	0	1	1	3	3	0	0	15
退院加算	2	1	1	0	0	2	1	5	0	1	3	3	19
医療連携	I	1	1	3	3	3	1	2	1	3	5	3	26
	II												

月間利用者数推移(令和元年度)



令和元年度 居宅介護支援事業所ケアサポートみずがえ 年間報告書 ②

Ⅱ 学会・研修会参加状況

日付	研修会名	開催場所	出席者
H31.3.12	福祉用具・住宅改修研修	アバンセ	藤本
R.1.5.21	佐賀市南部研修「在宅医療とACP」	佐賀市川副支所	緒方
R.1.5.22	自立支援型介護予防ケアマネジメント	アバンセ	相良
R.1.5.24	地域包括支援センター職員スキルアップ研修	アバンセ	緒方
R.1.6.17	地域まるとケアマネジメントの必要性	ガーデンテラス佐賀	緒方
R.1.7.5	介護予防支援マネジメントへの取り組み方	アバンセ	藤本・緒方・相良
R.1.7.13	佐賀県介護支援専門員協議会研究大会	ドゥイング三ヶ月	藤本・緒方・相良
R.1.7.1～8.2	主任介護支援専門員更新研修(8日間)	ガーデンテラス佐賀	藤本
R.1.7.19	高齢者の権利擁護について(南部ブロック研修会)	アバンセ	相良
R.1.7.22～2.13	スーパーバイザーフォローアップ研修	メディカルセンター	藤本
R.1.7.23・10.18	主任介護支援専門員事例検討会	ほほえみ館	緒方
R.1.8.5	医療介護連携マネジメント	ガーデンテラス佐賀	緒方
R.1.8.22・10.18	佐賀市主任介護支援専門員事例検討会	ほほえみ館	藤本
R.1.9.11～9.27	介護支援専門員更新研修専門Ⅱ(5日間)	ガーデンテラス佐賀	緒方
R.1.9.11	佐賀市北部ブロック研修(精神疾患について)	整枝学園	藤本・相良
R.1.11.1	中部広域連合ケアマネジメント研修会①	ガーデンテラス佐賀	藤本・緒方・相良
R.1.11.18	認定調査員継続研修会	川副支所	藤本・緒方・古川
R.1.11.19	令和元年度介護支援専門員研修会(高齢者虐待)	佐賀市産業振興会館	藤本
R.1.11.20	認定調査員継続研修会	川副支所	相良
R.1.12.2	中部広域連合ケアマネジメント研修会②	ガーデンテラス佐賀	藤本・緒方
R.2.1.10	佐賀市南部ブロック研修会(災害時のケアマネジメント)	アバンセ	藤本
R.2.2.13・14	主任介護支援専門員フォローアップ研修会	ガーデンテラス佐賀	藤本・緒方

○ ケアサポートみずがえ1年間の振り返り

1. スタッフの移動

西川朋子ケアマネ:R.1.4.1付けでケアサポートみずがえ→グループホーム

緒方幸子ケアマネ:R.1.4.1付けでグループホーム→ケアサポートみずがえ

古川陽子ケアマネの育休取得に伴い3人体制での運営となる。

2. R.2.3.31付けで居宅介護支援事業所南佐賀との統合による閉所

○ 特定事業所としての取り組み

1. 他法人合同勉強会(つぼみ荘・紀水苑・久保薬局・ケアサポートみずがえ)

2. 地域ケア会議の参加(おたっしや本舗城南)

3. 介護支援専門員実務者研修の受け入れ(1名)R.2.2/5・18・19

4. みずがえ会議の開催(毎週金曜日)

5. 南佐賀合同勉強会・事例検討会

令和元年度 訪問看護よろこび活動報告

令和元年度 看護ステーション よろこび 年間報告書

1.実績

〈利用者登録数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	35	36	36	35	32	32	35	35	36	36	34	34
国・社保険	12	12	12	14	14	13	14	12	13	13	15	15
後期高齢保険	10	6	7	8	8	8	10	8	8	8	9	10
合計	57	54	55	57	54	53	59	55	57	57	58	59

〈訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
介護保険	183	222	185	174	159	157	167	156	196	175	161	183
国・社保険	96	84	108	132	122	137	128	78	128	136	114	135
後期高齢保険	79	36	52	64	83	108	128	75	68	49	60	87
合計	358	342	345	370	364	402	423	309	392	360	335	405

〈利用者介護度〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
要支援2	5	5	5	6	5	5	5	6	6	6	7	7
要介護1	12	13	10	11	11	11	12	12	13	10	10	10
要介護2	6	6	8	8	8	8	9	7	8	8	7	5
要介護3	9	6	6	8	7	7	10	8	10	9	8	8
要介護4	13	10	11	7	6	7	7	6	5	6	8	8
要介護5	6	5	5	6	6	5	5	5	5	6	4	6
合計	52	45	45	46	43	43	49	45	48	46	45	45

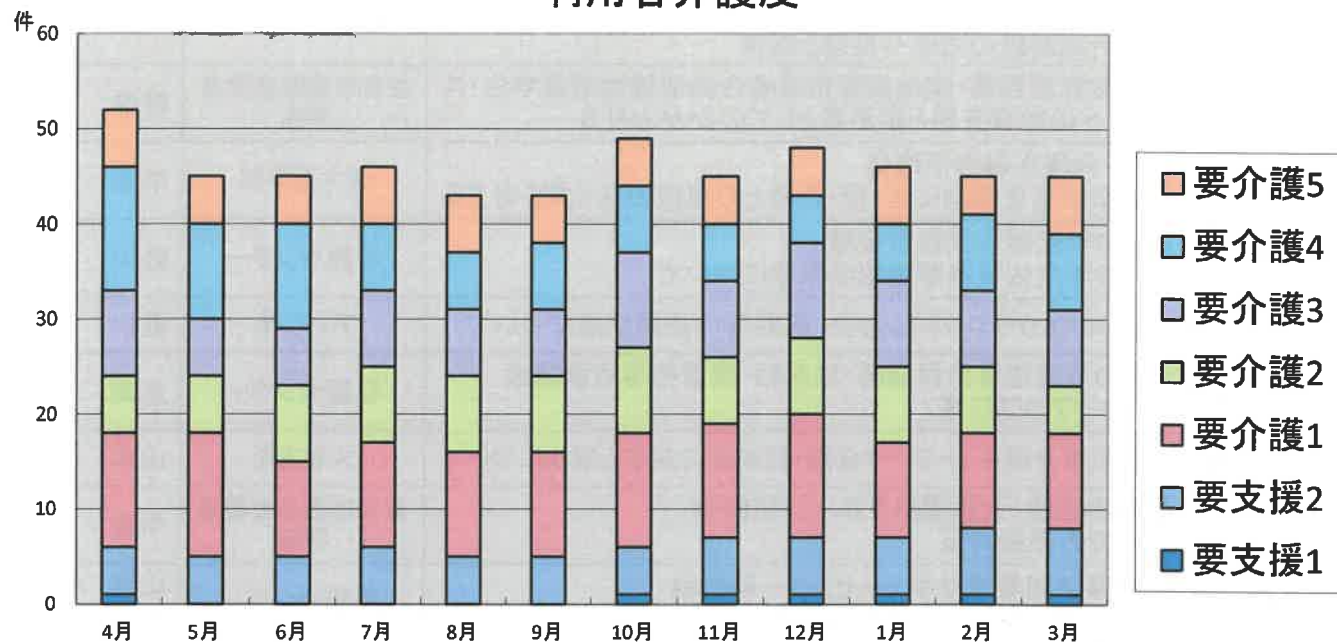
〈介護保険 単位別訪問件数〉

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防訪看 I 2(449単位)	0	0	10	13	14	13	14	21	23	19	10	39
訪看 I 2(469単位)	101	122	97	89	76	77	79	64	106	76	88	66
予防訪看 I 3(790単位)	19	26	13	8	15	9	16	17	17	18	12	12
訪看 I 3(819単位)	49	54	49	46	37	41	42	38	29	40	21	39
訪看 I 3複12(1218単位)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪看 I 3複22(1136単位)	3	11	10	11	12	9	7	8	9	10	10	9
訪看 I 4(1122単位)	0	2	2	1	1	2	1	3	12	6	3	5
訪看 I 4複21(1520単位)	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪看 I 4複22(1439単位)	2	1	0	1	1	2	1	1	2	2	2	3
予防訪看 I 5(287単位)×2	4	5	4	5	3	4	7	4	4	4	10	4
訪看 I 5(297単位)×2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
訪看 I 4夜(1398単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
訪看 I 2夜(586単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1
訪看 I 2深夜(704単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0
訪看 I 3夜(1024単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
訪看 I 3深夜(1229単位)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
予防訪看 I 3夜(984単位)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス提供体制加算 (6単位)	183	222	185	174	159	157	167	156	205	175	161	183

※複12⇒看護師2名・複22⇒看護師1名＋補助者1名 の訪問

※同⇒同一建物(ドリームハウス吉原居住者)

利用者介護度



3.活動内容 会議・研究会等

R元年度 訪問看護ステーションよろこび 研修会参加状況(院内研修除く)

	日時	研修の名称	研修会場	参加氏名
H31	4月23日	グリーンクリニック勉強会・心不全について	アバンセ	永渕 小柳
R 1 年	5月21日	南部地区連携会議 在宅医療とACP(矢ヶ部Dr)	川副支所	小柳
	5月23日	グリーンクリニック勉強会・高齢者の骨折について	アバンセ	山本 野中 永渕
	5月28日	北部医療介護ネットワーク会議・職種別ディスカッション	大和支所	山本 永渕 中島
	5月31日	第一回訪問看護ステーション連絡会 在宅医療とはグリーンクリニックの紹介	佐賀中部保健所	野中 永渕 小柳
	6月10日	佐賀市東部医療介護ネットワーク連携会議 在宅での救急対応等について	うえむら病院	小柳 永渕
	6月12日	介護サービス事業所等に係る集団指導	ドウイング三日月	中島 野中
	6月22日	2019佐賀県看護協会通常総会	佐賀文化会館	野中
	6月26日	第61回緩和ケア症例検討会 終末期における訪問入浴について リンパ浮腫患者に対しての複合的治療をおこなった症例	好生館	野中 永渕 小柳 山本
	6月27日	グリーンクリニック勉強会 熱中症について	アバンセ	中島 永渕
	7月4日	令和元年度佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 総会・講演会緩和ケアにおけるACPとトピックス	佐賀メディカルセンター	野中 中島
	7月11日	第一回佐賀市医療・介護連携グループ全体研修会 地域 包括ケアシステムにおける外国人労働者の必要性	佐賀市医師会看護 学校	野中
	7月18日	グリーンクリニック勉強会 糖尿病について	アバンセ	山本 中島

R 1 年	7月18日	福祉における「ゴミ屋敷問題」をテーマとした勉強会	ほほえみ館	小柳
	7月19日	看護師の特定行為研修に関する講演会 特定行為研修制度について 特定行為制度の意義や役割と期待	佐賀メディカルセンター	野中 永渕
	7月20日	施設教育担当者・臨地実習指導者合同研修会看護学生・スタッフへの教育支援と指導者としてのかわり方	佐賀市医師会看護学校	野中
	7月27日	医療・介護従事者研修会 過去の災害を教訓に医・福・行政との連携の在り方を考える	佐大医学部	中島
	7月29日	2019年度施設代表者会議 2019年度佐賀県看護協会事業について	看護センター	野中
	8月22日	ぶどうの木クリニック勉強会 高齢者の皮膚疾患について	アバンセ	野中
	8月22日	2019年度佐賀県保健師・助産師・実習指導者講演会 フォローアップ研修	看護センター	永渕
	8月26日	北部医療介護ネットワーク会議・認知症の対応と現状について	大和支所	山本
	9月9日	佐賀市医療・介護連携グループ研修会 在宅での感染対策	佐賀市医師会看護学校	中島
	9月20日	佐賀県訪問看護サポートセンター研修会 在宅におけるストーマケア&QOL	看護センター	山本 小柳 永渕
	9月26日	グリーンクリニック勉強会 高齢者の肺炎について	アバンセ	中島
	10月5日	令和元年九州ブロック交流会の運営について 意見交換・九州ブロックの活動の在り方等	佐賀メディカルセンター	野中
	10月6日	第10回九州在宅医療推進フォーラム 在宅医療におけるACPの現状と課題	佐賀市医師会看護学校	中島 野中 永渕
	10月16日	緩和ケア講演会 在宅医療・在宅緩和ケアの現場から	佐大医学部	中島
	10月26日	令和元年第一回佐賀県訪問看護ステーション管理者会 佐賀で発生した災害の経験を今後活かす	看護センター	野中
	10月31日	ぶどうの木クリニック勉強会 ザ、インフルエンザ2019	アバンセ	中島 野中
	11月11日	第二回ネットワーク連携会議 ○今後希望する研修会 ○グループワーク困っている事・悩んでいる事	うえむら病院	中島
	11月16日	南部・中部地区合同研修会 地域ケアシステム構築における看護師の役割	看護センター	野中
	11月21日	ぶどうの木クリニック勉強会 便秘について	アバンセ	小柳 山本 野中
	12月10日	佐賀市西部医療介護ネットワーク 3分科合同研修会 抱え上げない介護	夢館	野中
R 2 年	12月11日	緩和ケア症例検討会 グリーフケアについて	好生館	野中 小柳
	12月12日	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会 連絡協議会役員・活動について等	佐賀メディカルセンター	野中
	12月17日	南部地区連携会議 地域ケア会議・プラン検討会議での薬剤師からの見解	川副支所	小柳
	1月16日	ぶどうの木クリニック 研修会 看取りについて	アバンセ	小柳 中島
	1月21日	訪問看護ステーション協議会 神経難病の基礎から最新の情報まで	佐賀中部保健所	中島 小柳
	1月24日	佐賀病院地域医療連携セミナー 医療従事者のための「知っ得講座」	NHO佐賀病院	山本

R 2 年	1月25日	佐賀スキンケアフォーラム IAD（失禁関連皮膚炎とスキンケア）	教育会館	山本
	1月27日	北部医療介護ネットワーク会議 避難行動要支援者制度について	大和支所	山本
	1月29日	佐賀県委託事業キラッとプラチナナース支援事業 佐賀県の医療と看護師等の勤務状況	看護センター	野中
	1月30日	佐賀市西部医療看護連携グループ全体研修会 地域で自らしく生きるために	佐賀市医師会看護 学校	野中
	2月19日	第65回緩和ケア症例検討会・がん遺族のグリーフケアにつ いて・医学的も見た悲嘆について 小杉Dr	好生館	小柳
		5/15・6/19・7/17・8/21・9/18・10/16・11/5～8(実習) 2019年度訪問看護師養成講習会	看護センター 訪問ステーション うえむら(実習)	山本

〈看護実習受け入れ実績〉

医師会立看護学校	計8名	H31/4/8～4/12 2名	H31/4/22～4/26 2名
		R2/2/10～2/14 2名	R2/3/9～3/13 2名
佐賀女子高等学校看護専攻科	計2名	R1/5/20～5/24 2名	
佐賀県立総合看護学院	計2名	R1/7/22～7/26 2名	
訪問看護養成講習会	計2名	R1/10/28～10/31 2名	

2. 概況・所見

年間利用者の登録は平均56名

年間売り上げ 37,099,410円 前年度より2,500,000円の減。

その要因としては、長期利用者・難病の方の死亡多く、又新規依頼はあるものの、短期間の利用者・死亡・入院・入所等が多かったと為と思われる。

看取り9名(自宅4名・施設5名)前年度と比較し施設での看取りが増えてきている傾向にある。

今後も施設職員との連携を強化しアドバイス・ケア・プランニング(ACP)を取り入れ終末期のケアを行っていく。令和2年2月～コロナ感染予防として、研修等が中止になり予定していた研修に行けず残念であった。コロナ感染拡大しないよう、自己防御をして対応していく。

H31.4.1 看護師松岡舞(常勤)訪問より病棟へ移動

H31.4.1 看護師永淵理恵(常勤)病棟より訪問看護へ移動

R1.6.1 看護師弓 順子(非常勤)訪問看護より通所へ移動

R1.10.5 令和元年度九州ブロック交流会 運営スタッフ(理事)として出席 野中由佳

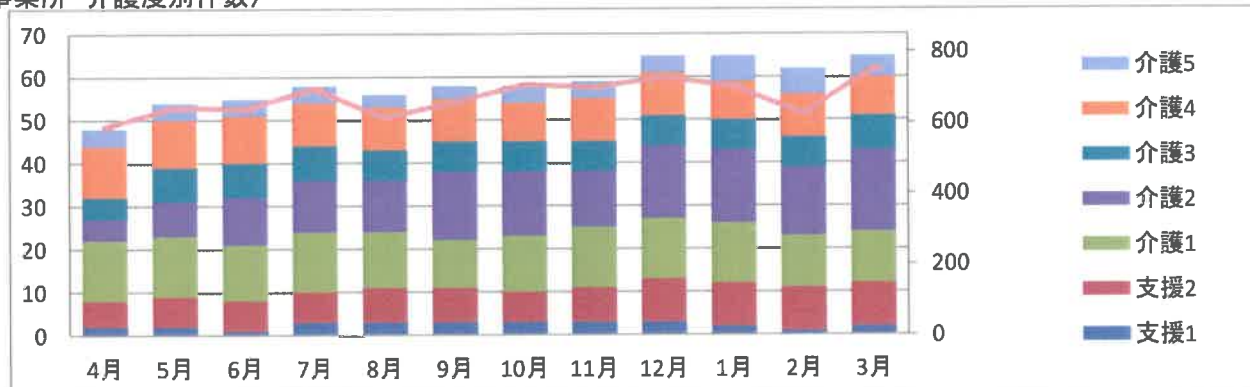
令和元年度 訪問リハビリテーション活動報告

1. 実績

＜利用者延べ件数＞

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均	
事業所	予防	支援1	13	10	8	20	26	24	34	32	21	20	6	16	670.5 (前年度 701.6)
		支援2	76	90	86	96	86	90	84	96	100	116	126	106	
		体制強化加算	89	100	94	116	112	114	118	128	121	136	132	122	
		短期集中	0	0	0	0	0	0	0	0	7	17	16	12	
		リハマネ加算	8	9	8	10	11	11	10	11	13	12	11	9	
		診療未実施減算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	介護	要介護1	193	183	158	164	138	124	146	156	154	146	105	114	
		要介護2	52	94	111	144	132	177	187	167	180	159	158	219	
		要介護3	61	94	108	112	100	98	93	86	108	93	88	117	
		要介護4	131	112	98	99	86	87	99	98	100	94	83	126	
		要介護5	62	60	70	61	46	58	64	64	63	74	58	52	
		体制強化加算	499	543	545	580	502	544	589	571	605	566	492	628	
		リハマネ加算1	40	45	47	47	45	47	48	49	52	53	50	53	
		短期集中	13	25	37	26	15	13	8	16	14	10	3	29	
		診療未実施減算	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	
		小 計	588	643	639	696	614	658	707	699	726	702	624	750	
	利用者件数	48	54	55	58	56	58	58	60	65	65	61	65		
医療	病院	一般	6	8	6	8	2	8	8	6	8	8	6	8	82.7 (前年度71.8)
		後期高齢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	よろこび	一般	52	53	53	71	54	49	58	56	64	57	64	71	
		後期高齢	4	1	1	3	11	13	18	10	4	11	11	6	
	介護	8	8	8	10	6	8	14	8	8	8	12	17		
	小 計	70	70	68	92	73	78	98	80	84	84	93	102		
	利用者件数	14	13	12	14	16	15	19	18	15	16	20	19		
合 計		658	713	707	788	687	736	805	779	810	786	717	852		

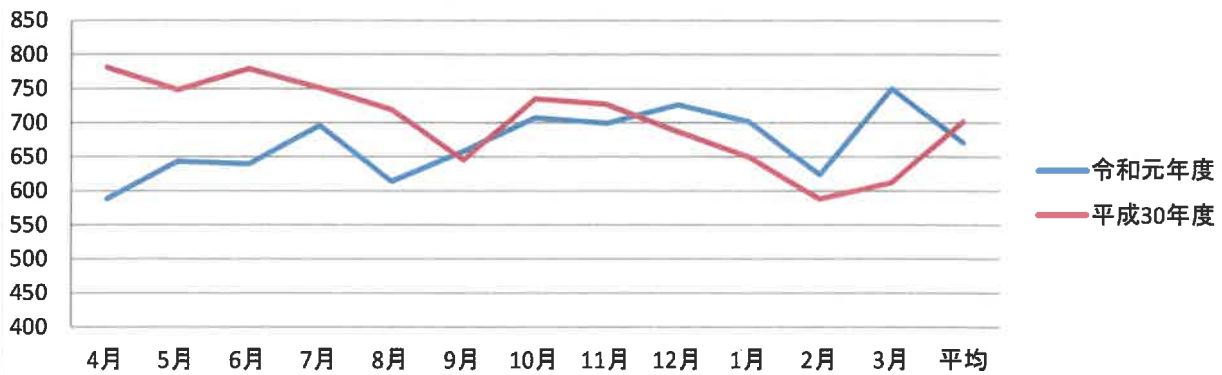
＜事業所 介護度別件数＞



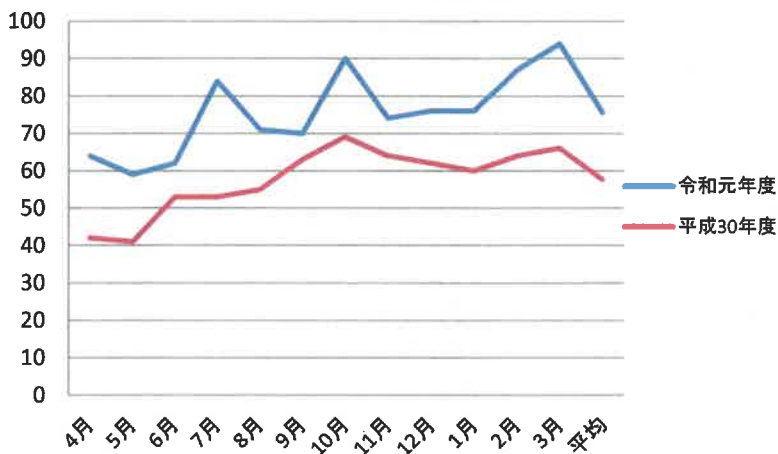
＜よろこび 保険別件数＞



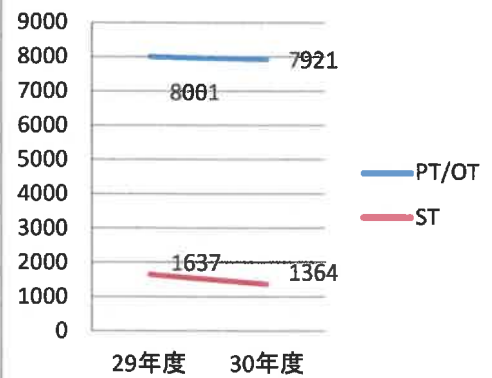
事業所延件数



よろこび延件数



PT/OT、ST延件数変化



売上



2. 概況・所見

令和元年度の総売り上げは34,146,210円(平成30年度の総売り上げは33,434,150円)で前年度に比べると712,060円売り上げ増となりました。今年度は4月の利用者数が少なく、8月に台風や豪雨などによりサービス提供が中止になり、延べ件数が減少しましたが、徐々に新規利用者増加し、年間を通じては前年度より増益になったと考えます。また、延べ件数は前年度より減少していますが、よこびからの医療保険でのサービス提供件数が増えたことで増益になっていると思われます。取り組みとしては、前年度同様に、症例検討会や研修会への参加等を行い、利用者・家族共に満足してもらえるように取り組みました。

令和2年度も、事業所内での症例検討会を継続し、他事業所との連携を図り、スタッフ全員で利用者へ満足のいくサービス提供できるよう努めていきます。

3. 活動内容 会議・研究会等

<活動内容>

31年 4月 1日 関PT 訪問リハビリ所属

<研修会>

日 程			研 修 会 名 称	場 所	参加者
31年	4月	28	訪問リハビリテーションフォーラム2019	あいおいニッセイ同和損保 新宿ビル貸ホール	石田
令和元年	5月	11,12	認定訪問療法士・認定基礎研修会	大阪私学会館	鳥取
		13	第5回生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田
		31	第1回訪問看護ステーション連絡会	佐賀中部保健福祉事務所	中島
				ドゥイング三日月	中島、石田
	6月	18	OT現職者共通研修	アバンセ	藤木
		27	グリーンクリニック第17回勉強会	アバンセ	北村、鳥取
	7月	11	睡眠について	在宅サポートセンター	関
		13~15	第22回訪問リハビリテーション管理者研修会STEP1	大阪	北村
		18	グリーンクリニック第18回勉強会	アバンセ	北村、鳥取
		29	第6回生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田
	9月	9	第2回佐賀市医療介護連携グループ全体研修	メディカルセンター	北村
		17	第7回生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	石田、今里
		26	グリーンクリニック第20回勉強会	アバンセ	鳥取
		29	地域包括ケアシステムの人材育成研修会	東与賀文化ホール	今里
	10月	5,6	九州在宅医療推進フォーラムinSAGA	メディカルセンター	石田
		10	福祉用具を使って豊かな生活	在宅サポートセンター	関
		30	在宅医療多職種連携推進研修会	佐賀県歯科医師会館	石田
	11月	18	第8回生活リハビリテーションネットワーク	佐賀中部病院老健	藤木、石田
		21	第22回ぶどうの木クリニック勉強会	アバンセ	石田
		23	日本リハビリテーション栄養学	アクロス福岡	石田
	12月	5	生活行為向上を軸に	在宅サポートセンター	関
		8	生活行為向上マネジメント研修会	柳川リハビリテーション病院	藤木
		10	佐賀市医療介護連携西部グループ令和元年3分科会 合同研修会	佐賀リハビリテーション病院	北村
		11	第64回緩和ケア症例検討会	好生館	石田
		21	令和元年度佐賀県訪問リハ・介護支援専門員共同 研修会	在宅サポートセンター	北村・関 ・石田
令和2年	1月	21	令和元年度第2回訪問看護ステーション連絡会	佐賀中部保健福祉事務所	石田
	2月	9	令和元年度佐賀県訪問リハ・介護支援専門員共同 研修会	緑生館	石田
		19	第65回緩和ケア症例検討会	好生館	北村・石田
		22	令和元年度佐賀県訪問リハ・介護支援専門員共同 研修会	在宅サポートセンター	関・石田
		25	「美則」勉強会	デイサービス美則	藤木

2019 Sagareha Hospital Annual

令和元年度 通所リハビリテーション吉原活動報告

令和 元 年度 通所リハビリテーション吉原年間報告書

I. 実績

【利用者延べ人数】

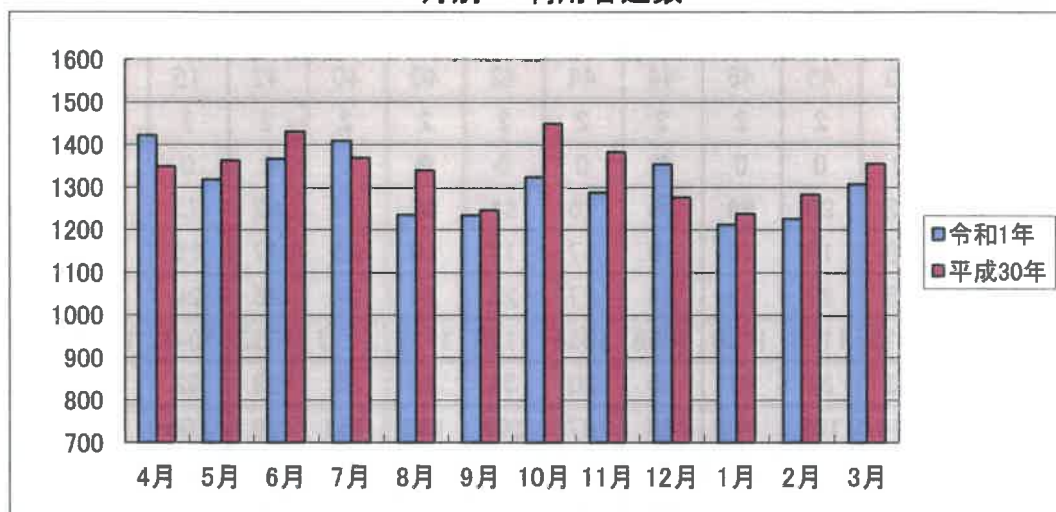
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1		62	69	68	70	66	51	68	60	55	55	55	45	724
要支援2		149	134	143	153	111	129	131	115	122	125	123	125	1560
日割り		36												36
要介護1	1～2	64	64	68	74	70	59	62	59	55	56	50	53	734
	2～3	19	19	22	18	28	26	26	21	18	21	21	24	263
	3～4	26	29	28	29	23	27	32	32	29	25	30	27	337
	4～5	50	47	39	45	39	35	43	47	56	38	47	51	537
	5～6	22	15	36	31	32	28	30	32	31	47	55	62	421
	6～7	431	428	437	442	418	434	454	434	423	363	397	447	5108
	7～8	8	9	8	10	6	8	10	8	7	8	11	8	101
要介護2	1～2	10	10	13	17	12	10	11	15	8	16	18	14	154
	2～3	9	5	8	8	7	8	8	8	7	6	7	10	91
	3～4	1	2	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	8
	4～5	29	33	27	29	25	23	32	33	36	26	26	17	336
	5～6	37	34	38	46	36	36	38	35	43	36	29	43	451
	6～7	215	186	197	194	183	185	212	218	220	199	192	207	2408
	7～8	3	4	2	4	2	3	2	0	2	1	1	0	24
要介護3	1～2	4	3	5	3	5	3	3	8	9	6	1	0	50
	2～3	0	0	1	1	0	0	0	0	2	1	0	0	5
	3～4	6	2	4	2	1	2	2	3	5	2	2	4	35
	4～5	32	30	33	39	19	27	30	20	59	33	30	32	384
	5～6	3	3	2	4	5	5	4	9	12	11	9	7	74
	6～7	166	150	148	157	114	110	99	105	127	110	94	108	1488
	7～8	4	4	4	4	3	3	4	6	5	5	0	4	46
要介護4	1～2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	4	7
	4～5	6	4	3	0	2	2	2	0	1	1	2	1	24
	5～6	1	0	0	0	0	0	2	3	3	2	4	2	17
	6～7	25	29	27	24	25	15	14	105	14	13	14	11	316
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	6
要介護5	1～2	4	5	4	5	2	4	5	4	4	4	4	4	49
	2～3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4～5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5～6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6～7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7～8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日平均人数		56.8	54.9	54.6	54.1	54	53.6	53	54	54	54	51	52.2	
利用延べ人数		1422	1318	1367	1409	1235	1234	1324	1288	1354	1033	1226	1137	15347

リハマネⅠ	230	188	185	183	190	187	186	187	184	184	182	181	179	2216
リハマネⅡ 2	530	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
短期集中加算	110	52	65	65	65	72	68	74	84	108	70	55	72	850
入浴	50	596	565	573	605	547	542	565	545	559	495	517	603	6712
運動器向上	225	44	43	45	46	44	44	42	40	40	42	15	24	469
口腔機能 向上	介護	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
理学体制加算	30	82	82	90	99	89	76	81	86	76	82	73	71	987
体制強化	支1 72	17	18	18	18	18	17	17	16	16	17	15	14	201
	支2 144	27	25	27	28	26	27	25	24	24	25	26	24	308
	介護 18	1175	1115	1156	1186	1058	1054	1125	1113	1177	1033	1048	1137	13377
リハ提供 体制加算	12	33	33	34	31	25	30	34	36	35	29	32	35	387
	16	117	114	102	113	85	87	107	100	152	98	105	101	1281
	20	63	52	76	81	73	70	74	79	89	96	97	114	964
	24	837	793	809	817	740	743	779	769	784	685	697	770	9223
	28	15	17	14	18	11	14	16	14	14	14	16	12	175
食事数	450	1222	1164	1195	1223	1058	1072	1151	1120	1206	1052	1075	1159	13697
介護		1175	1115	1156	1186	1058	1054	1125	1113	1177	1033	1048	1137	13377
予防		44	43	45	46	44	44	42	40	40	25	41	38	492
処遇		48372	46094	47514	48762	43740	43782	45693	45076	47593	42707	889575	45494	1394402
特定		／	／	／	／	／	／	19449	19188	20261	18179	18277	19279	114633

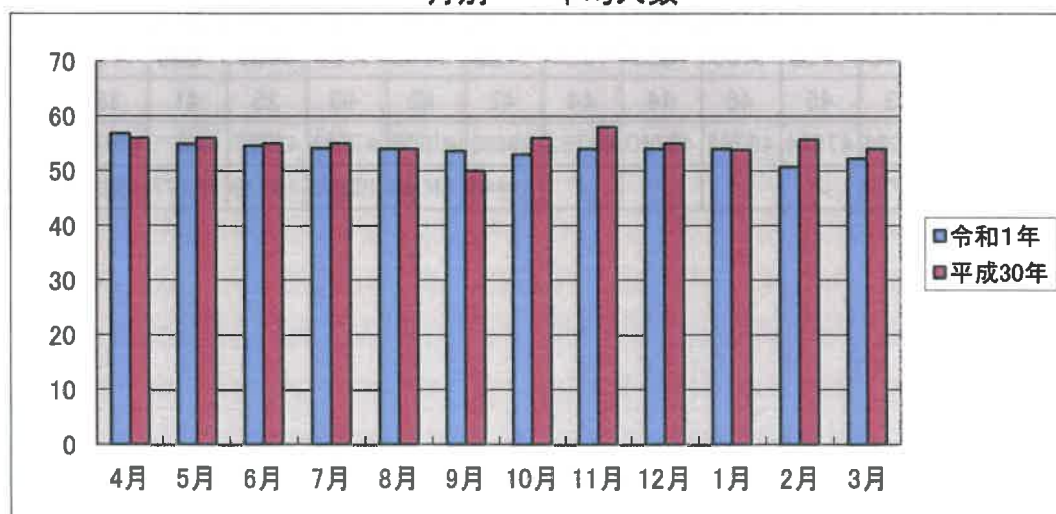
令和 元年度 通所リハビリテーション吉原 年間報告書 ②

Ⅱ. 実績グラフ

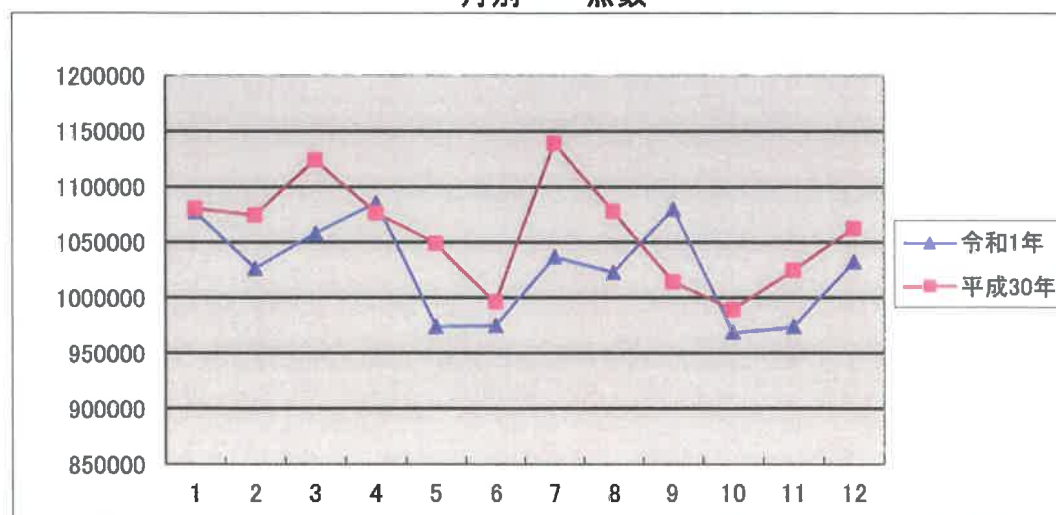
月別 利用者延数



月別 平均人数



月別 点数



年間利用者延べ人数: 15347 人

年間利用者延べ人数平均 1279 人

Ⅲ. 行事等／実習受け入れ

5月20日～25日 映画観賞会
 6月10日～15日 通所運動会
 7月5日 通所リハ見学 西九州大学、緑生館OT学生各1名ずつ。
 7月25日 牛津高校学生インターンシップにて通所リハビリ見学
 8月7日 ボランティア南京玉簾慰問
 8月20日 清和中学校職場体験
 8月23日 久留米リハビリテーションOT学生 通所見学
 9月9日～14日 通所敬老会
 9月19日 昭栄中学校職場体験
 10月18日 致遠館中学校職場体験
 11月25日～30日 映画観賞会
 12月9日～14日 通所クリスマス会
 12月19日 オカリナ演奏会
 1月27日～2月1日 柳川リハビリテーション学院地域生活支援演習

Ⅳ. 学会・研修会等参加状況

日付	研修会名	開催場所	出席者
11月14日	認知症高齢者に対するアクティビティとレクリエーション	西九州大学	PT小副川
			PT森
			OT貝通丸
			OT坂井
			CW北村
			CW近藤
			CW宮崎
2月10日	認知症の人間作業モデル	麻生リハ学院	OT佐古
2月10日	心疾患を合併した高齢患者の評価とリスク管理	天神クリスタルビル	OT木下

コメント

今年度は入院からの復帰率が低く、復帰しても期間が長くかかっている状況があり、新規獲得数も前年度以上伸ばすことができず、前年度と比べて売り上げを伸ばすことができませんでした。新規事業所の開拓は幾分できたので、新規利用者をご紹介頂けるよう関係づくりを継続して行っています。サービス提供に関しては、季節ごとのイベントを企画、開催し利用者への楽しみの提供が行えました。新型コロナウイルス感染症の影響も考えられますが、次年度は、集客率、売上ともに向上できるようにしていくとともに、利用者へ満足していただけるようサービスの質の向上を図ります。

令和元年 デイサービス吉原活動報告

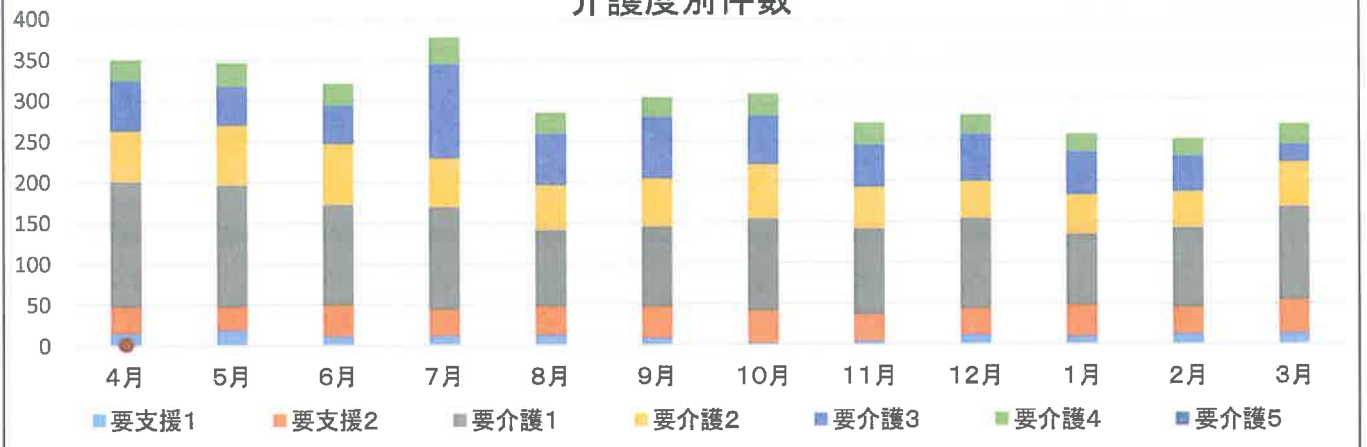
令和元年度 デイサービス吉原活動報告

I. 実績

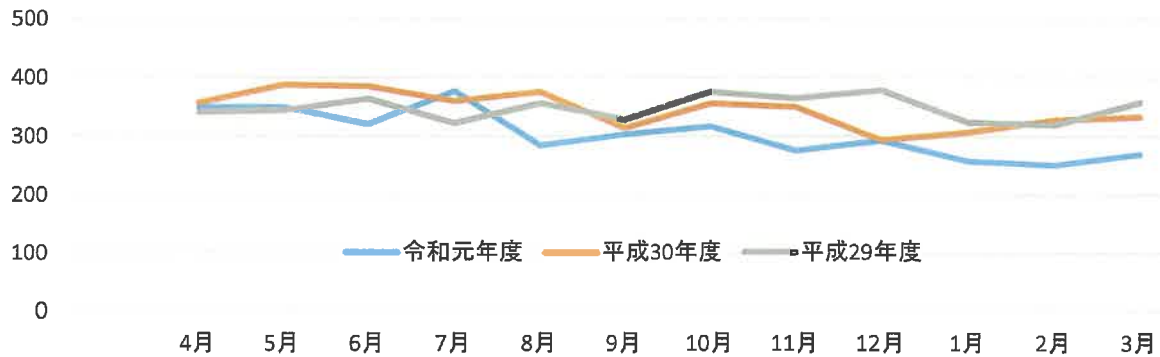
【利用者延べ人数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	総合	14	18	10	11	12	8	2	4	11	9	12	13	124
	日割													0
要支援2	総合	33	29	39	32	35	38	39	32	32	38	33	41	421
	日割													0
要介護1	7～8	13	11	12	13	11	10	12	12	12	11	11	4	132
	6～7	69	67	60	59	38	41	47	48	59	41	46	64	639
	5～6	70	67	50	53	44	46	54	44	38	35	40	45	586
	4～5	1								1			1	3
	3～4		4	1	1		1		3	1				11
要介護2	7～8	30	29	27	9	8	8	8	6	6	8	6	9	154
	6～7	23	35	38	37	33	36	36	27	33	36	34	41	409
	5～6	5	5	5	7	14	14	19	19	6	4	4	4	106
	4～5	4	3	4	5		1	2						19
	3～4		1		1			1						3
要介護3	7～8	38	20	26	58	36	42	36	33	31	27	24	12	383
	6～7	17	11	9	11	7	13	11	7	7	3	2		98
	5～6	7	17	13	47	19	20	13	13	21	21	18	10	219
	4～5					1	1							2
	3～4										2			2
要介護4	7～8	7	7	6	12	8	9	12	10	9	8	8	9	105
	6～7	18	21	20	21	17	15	15	17	15	14	13	16	202
	5～6		1			1								2
	4～5													0
	3～4													0
要介護5	7～8													0
	6～7													0
	5～6													0
	4～5													0
	3～4													0
暫定 体験														0
利用延べ人数		349	346	320	377	284	303	307	275	282	257	251	269	3,620
平均利用人数		17.5	18.2	14.5	18.9	12.9	15.2	14.6	13.8	13.4	13.5	12.6	12.8	14.8
入浴介助加算		268	277	250	315	207	225	239	209	217	192	184	181	2,764
運動器機能向上加算		9	9	9	9	9	9	8	7	9	9	9	9	105
個別機能訓練加算(I)		301	299	270	334	229	248	264	234	237	209	206	214	3,045
口腔機能向上加算		19	17	15	16	14	15	16	16	13	12	14	14	181
体制強化	要支援1	4	4	3	3	3	2	1	1	3	3	3	3	33
	要支援2	5	5	6	6	6	7	7	6	6	6	6	6	72
	介護	301	299	270	334	229	249	265	235	238	210	206	214	3,050
日常生活費		350	347	319	383	278	296	312	273	282	259	253	268	3,620
食事数		344	338	311	375	271	289	307	266	276	254	255	261	3,547

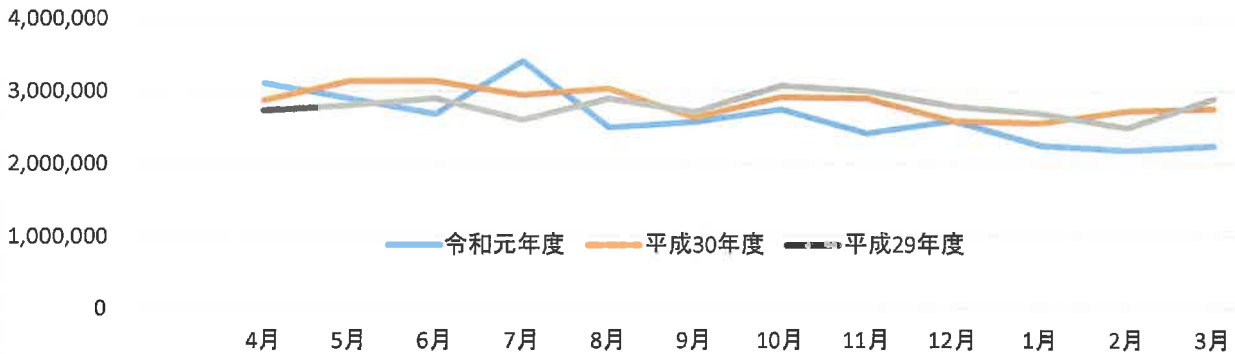
介護度別件数



利用延べ人数比較



売り上げ比較



Ⅱ. 概況

①職員の配置

管理者	古川 展匡		
看護職員	藤田 敦子		
生活相談員	柿塚 真大		
機能訓練指導員	藤田 敦子		
介護職員	緒林 智子	江頭 佐代子	カ久 真佐子
	中川 有里	堤 富美(パート)	矢ヶ部 裕紀子(パート)

②サービス利用料

要介護の方

事業所規模		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
		通常規模					
サービス提供時間	3-4時間	364円	417円	472円	525円	579円	
	4-5時間	382円	438円	495円	551円	608円	
	5-6時間	561円	663円	765円	867円	969円	
	6-7時間	575円	679円	784円	888円	993円	
	7-8時間	648円	765円	887円	1,008円	1,130円	
入浴介助加算		1日につき		50円			
個別機能訓練加算(Ⅰ)		1日につき		46円			
サービス提供体制加算(Ⅱ)		1日につき		6円			
口腔機能向上加算		月2回		150円			
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)		(基本サービス費+各種加算)×0.059					
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)		(基本サービス費+各種加算)×0.01					

要支援の方

	要支援1		要支援2	
介護予防通所介護費	1,647円	月5回以上利用時	3,377円	月9回以上利用時
	378円	月1～4回利用時(一回につき)	389円	月1～8回利用時(一回につき)
運動機能向上加算	225円		225円	
サービス提供体制加算(Ⅱ)	24円		48円	
介護職員処遇改善加算(Ⅰ)	(基本サービス費+各種加算)×0.059			
介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)	(基本サービス費+各種加算)×0.01			

その他

日常生活費	1日につき	25円
食事費	1食	500円

Ⅲ. 所見

令和元年度は、平成31年4月より「ADL維持等加算」を算定させていただくことになり、また、令和元年10月からの介護報酬改定に基づき利用料金等一部変更があり、加えて介護職員等特定処遇改善加算(Ⅱ)を同月より算定させていただき、利用者様や各居宅支援事業所への説明を行いました。

新規利用の依頼を各居宅支援事業所様にお願いし、年度初めより新規利用の受け入れや利用日増日の受け入れを行っていましたが、体調不良等でのお休みや入院、前記に伴う利用終了が相次ぎ、利用数等に落ち込みがみられました。

年度半ば頃、ご利用者様のご自宅での転倒が続いた事を機に、転倒予防の足指マッサージ・足指の運動を取り入れ援助行っております。また、楽しく体を動かしていただく為に、ペットボトルやラップの芯を使った体操も始めました。利用者様にはご好評いただいています。

レクリエーション活動においては、季節に合わせたおやつ作りレクや、ポンポンクリーナー作りやハンカチマスク作りなどの物作りレクなどを行いました。

今後も、楽しみながら各活動に参加していただき、体を動かす機会の提供を行っていく事で、利用数増加ができるよう努めます。

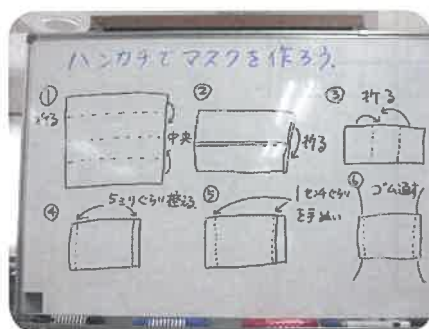
Ⅳ. 行事録

4月1日	～ お花見ドライブ(県庁・多布施川方面)
5月20日	～ おやつ作りレク「抹茶団子」
6月11日	介護保険集団指導
6月10日	～ 物作りレク「毛糸DEブーケ(飾り作り)」
7月16日	～ おやつ作りレク「わらび餅作り」
8月19日	～ おやつ作りレク「カステラパフェ作り」
9月17日	～ 物作りレク「キラキラボトル作り(飾り作り)」
10月21日	～ 季節レク「秋祭り」
11月18日	～ 物作りレク「ポンポンクリーナー作り」
12月16日	～ クリスマスイベントレク「クリスマスケーキ作り」
1月20日	～ 季節レク「新年会」
2月17日	～ おやつ作りレク「パン DE 恵方巻き」
3月16日	～ ハンカチマスク作り

Ⅴ. 院内外活動

- 4月5日 第39回春の「川を愛する週間」期間中の地域河川清掃活動(全職員)
10月2日 第39回秋の「川を愛する週間」期間中の地域河川清掃活動(全職員)
10月17日 第20回院内研究発表 演題「あなたの『好き』を見つけたい ～プラスワンへの取り組み～」

ハンカチマスクを手縫いで作りました。





転倒予防に足指マッサージをしています。



令和元年度 ドリームハウス吉原活動報告

平成31・令和元年度 ドリームハウス吉原 年度報告書

1.実績

【介護度別の入居者延数】

単位:人

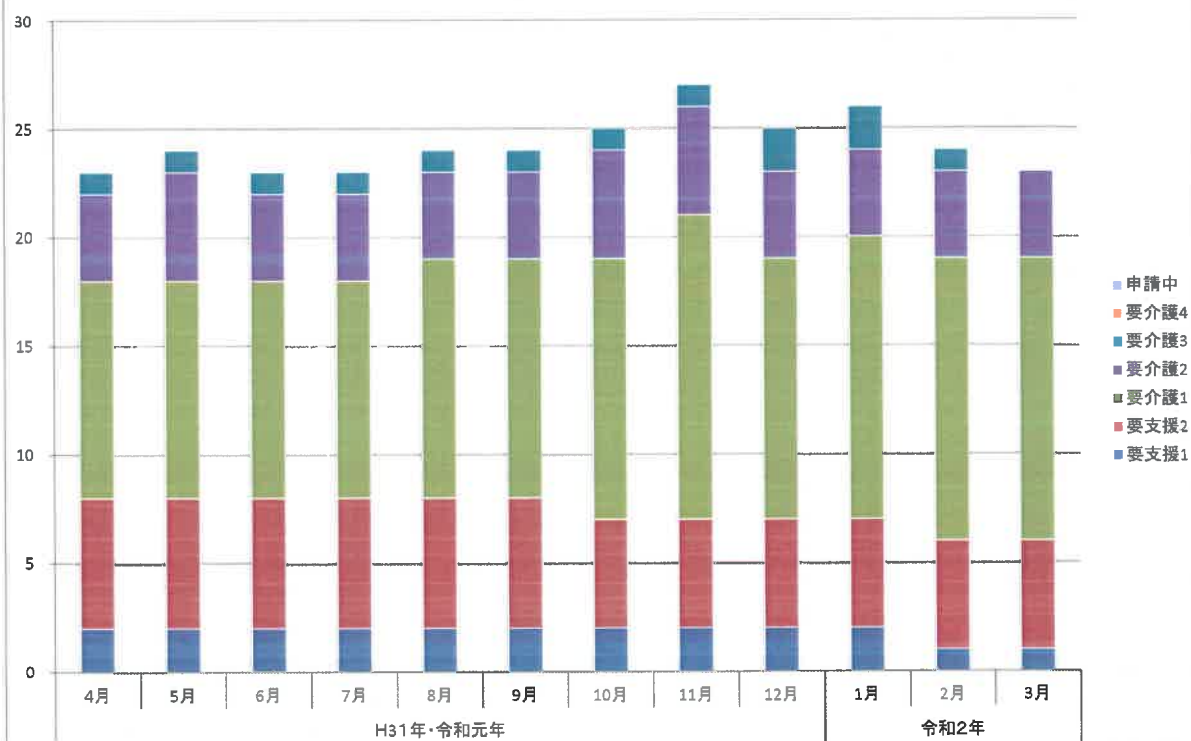
年 月 区 分	H31年・令和元年									令和2年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
要支援1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	22	1.8
要支援2	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	66	5.5
要介護1	10	10	10	10	11	11	12	14	12	13	13	13	139	11.6
要介護2	4	5	4	4	4	4	5	5	4	4	4	4	51	4.3
要介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	0	13	1.1
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
申請中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	23	24	23	23	24	24	25	27	25	26	24	23	291	24.3

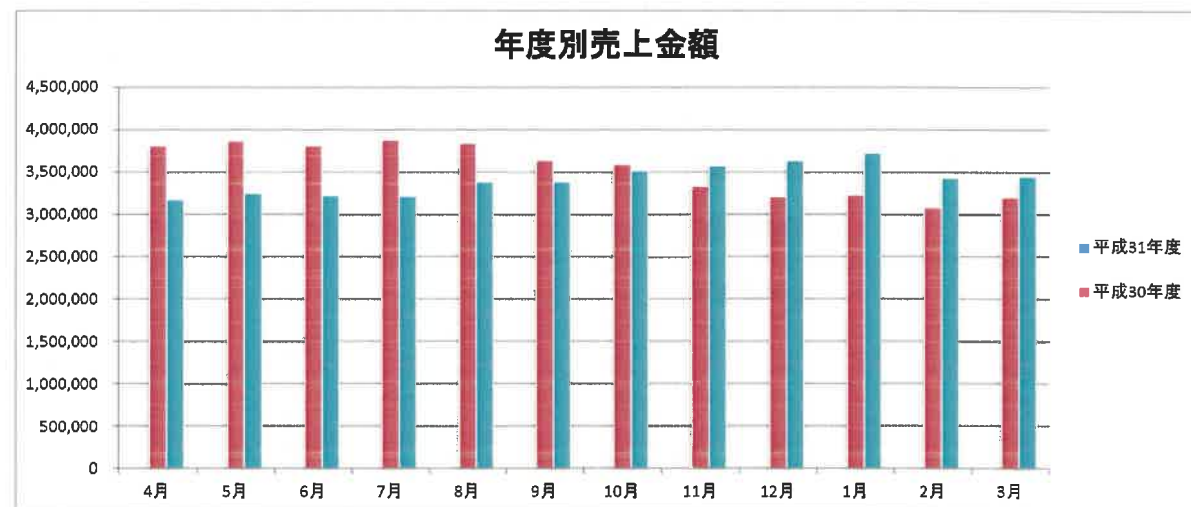
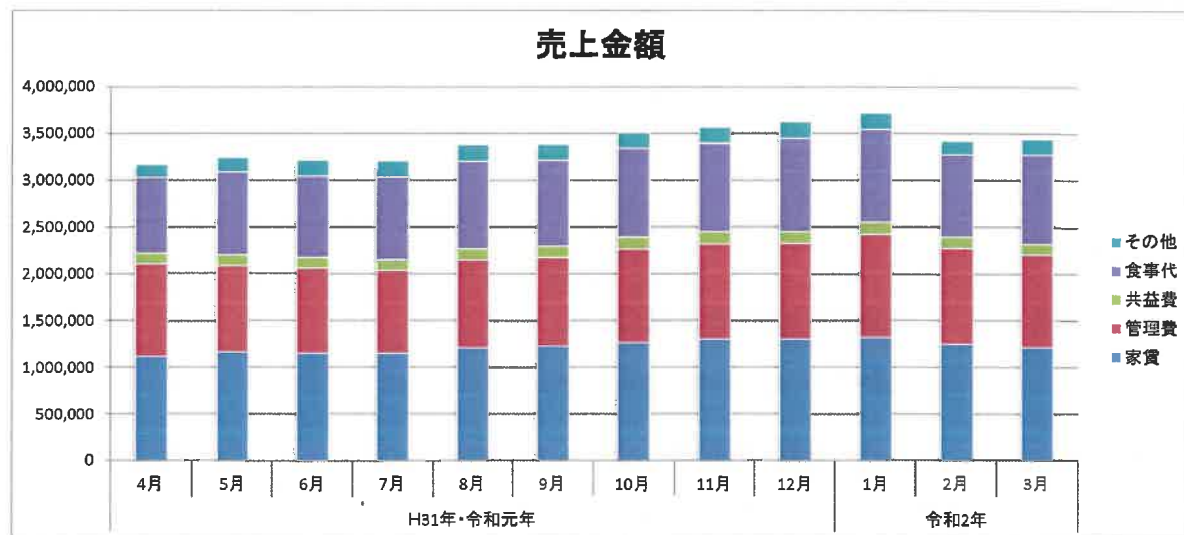
【売上金額】

単位:円

年 月 区 分	H31年・令和元年									令和2年			合計	平均
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
家賃	1,115,080	1,162,570	1,150,000	1,150,000	1,207,500	1,225,000	1,264,220	1,298,430	1,300,000	1,318,470	1,250,000	1,215,030	14,656,300	1221358.3
管理費	994,000	922,760	912,000	888,420	940,820	950,000	1,000,650	1,020,950	1,026,000	1,105,450	1,026,000	989,450	11,776,500	981375.0
共益費	112,500	117,500	115,000	115,000	120,000	120,000	127,500	130,000	125,000	130,000	120,000	117,500	1,450,000	120833.3
食事代	813,704	891,002	871,752	879,620	935,422	920,068	955,318	950,270	999,338	994,236	881,672	953,964	11,046,366	920530.5
その他	138,273	153,159	171,020	180,108	179,056	170,289	166,318	170,964	182,226	174,466	149,020	169,547	2,004,446	167037.2
総合計	3,173,557	3,246,991	3,219,772	3,213,148	3,382,798	3,385,357	3,514,006	3,570,614	3,632,564	3,722,622	3,426,692	3,445,491	40,933,612	3411134.3

介護度別の入居者延数





2.概況・所見

新規入居者も増えてきたが、ほぼ同数の退去者もあって入居者数が増加しませんでした。

特徴として在籍年数が短い方の退去者が多くありました。入居者様については、日常生活において一部介助を必要とする場面が増えているため、職員の業務量は増加傾向にあり、業務の質を低下させないよう工夫していく必要があります。問題点として、特定の入居者にマンパワーを浪費している状況が挙げられます。必要な援助であると考えていますが、入居者様が不公平感を感じることをないように対応していく必要性を感じました。

新型コロナウイルスにより「新しい生活」に変化していくことも予想され、サービスについても柔軟な対応が求められることとなります。時代に即した住みよい空間を維持できるよう努めていきます。

3.活動内容

7月中旬～8月	夢館作品展 作品制作
8月1日	佐賀城下花火大会見学(屋上にて)
9月14日	夢館 敬老会
11月1日	2019佐賀インターナショナルバルーンフェスタ見学
11月17日	夢館ミニシアター
12月12日	夢館クリスマス会
12月17日	イルミネーション見学

定期行事	生け花教室
	歌声喫茶
	絵手紙教室

2019 Sagareha Hospital Annual Report

令和元年度 ホームヘルプサービス吉原活動報告

令和元年度 ホームヘルプサービス吉原 年間活動報告書

1.実績、利用回数

サービス / 月			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
要支援	ドリームハウス	予防Ⅰ・同一	5	4	4	2	4	8	6	4	5	4	5	5	56
		予防Ⅱ・同一	17	17	18	17	24	16	18	18	16	16	16	16	209
		予防Ⅲ・同一	21	13	12	12	11	12	14	12	12	12	12	20	163
	外部	予防Ⅰ同(日割り)	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		予防Ⅰ	0	0	0	0	3	4	3	3	4	3	4	3	27
		予防Ⅱ	9	9	8	9	8	8	9	9	8	8	8	9	102
		予防Ⅲ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		初回加算	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	3
		合 計(回 数)	52	43	42	43	52	48	50	46	45	43	45	53	562
	処遇改善加算Ⅰ(単位)		1,954	1,954	1497	1594	1,999	1,801	1,808	1,663	1,663	1,663	1,663	1,831	21090
	特定処遇改善加算Ⅱ(単位)		0	0	0	0	0	0	553	509	509	509	509	561	3150
要介護	ドリームハウス	身体介護Ⅰ・同	33	22	24	24	22	21	23	17	13	15	17	20	251
		身体介護Ⅱ・同	40	52	52	70	68	68	87	87	74	76	74	82	830
		身体介護Ⅲ・同	14	20	22	18	14	12	14	20	20	23	13	17	207
		身体Ⅰ生活Ⅰ・同	0	9	12	10	15	12	14	12	13	14	16	16	143
		身体Ⅰ生活Ⅱ・同	0	1	12	11	9	9	7	8	7	4	6	7	81
		生活援助Ⅱ・同	42	43	40	44	42	46	46	47	54	48	38	40	530
		生活援助Ⅲ・同	29	53	35	37	36	38	43	42	39	48	40	40	480
		初回加算	3	1	0	0	1	0	2	2	0	1	0	0	10
	外部	身体介護Ⅰ	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		身体介護Ⅱ	6	7	3	1	5	5	12	10	8	10	10	9	86
		身体Ⅰ・生活Ⅰ	0	0	6	9	0	0	0	0	0	0	0	0	15
		身体Ⅰ・生活Ⅱ	7	6	6	7	6	7	6	4	5	4	4	3	65
		生活援助Ⅱ	2	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	5	49
		生活援助Ⅲ	6	7	7	7	3	6	5	0	0	0	2	5	48
		初回加算	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	1	5
		緊急時訪問加算	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		自己負担	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自費利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合 計(回 数)	183	225	226	243	225	229	264	253	237	247	225	245	2802
	処遇改善加算(単位)		6,711	8,459	8,822	9,455	8,699	8,698	10,327	10,143	9,342	9,809	8,744	9,745	108,954
	特定処遇改善加算Ⅱ(単位)		0	0	0	0	0	0	3,164	3,111	2,865	3,009	2,682	2,980	17,811

介護度別利用者延数

単位:人

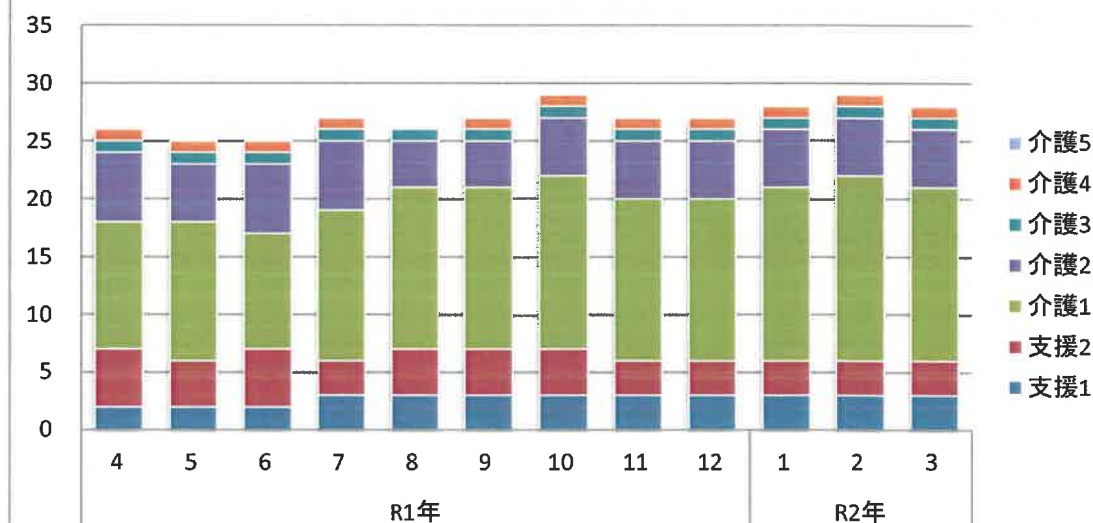
年 区分	R1年									R2年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
支援1	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	33
支援2	5	4	5	3	4	4	4	3	3	3	3	3	44
介護1	11	12	10	13	14	14	15	14	14	15	16	15	163
介護2	6	5	6	6	4	4	5	5	5	5	5	5	61
介護3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
介護4	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	11
介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	26	25	25	27	26	27	29	27	27	28	29	28	324

売上金額

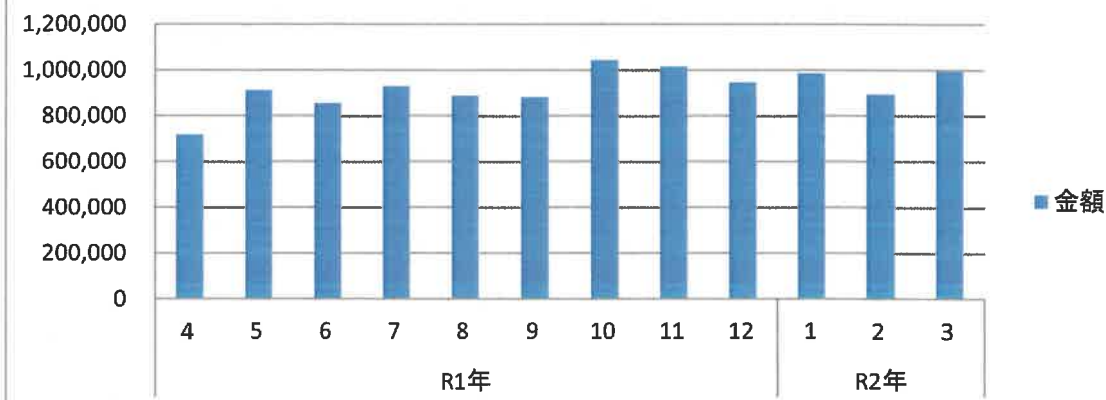
単位:円

年 区分	R1年									R2年			合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
金額	719,040	912,950	856,390	930,590	887,870	883,280	1,044,150	1,015,910	946,980	987,250	895,520	996,300	11,076,230

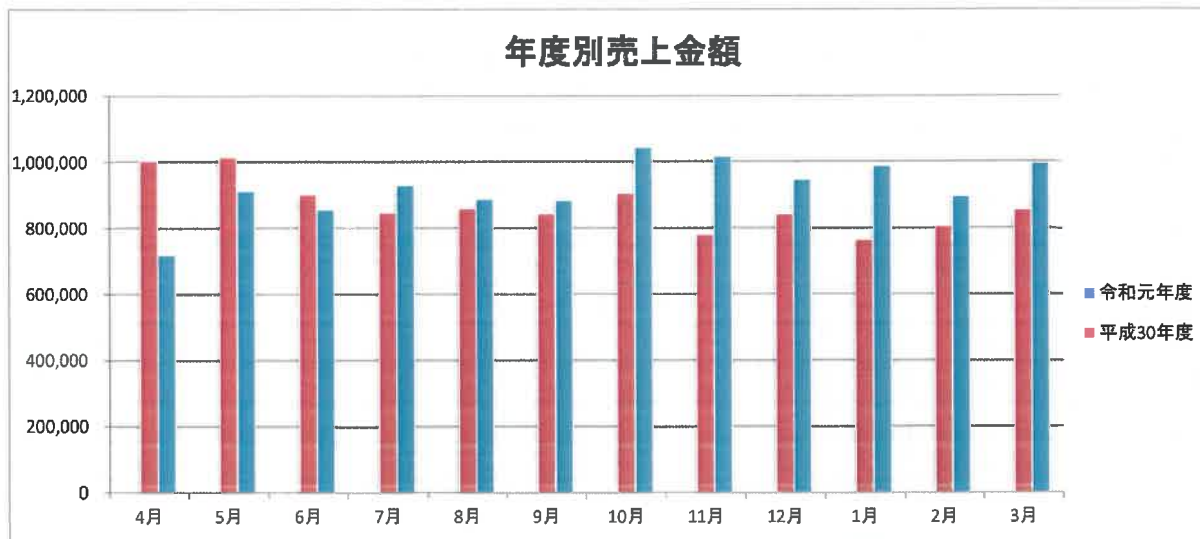
利用者延数



売上金額



年度別売り上げ金額比較



2.概況・所見

今年度は、10月より特定処遇改善加算Ⅱの算定もあり、前年度に比べ+651,300円となっています。サービス内容も、今までの生活援助対応を、利用者様と一緒に掃除や洗濯、身の回りの整理整頓を行う自立支援のための生活援助を行うことによって、収益に繋がったと思われます。ドリームハウスの入退居で、収益に変動がみられるため、できるだけ外部訪問の件数を増やしていくよう、努めていきたいと思ひます。前年度の外部訪問件数は、5件でしたが今年度は7件、利用回数も徐々に増えてきています。外部訪問は、同一建物減算もないため、稼働、移動時間を考慮しながら、今後も訪問件数を増やしていきたいと思ひます。

3.活動内容

- ・ヘルパーミーティング(月1回)
- ・新規利用者様サービス開始時ミーティング
- ・院内勉強会参加

令和元年 グループホーム吉原活動報告

令和元年度 グループホーム吉原 年度報告書

1. 実績 別紙①②参照

2. 年度活動報告

開催日	内容	参加人数	
		入居者	家族
5/6	料理レク「八橋ロール」	6	
5/15	料理レク「焼き立てパン」	8	
5/31	野菜・花の植え付け	9	
6/14	佐賀県庁展望テラス見学	9	
6/18	料理レク「寒天」	9	
7/18	防災訓練		
7/25	夏祭り・そうめん流し	9	6
7/27	北川副地区ふれあい夏祭り	2	
8/3	栄の国祭りの花火見学	3	
8/7	南京玉すだれ慰問(通所)見学	7	
8/14	料理レク「チョコレートケーキ」	8	
9/14	夢館敬老会	9	10
9/20	料理レク「おはぎ」	9	
10/25	野菜の苗植え	4	
10/27	八坂神社の秋祭り	9	
10/28	シチメンソウ見学	4	
10/30	料理レク「さつまいものレアチーズケーキ、かぼちゃのしっとりケーキ」	9	
10/30	ゆめっこ保育園児ハロウィンパレード	9	
11/8	11月誕生会	8	2
11/21	防災訓練		
11/29	八田橋周辺散策	3	
12/19	オカリナ演奏慰問(通所)見学	7	
12/12	夢館クリスマス会	9	9
12/14	しめ縄作り	1	
12/21	聖歌隊慰問	9	
1/25	誕生会	9	2
2/3	節分(豆まき)	9	
2/18	2月誕生会	9	7
3/27	料理レク「桜餅」	9	

この他にも、毎月DHで行われている、歌声喫茶・絵手紙教室・折り紙教室への参加を行っています。

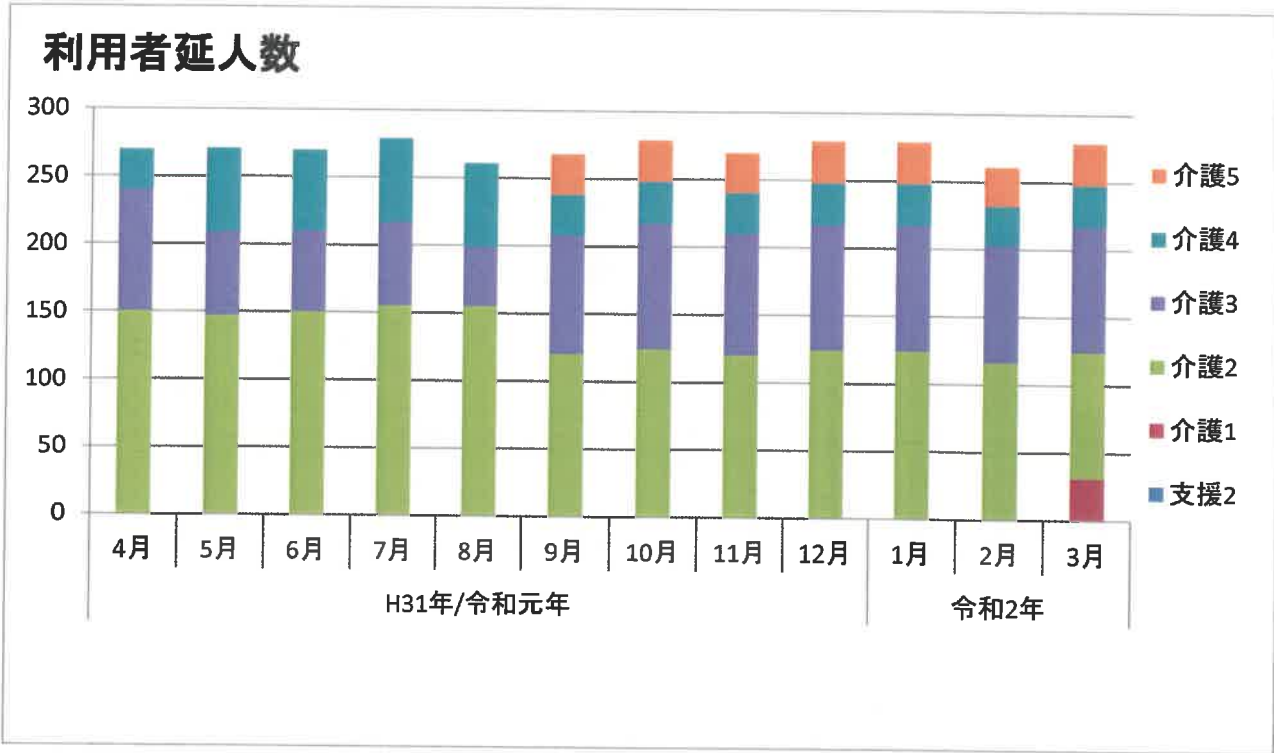
運営推進会議の開催 (1回/2ヶ月)

開催日: 4/17 6/6 8/22 10/24 12/10 2/18

2/1 研究発表(西九州短期大学)

3. 概況・所見

体力の維持向上を目的に毎日の屋外への散歩や体操を行ってきました。入居者様は高齢の方が多く、今まで出来ていたことが出来なくなったり、徐々に体力の衰えが見られています。昨年は土の感覚を思い出してもらるように、野菜や花の苗を植えました。「久しぶりに土を触った」と、いつもと違った生き生きした笑顔が見られました。地域行事や外出支援ではできるだけ全員で参加するようにしました。3月にバスでの外出を2つ予定していましたが、新型コロナウイルスの影響で外出が出来ませんでした。今後、入居者様の体調管理を行いながら、状況に合わせて支援を行っていききたいと思います。



利用者延人数

単位：人

	H31年/令和元年									令和2年			合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31
介護2	150	147	150	155	155	120	124	120	124	124	116	93	1578
介護3	90	62	60	62	44	88	93	90	93	93	87	93	955
介護4	30	62	60	62	62	30	31	30	31	31	29	31	489
介護5	0	0	0	0	0	30	31	30	31	31	29	31	213
合計	270	271	270	279	261	268	279	270	279	279	261	279	3266

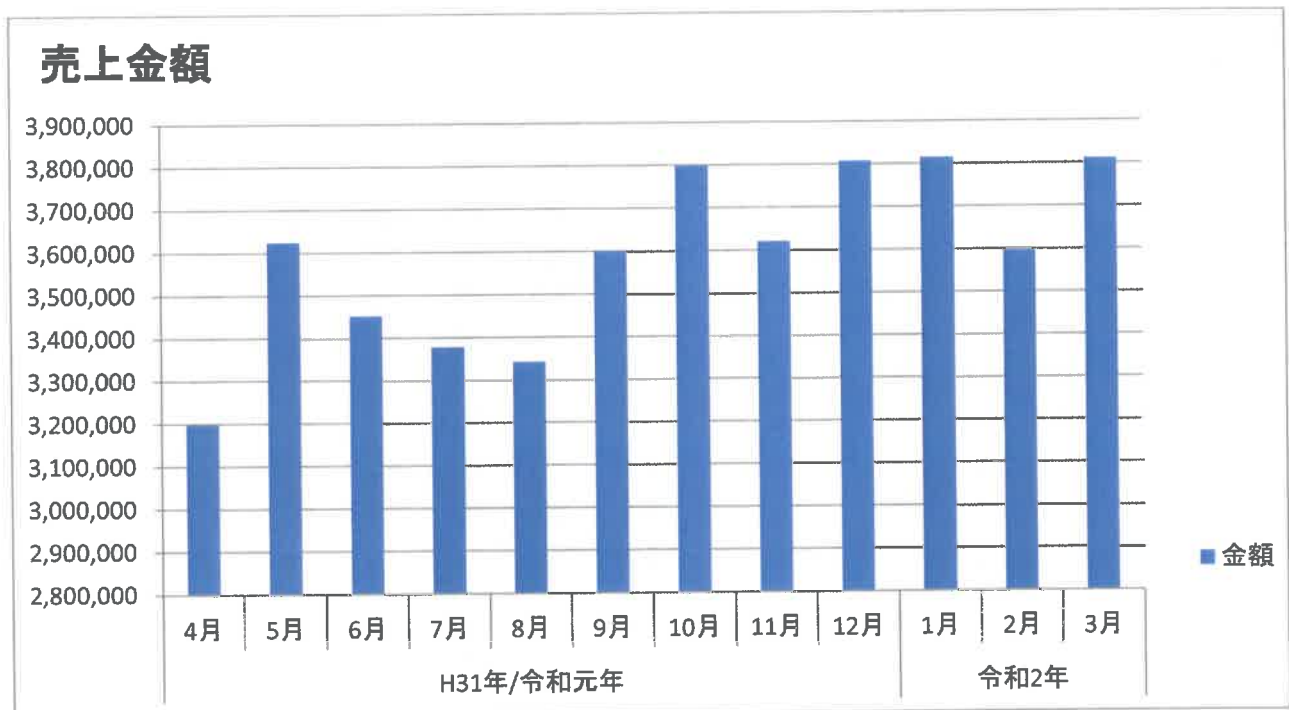
入退去状況

単位：人

	H31年/令和元年									令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
退居	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0

4月と8月に2名の方がグループホームでの生活が困難となられ退去されました。また、5月と6月に2名の方が体調を崩し数週間の入院をされました。3月に要介護：2の方が体操や歩行を意欲的に取り組まれたことで、要介護：1になられました。今後も全身状態の観察を行い、異常の早期発見に努めていく。

別紙②



売上金額

単位:円

	H31年/令和元年										令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
金額	3,198,872	3,624,248	3,451,192	3,377,462	3,342,595	3,600,724	3,798,880	3,620,730	3,807,270		3,814,650	3,596,455	3,810,975
合計	43,044,053												

売上金額(内訳)

単位:円

	H31年/令和元年										令和2年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
請求合計 (保険)	2,264,490	2,620,720	2,471,990	2,411,740	2,406,860	2,597,730	2,775,030	2,614,530	2,784,360		2,784,360	2,605,000	2,771,610
食事	347,950	400,600	379,550	363,100	367,900	396,150	414,450	388,000	414,500		412,200	388,050	417,150
家賃	450,000	437,950	450,000	450,000	421,450	446,200	450,000	450,000	450,000		450,000	450,000	450,000
管理費	45,000	43,910	45,000	45,000	42,210	44,760	45,000	45,000	45,000		45,000	45,000	45,000
その他	85,212	121,068	104,652	107,622	104,166	115,884	114,400	123,200	113,410		123,090	108,405	127,215
合計	3,192,652	3,624,248	3,451,192	3,377,462	3,342,586	3,600,724	3,798,880	3,620,730	3,807,270		3,814,650	3,596,455	3,810,975

昨年度は4名の方が体調を崩され医療の病院に入院されました。そのため、4月から9月にかけて売り上げが落ちている。10月に増税や特別処遇改善で売上が伸びている。今後は安定した運営が実施できるように体調管理を行い運営に繋げていく。

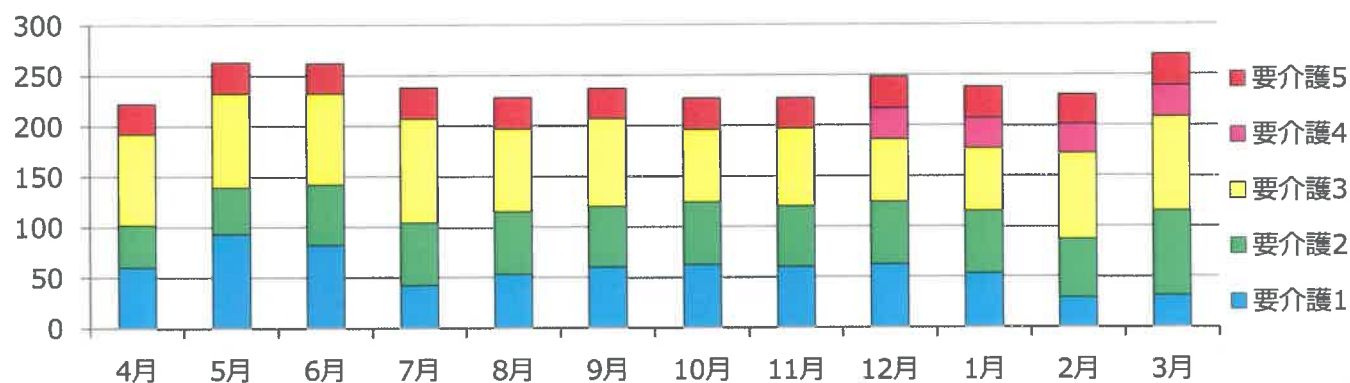
令和元年 グループホーム福寿荘活動報告

平成 31 年度 グループホーム福寿荘 年度報告

1. 実績

利用者延人数

単位：人

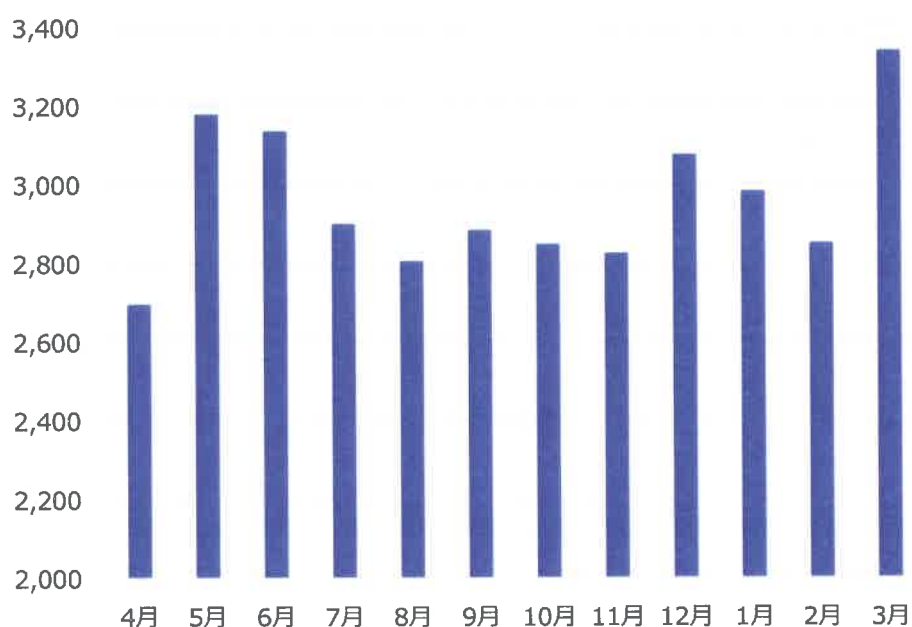


	H31	令和 1 年								令和 2 年			合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
要介 1	60	93	82	42	53	60	62	60	62	53	29	31	687
要介 2	42	46	60	62	62	60	62	60	62	62	58	84	720
要介 3	90	93	90	103	82	87	72	77	62	62	85	93	996
要介 4	0	0	0	0	0	0	0	0	31	30	29	31	121
要介 5	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
合 計	222	263	262	238	228	237	227	227	248	238	230	270	2890

単位：人

売上金額

単位：千円



年	月	売上金額(円)
H 31 年	4月	2,693,080
	5月	3,177,200
	6月	3,134,510
	7月	2,897,100
	8月	2,803,400
	9月	2,881,990
	10月	2,845,550
	11月	2,822,650
	12月	3,074,160
	1月	2,980,380
	2月	2,848,180
	3月	3,336,180
合計		37,966,330

2. 年間活動報告

H31. 4 .26 入居者誕生日会

R 1. 7 .17 入居者誕生日会

7 .23 火災避難訓練

9 .11 福寿荘敬老会

10. 4 城西中学校 ふれあい体験学習

10.18 入居者誕生日会

11. 8 入居者誕生日会

11.10 にしよか文化祭(作品出展)

12.12 夢館クリスマス会

12.16 火災避難訓練

12.18 入居者誕生日会

R 2. 1.22 入居者誕生日会合同誕生日会

2.19 地域密着型サービス外部評価受審（社会福祉協議会）

3. 5 火災避難訓練

3.10 入居者誕生日会

*その他

夢館行事（歌声喫茶、生花教室、絵手紙教室）への参加

西与賀公民館行事（とまりぎ、ひらけごま）への参加

貼り絵やカレンダー製作、近隣へのドライブ、散歩など随時行う

訪問理容 年間 6 回（偶数月）

3. 医療機関連携

訪問診療 毎週 1 回（火）佐賀リハビリテーション病院 富安 Dr

R1. 5 月 高齢者健診

R1. 6.21 歯科検診（しほデンタルクリニック）

R1.11 月 インフルエンザワクチン予防接種

ほか随時受診

4. スタッフの異動

H31. 4. 1 計画作成担当 西川朋子へ（緒方幸子より交代）

4. 1 介護福祉士 大串瑞恵（ホームヘルプサービス吉原から異動）

R 1. 7. 1 介護士 荒木美咲（佐賀リハ HP3 階病棟から異動）

R 2. 3. 1 介護福祉士 山田文代（新規入職）

5. 研修等

R 1. 5.14 働き方改革研修会（岩橋）

8. 7 九州厚生局個別指導

9.18 院内勉強会（外部講師）

9.21 佐賀救急医学会

10.17 院内研究発表会

6. 施設外活動

R 1. 5.16 令和元年度第 1 回運営推進会議

7.18 令和元年度第 2 回運営推進会議

9.20 令和元年度第 3 回運営推進会議

11.14 令和元年度第 4 回運営推進会議

R 2. 1.17 令和元年度第 5 回運営推進会議

3.13 令和元年度第 6 回運営推進会議（※新型コロナ対策として会議文書のみ送付）

平成 31 年度は退居者 4 名、新規入居者が 4 名、入院が 6 名ありました。入退居が多くまた長期入院の方もあり売上金額の低下が目立っています。入居者の平均年齢は 85.9 歳（うち 1 名は 50 歳代、R2 年 4 月時点）、加齢とともに介助量が増えてきています。持病等での受診も増えてきており、日頃から健康状態の観察を行うとともに、運動などに取組み体力維持に努めていきたいと思っています。

〈平成 31 年度の入退居及び入院の状況〉

退居：4 名(4 月、6 月、1 月：2 名)、入居：4 名(5 月、7 月、2 月、3 月)、入院：6 名